

農事改良資料
第一一八号
浮塵子ノ防除ニ関スル
試驗研究成績第一報



始



14.2
717

農事改良資料第118

浮塵子ノ防除ニ關スル試驗研究成績

第一報

藥劑驅除ニ關スル試驗

With Résumé in English

昭和十一年三月

農林省農務局

14.21
717

Studies on the Control of Leaf-hoppers I

Studies on the chemical control of leaf-hoppers

Author: [Faint text]

Editor: [Faint text]

For Sale by [Faint text]

Price [Faint text]



Ministry of Agriculture and Forestry, Nippon

Department of Agriculture

Nojikairyoshiryō No. 118

March, 1936

Studies on the Control of Leaf-hoppers I

Studies on the chemical control of the leaf-hoppers.

By

Kyuma Sakai, *formerly Assistant Entomologist and*

Satoru Shinkai, *formerly Assistant Entomologist.*

Oita Agricultural Experiment Station,

Oita, Nippon

發行所寄贈本



14.21-717

序

浮塵子ハ稻ノ大害蟲ニシテ屢々異常ノ大發生ヲ爲シ其ノ加害著シキモノアリ茲ニ於テ農林省ハ昭和二年度以降基礎的研究ニ付テハ之ヲ九州帝國大學ニ委託シ應用試驗ニ付テハ大分縣ヲ指定シ其ノ農事試驗場ヲシテ之ヲ行ハシメ最モ合理的ナル防除方法ヲ攻究中ノ處大分縣立農事試驗場ニ指定セル浮塵子防除ニ關スル試驗研究中藥劑驅除ニ關スル試驗ハ略之ヲ完了セリ仍テ右成績ヲ應用試驗ノ第一報トシテ印刷ニ附シ一般ノ參考ニ資セントス

昭和十一年三月

農林省農務局



Studies on the Control of Leaf-hoppers

Studies on the Control of Leaf-hoppers

Studies on the Control of Leaf-hoppers

Studies on the Control of Leaf-hoppers

Studies on the Control of Leaf-hoppers

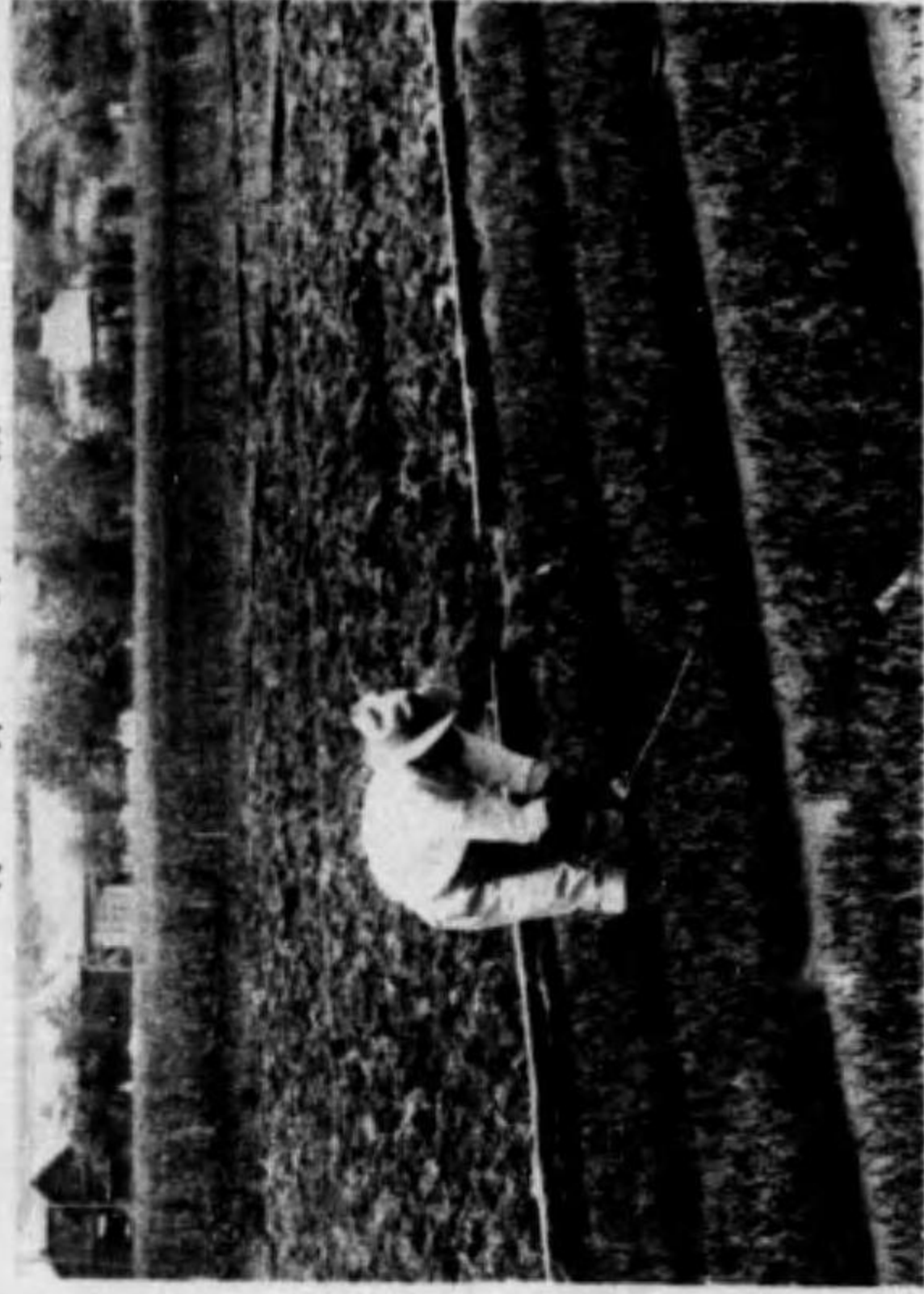
Studies on the Control of Leaf-hoppers



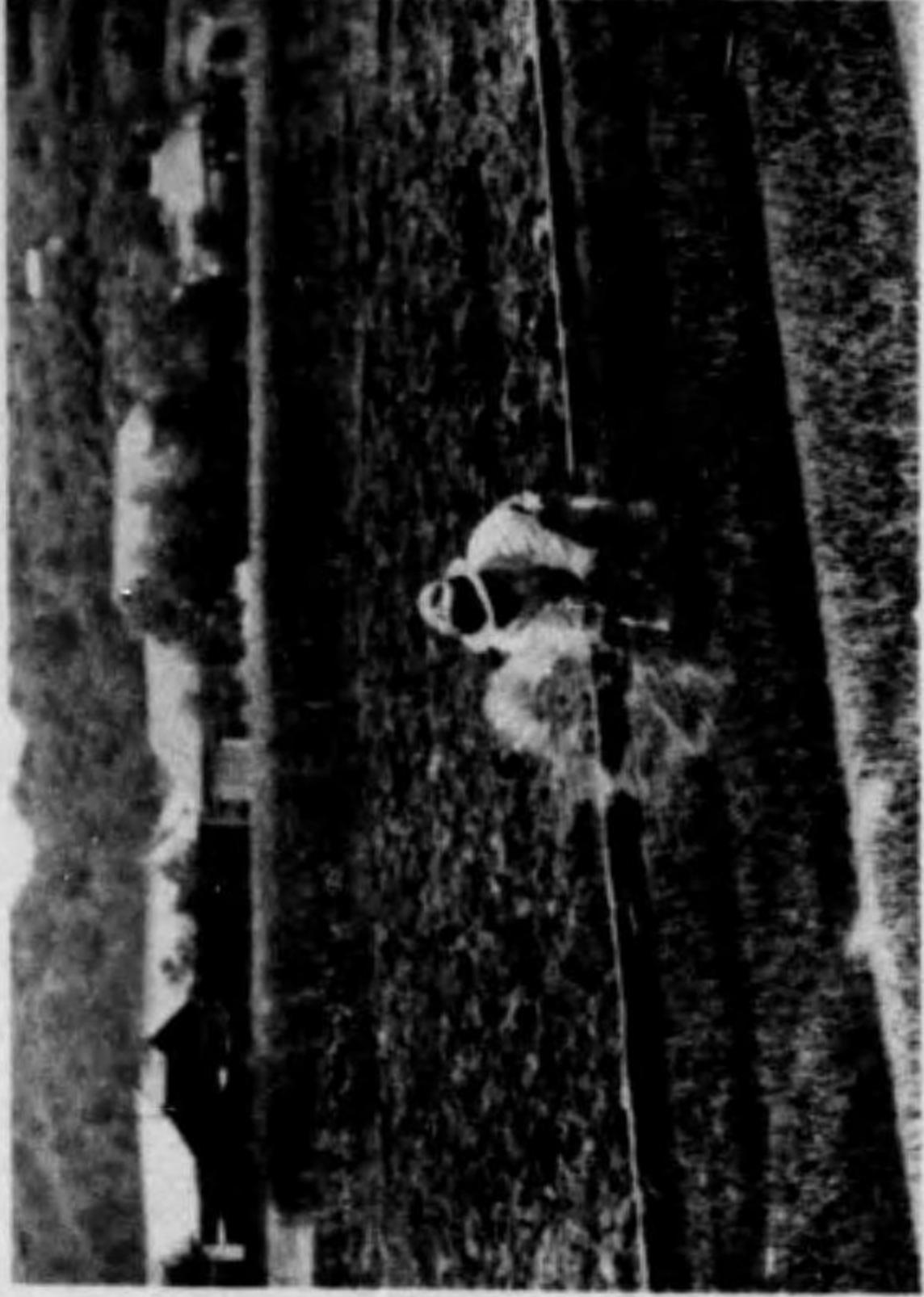
農林省農務局

注油驅除ニ於ケル拂落方法

竹 棒 拂 落



手 シ ャ ク ク リ リ 掛

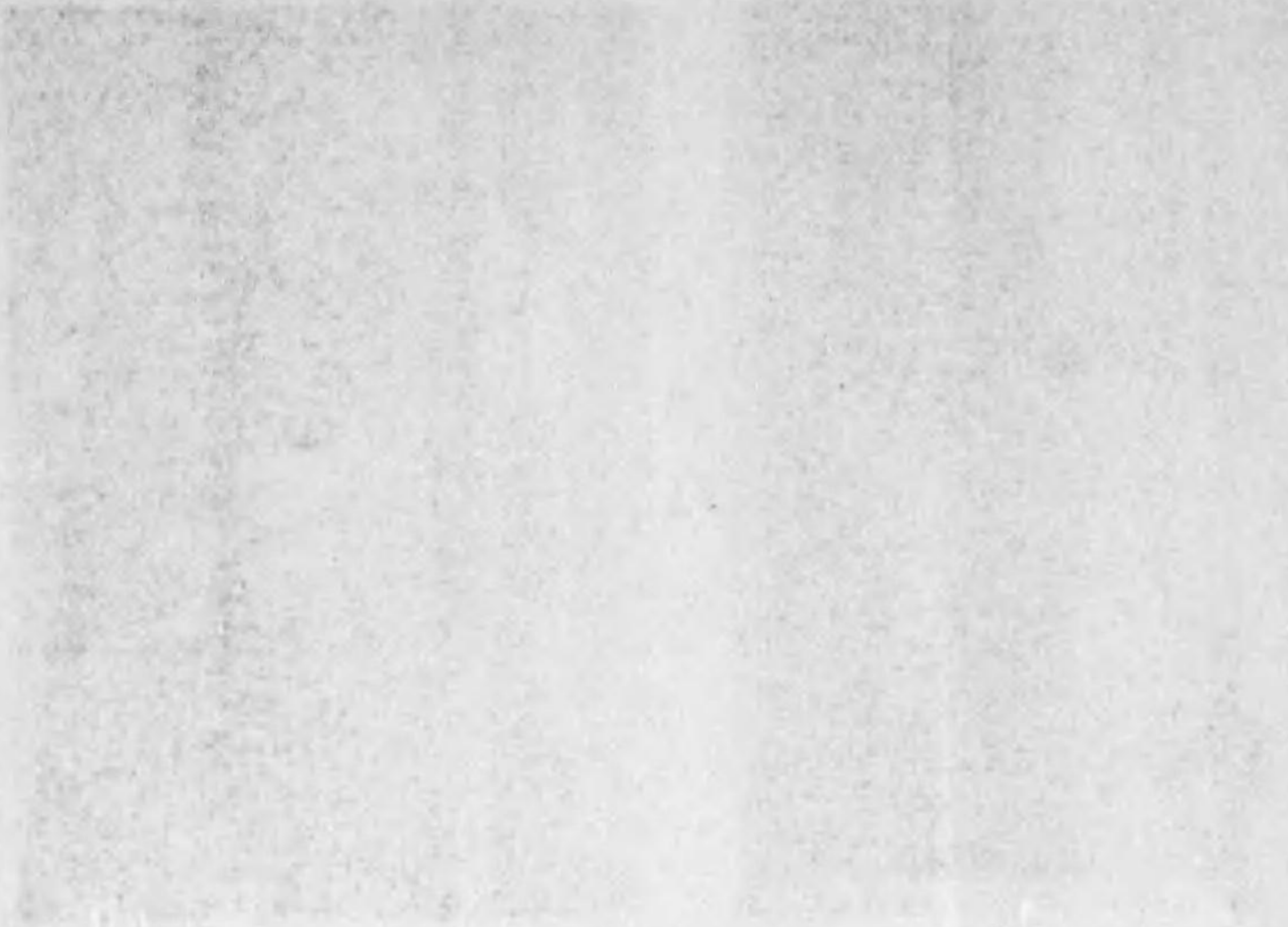


粉 劑 ノ 併 用



竹 鉋 拂 落





竹 筴 拂 落



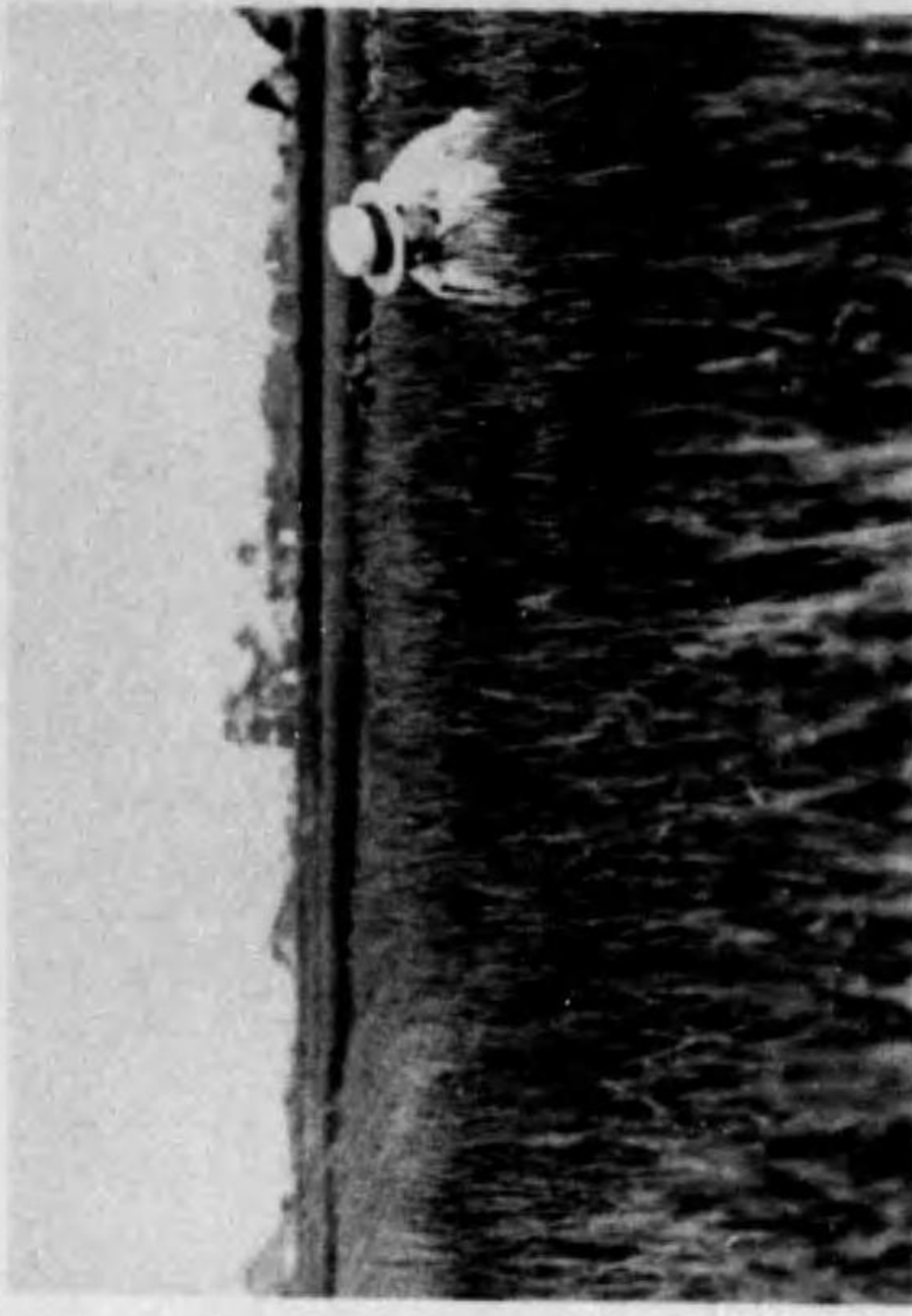
竹 林 拂 落



足 蹴 掛



柄 振 使 用



拂落器具

竹笹 穂手(藁箒) 柄振 竹棒



穂手(藁箒)使用



4 動植礦物性各混合油ノ效果比較試験	124
5 油ノ性狀ニ關スル調査	128
6 試験結果ノ考察及結論	130
Ⅰ 注油ト驅除效果竝ニ藥害トノ關係試験	133
1 稻ノ生育ニ伴フ插秧後ノ日數ト驅除油ノ影響トノ關係試験	133
2 注油後拂落迄ノ時間ノ長短ト殺蟲效果比較試験	134
3 拂落方法ヲ異ニセル場合ノ殺蟲效果比較試験	135
4 試験結果ノ考察及結論	137
Ⅱ 液剤粉剤ノ效果ニ關スル試験	140
1 液剤ノ效果比較試験	140
2 粉剤ノ效果比較試験	142
3 綜合試験	145
4 試験結果ノ考察及結論	147
第5 摘要	150
第6 參考文獻	151
附 錄 供試藥劑價格竝ニ製造所又ハ販賣所名	153
Résumé	156

浮塵子ノ藥劑防除ニ關スル試験研究成績

大分縣立農事試験場

元農林技手 酒井 久馬

元農林技手 新開 悟

第1 緒 言

浮塵子ハ螟蟲ト共ニ稻作上ニ於ケル重要害蟲トシテ突發的ニ大發生シ、慘害ヲ招來スルハ著名ノ事實ナリ。古來「蝗害」ト稱セラレ飢饉ヲ誘發セシハ本害蟲ニシテ、管ニ凶作ノ原因トナルノミナラズ米質上ニ及ボス影響多大ナルモノアリ。近時、之ガ驅除豫防方法普及發達シ逐次被害ノ輕減ヲ見、大發生ヲ認メザレドモ、尙局部的ニ發生シテ慘害ヲ來スコト頗ル多シ。之ガ生態竝ニ防除方法ニ就テハ、夙ニ農事試験場其他研究機關ニ依リ探究サレ、數多ノ業績發表サレタリト雖モ尙ホ攻究ヲ要スベキ點尠カラズ、農林省ハ昭和2年度ヨリ當場ニ之ガ試験研究ヲ指定シ、昭和5年11月迄新開之ヲ擔任シ、爾後酒井之ヲ繼承ス。今尙ホ試験研究中ニ屬スルモ、昭和7年度迄ニ於ケル業績中藥劑驅除ニ關スルモノノ一端ヲ此處ニ取り纏メ報告セムトス。

本試験研究ヲナスニ當リ農林省問部農産課長、同藤卷技師及直接本試験ノ指導ヲ賜ハリタル農林省上遠技師、同故桑名技師、同故二宮技師、同元技師村田藤七氏、農林省農事試験場木下技師、同尾上技師、東京帝大鎗木教授、九州帝大江崎教授竝ニ當場田口場長、山口前場長、桑原前場長ニ深甚ナル感謝ノ意ヲ表ス。又試験ノ遂行ニ關シテ種々盡力ヲ辱フセル大分縣大分郡瀧尾村故野田七郎、同弘

兩氏、同村技術員佐藤吉次氏、尙ホ試験及實驗ニ多大ノ勞苦ヲ煩セル本場金野技手、安藤技手、現助手澁谷武士、元助手神志那左文、長尾勝喜、帆足三治、有田照一ノ諸氏ノ熱心ナル助力ヲ深ク感謝スルモノナリ。

第2 試験方法

本試験ハ室内及圃場試験ニ分チテ下記ノ如ク區分スルト共ニ、試験回数ヲ多クシ、其結果ニ就テノ綜合考察竝ニ成績判定ノ的確ヲ期シタリ。

試験ノ區別 大體次ノ3種ニ分チタルモ此處ニハ其目的及方法ノ大要ヲ記シ、詳細ハ第5項試験成績各論ノ部ニ於テ之ヲ述ベタリ。而シテ次ノ試験方法ハ必ズシモ全部ノ藥劑ニ就テハ行ハザルモノトス。

1. 室内試験 各種ノ油類、粉劑、液劑全部ヲ直チニ野外ニ於テ試験スルハ容易ナラザルニ依リ、油類ハ1反歩ノ2萬分ノ1ニ該當スル硝子鉢ヲ使用シ、液粉劑ハ飼育箱内ニ於テ小規模ノ試験ヲ施行ノ結果優良ト認メタルモノヲ選擇シ、圃場試験ニ移シタリ。
2. 圃場試験 左ノ如ク二様ノ試験ヲ苗代及本田ニテ施行ス。
 - (イ) 實地試験 面積1坪ニ該當スル下部「トタン」板、上部ニ被覆幕ヲ被ヒタル木製試験用框ヲ使用シ、極力精細ニ框内ノ殺蟲率ヲ調査シテ結果ヲ判定シ、且ツ應用試験ヲ行フベキ基礎トナス。
 - (ロ) 應用試験 苗代ハ5坪、本田ハ1畝歩、各1區制若クハ2區制ニ依リ試験シ見込ニ依リ其效力ヲ判定シ、且ツ藥害ノ有無ヲ調査シテ實用的價值ヲ判定ス。見込殺蟲率ハ多人數同一試験區内ニ入りテ一部ノ生死蟲ヲ集メ、其ノ殺蟲率ヲ算出シ更ニ同區内全體ノ殺蟲效果ヲ達觀的ニ觀察シ、標準區ト比較對照シテ決定セリ。

本試験ハ本田應用試験ヲ大分市外瀧尾村浮塵子驅除試験地ニテ施行シ、他ハ全

部大分縣農事試験場内ニテ實施セリ。

本試験成績中ニ示セル油ノ擴散力ノ良否ハ次ノ標準ニ依ル。

不良	全ク擴散セズ又ハ1cm以内擴散ノモノ
稍良	1乃至5cm以内擴散ノモノ
良	5乃至10cm以内擴散ノモノ
優良	10以上ニ擴散スルモノ

第3 試験成績各論

1 注油驅除ニ關スル試験

1 一般驅除油類ノ效果比較試験 (昭和2—4年度)

(1) 室内試験

試験方法 下記油ニ就キ反當1升ノ割合ヲ以テ試験ス

石 油—上松、虎印、白一羽

輕 油—「ソコニー」、青全勝、「パワーオイル」、發動輕油

機 械 油—C「マシン」、金色「マシン」

除蟲油類—除蟲菊浸出石油 (虎印1升、除蟲菊粉20匁加用)、健稻油、錨印最上燃料油、稻荷印除蟲油、特許月魚印

試験施行前夜ヨリ「ベトリ」皿ニ稻苗3—4本ヲ植ヘ之ニ硝子鉢ヲ覆ヒ、野外採集ノ供試浮塵子ヲ放飼シ置キ、別ニ施行直前1反歩ノ2萬分ノ1ニ該當スル鉞力製容器 (深13cm内徑25cm) ニ井水ヲ3cmノ深ニ入レ各種油ノ一定用量 (1cc「ビベット」ヲ用ヒ反當1升ニテ5—6滴) ヲ滴下シテ攪拌シ、油ヲ全面ニ擴散セシメタル後前記ノ如ク放飼セル浮塵子ヲ水面ニ拂落シ所定時間經過後水面ニ於ケル浮塵子ノ殺蟲率ヲ調査セリ。以下本年度室内試験方法ハ同一トス。

昭和3年度

(イ) 室内第1回試験

施行期日 7月28日 室温 28°C

水温 26°C 注油時刻 自午前7時20分 至午前8時

調査時刻 自午前11時 至正午 供試蟲 セジロウんか及つまぐるよこばひ成幼蟲

油ノ種類	セジロウんか				つまぐるよこばひ				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死		生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
上松	5	5	5	5	4	5	1	0	19	11	30	36.7	11
虎印	3	2	8	8	1	0	4	5	5	25	30	83.3	5
白一羽	2	2	7	8	2	4	3	1	11	19	30	63.3	8
ソコニ一	3	1	7	9	3	2	2	3	9	21	30	70.0	7
青全勝	1	0	9	10	1	2	4	3	4	26	30	86.7	4
パワーオイル	1	0	9	10	1	1	4	4	3	27	30	90.0	3
發動輕油	0	0	10	10	1	1	4	4	2	28	30	93.3	2
Cマシン	2	3	8	7	1	1	4	4	7	23	30	76.7	6
金色マシン	3	0	7	10	2	2	3	3	7	23	30	76.7	6
除蟲菊浸出石油(虎印)	0	1	10	9	0	0	5	5	1	29	30	96.7	1
健稻油	3	3	7	7	3	4	2	1	13	17	30	56.7	9
銷印最上燃料油	1	0	9	10	2	1	3	4	4	26	30	86.7	4
稻荷印除蟲油	6	5	4	5	4	3	1	2	18	12	30	43.0	10
特許月魚印	1	0	9	10	1	2	4	3	4	26	30	86.7	4

(ロ) 室内第2回試験

施行期日 8月20日 室温 25°C

水温 25°C 注油時刻 自午前7時30分 至午前8時20分

調査時刻 自午後1時15分 至午後2時 供試蟲 セジロウんか成幼蟲及とびいろうんか幼蟲

油ノ種類	セジロウんか				とびいろうんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死		生	死					
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	幼蟲					
上松	1	2	9	8	4	6	7	23	30	76.7	5
虎印	2	2	8	8	2	8	6	24	30	80.0	4
白一羽	0	3	10	7	0	10	3	27	30	90.0	2
ソコニ一	0	4	10	6	1	9	5	25	30	83.3	3
青全勝	0	2	10	8	1	1	3	27	30	90.0	2
パワーオイル	4	3	6	7	0	10	7	23	30	76.7	5
發動輕油	2	2	8	8	4	6	6	24	30	80.0	4
Cマシン	1	1	9	9	0	10	2	28	30	93.3	1
金色マシン	1	2	9	8	0	10	3	27	30	90.0	2
除蟲菊浸出石油(虎印)	0	2	10	8	0	10	2	28	30	93.3	1
健稻油	0	1	10	9	1	9	2	28	30	93.3	1
銷印最上燃料油	0	1	10	9	1	9	2	28	30	93.3	1
稻荷印除蟲油	1	2	9	8	2	8	5	25	30	83.3	3
特許月魚印	2	2	8	8	3	7	7	23	30	76.7	5

(ハ) 室内第3回試験

施行期日 9月7日 室温 25°C

水温 25°C 注油時刻 自午前7時 至午前7時30分

調査時刻 自午前10時 至午前11時 供試蟲 セジロウんか及とびいろうんか成蟲

油ノ種類	セジロウんか		とびいろうんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生	死	生	死					
	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲					
上松	0	10	0	20	0	30	30	100.0	1
虎印	1	9	2	18	3	27	30	90.0	4
白一羽	1	9	0	20	1	29	30	96.7	2
ソコニ一	1	9	1	19	2	28	30	93.3	3
青全勝	4	6	1	19	5	25	30	83.3	6
パワーオイル	0	10	4	16	4	26	30	86.7	5
發動輕油	2	8	0	20	2	28	30	93.3	3
Cマシン	0	10	1	19	1	29	30	96.7	2
金色マシン	0	10	2	18	2	28	30	93.3	3
除蟲菊浸出石油(虎印)	0	10	0	20	0	30	30	100.0	1
健稻油	0	10	0	20	0	30	30	100.0	1
銷印最上燃料油	3	7	0	20	3	27	30	90.0	4
稻荷印除蟲油	2	8	8	12	10	20	30	66.7	7
特許月魚印	1	9	0	20	1	29	30	96.7	2

(ニ) 室内第4回試験

施行期日 9月25日 室温 24°C

水温 23°C 注油時刻 自午前7時10分
至午前7時40分

調査時刻 自午前11時
至正午 供試蟲 とびいろうんか成幼蟲

油ノ種類	とびいろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
上松	1	0	19	0	1	19	20	95.0	2
虎印	0	2	10	8	2	18	20	90.0	3
白羽	1	0	19	0	1	19	20	95.0	2
ソコニ	0	2	10	8	2	18	20	90.0	3
青全勝	1	0	19	0	1	19	20	95.0	2
パワーオイル	1	1	9	9	2	18	20	90.0	3
發動輕油	3	0	17	0	3	17	20	85.0	4
Cマシン	0	1	10	9	1	19	20	95.0	2
金色マシン	0	0	20	0	0	20	20	100.0	1
除蟲菊浸出石油(虎印)	1	2	9	8	3	17	20	85.0	4
健稻油	1	0	9	10	1	19	20	95.0	2
鎗印最上燃料油	1	0	9	10	1	19	20	85.0	4
稻荷印除蟲油	2	2	8	8	4	16	20	90.0	3
特許月魚印	3	0	17	0	3	17	20	85.0	4

昭和年3度室内試験平均成績

油ノ種類	殺蟲率 %					成績 順位	反當藥劑 所要價格 圓	
	第1回	第2回	第3回	第4回	平均			
石油	上松	36.7	76.7	100.0	95.0	77.1	10	0.320
	虎印	83.3	80.0	90.0	90.0	85.8	8	0.260
	白羽	63.3	90.0	96.7	95.0	86.3	6	0.280
輕油	ソコニ	70.0	83.3	93.3	90.0	84.2	9	0.250
	青全勝	86.7	90.0	83.3	95.0	88.8	4	0.233
	パワーオイル	90.0	76.7	85.7	90.0	85.9	7	0.230
機械油	發動輕油	93.3	80.0	93.3	85.0	87.9	5	0.170
	Cマシン	76.7	93.3	96.7	95.0	90.4	3	0.300
	金色マシン	76.7	90.0	93.3	100.0	90.9	2	0.270
除蟲油	除蟲菊浸出石油(虎印)	96.7	93.3	100.0	85.0	93.8	1	0.430
	健稻油	56.7	93.3	100.0	95.0	86.3	6	0.373
	鎗印最上燃料油	86.7	93.3	90.0	85.0	88.8	4	0.180
	稻荷印除蟲油	40.0	83.3	66.7	90.0	70.0	11	0.180
	特許月魚印	86.7	76.7	96.7	85.0	85.3	6	-

昭和4年度

試験方法 下記ノ油ニ就キ反當1升ヲ以テ試験ス(油ノ種類ハ前年度分ニ尙ホ追加ヲ行フ)。

石油—上松、虎印、白蝙蝠、白國花

輕油—青全勝、青國花、赤國花、時計印、「ソコニー」、「パワーオイル」、「ライ」社發動一號油、日石發動一號油、日石發動二號油

機械油—C「マシン」、金色「マシン」

除蟲油類—除蟲菊浸出石油(石油虎印1升、除蟲菊粉20匁加用)、健稻油、鎗印最上燃料油、稻荷印除蟲油、特許月魚印

施行方法ハ前年度ト等シ、タダ鍍力製容器ヲ硝子製容器ニ變更セリ。

(イ) 室内第1回試験

施行期日 7月20日 室温 28°C

水温 22°C 注油時刻 自午前8時
至午前8時50分

調査時刻 自午前10時30分
至午前11時20分 供試蟲 せじろうんか成蟲主トシテ短翅型♀多シ

油ノ種類	せじろうんか成蟲		總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位	擴散
	生	死				
上松	1	19	20	95.0	2	不
虎印	0	20	20	100.0	1	良
白蝙蝠	1	19	20	95.0	2	不
白國花	0	20	20	100.0	1	良
青全勝	0	20	20	100.0	1	不
青國花	0	21	21	100.0	1	良
赤國花	0	16	16	100.0	1	不
時計印	0	20	20	100.0	1	良
ソコニー	1	19	20	95.0	2	稍
パワーオイル	1	18	19	94.7	3	良
ライ社發動1號油	1	19	20	95.0	2	良
日石發動1號油	1	19	20	95.0	2	稍
日石發動2號油	2	18	20	90.0	4	良
Cマシン	0	18	18	100.0	1	稍
金色マシン	0	18	18	100.0	1	良
除蟲菊浸出石油(虎印)	0	20	20	100.0	1	良
健稻油	1	19	20	95.0	2	優
鎗印最上燃料油	1	19	20	95.0	2	稍
稻荷印除蟲油	6	14	20	80.0	5	良
特許月魚印	0	15	15	100.0	1	優

(ロ) 室内第2回試験

施行期日 8月9日 室温 27°C
 水温 23°C 注油時刻 自午前8時50分 至午前9時30分
 調査時刻 自午前11時 至午前11時50分 供試蟲 セジロウんか成蟲長翅型短翅型相半ス

油ノ種類	セジロウんか成蟲		總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散	
	生	死					
上	松	9	11	20	55.0	13	不良
虎	印	7	11	18	61.1	11	不良
日	編	8	11	19	57.9	12	不良
日	國	10	10	20	50.0	14	不良
青	全	3	14	17	82.4	8	稍良
青	國	2	16	18	88.9	5	不良
赤	國	4	14	18	77.8	9	不良
時	計	0	22	22	100.0	1	良
ソ	コ	9	11	20	55.0	13	稍良
パ	ワ	3	22	25	88.0	6	優
ラ	イ	1	14	15	93.3	4	良
日	石	1	19	20	95.0	3	稍良
日	石	0	28	28	100.0	1	良
C	マ	5	15	20	75.0	10	稍良
金	色	1	14	15	93.3	4	不良
除	蟲	0	20	20	100.0	1	良
健	稻	3	17	20	85.0	7	良
銷	印	1	20	21	95.0	3	稍良
稻	荷	12	7	19	36.8	15	稍良
特	許	1	23	24	95.8	2	優

(ハ) 室内第3回試験

施行期日 8月24日 室温 25°C
 水温 21°C 注油時刻 自午前8時50分 至午前9時40分
 調査時刻 自午前11時 至午前11時40分 供試蟲 セジロウんか成幼蟲

油ノ種類	セジロウんか				總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死					
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲				
上	2	1	15	2	20	85.0	4	不良
虎	0	0	18	2	20	100.0	1	稍良
日	0	2	17	1	20	90.0	3	不良
日	2	-	18	-	20	90.0	3	不良
青	0	0	20	1	21	100.0	1	不良
青	0	0	18	4	22	100.0	1	良
赤	0	0	24	1	25	100.0	1	良
ソ	0	0	17	3	20	100.0	1	不良
パ	7	0	10	3	20	65.0	6	不良
ラ	0	2	18	0	20	90.0	3	不良
日	0	0	16	5	21	100.0	1	優
日	0	0	20	1	21	100.0	1	不良
C	4	-	16	-	20	80.0	5	不良
金	2	1	16	1	20	85.0	4	不良
除	1	0	15	4	20	95.0	2	良
健	0	0	17	3	20	100.0	1	優
銷	1	1	16	2	20	90.0	3	優
稻	3	1	14	2	20	80.0	5	良
荷	7	0	12	1	20	65.0	6	良
特	1	1	15	5	22	90.0	3	優

昭和4年度室内試験平均成績

油ノ種類	殺蟲率 %				平均	成績順位	擴散			反當藥劑所費價格	備考
	第1回	第2回	第3回	平均			第1回	第2回	第3回		
石油	上	95.0	55.0	85.0	78.3	13	不良	不良	不良	0.300	
	虎	100.0	61.1	100.0	87.0	10	不良	不良	稍良	0.260	
	日	95.0	57.9	90.0	80.0	12	不良	不良	稍良	0.260	
	白	100.0	50.0	90.0	80.0	12	不良	不良	不良	0.240	
輕油	ソ	95.0	55.0	65.0	71.7	14	稍良	稍良	不良	0.250	
	青	100.0	82.4	100.0	94.1	6	稍良	稍良	不良	0.220	
	パ	94.7	88.0	90.0	90.9	8	良	優	良	0.200	
	ラ	95.0	93.3	100.0	96.1	4	良	良	優	0.250	
	日	95.0	95.0	100.0	96.7	2	稍良	稍良	不良	0.250	
	日	90.0	100.0	80.0	90.0	9	良	良	不良	0.170	
	青	100.0	88.9	100.0	96.3	3	不良	不良	良	0.220	
	赤	100.0	77.8	100.0	92.6	7	不良	不良	良	0.190	
	時	100.0	100.0	100.0	100.0	1	良	良	不良	0.160	
	機										
械油	C	100.0	75.0	85.0	85.0	11	稍良	不良	良	0.300	
	金	100.0	93.3	95.0	96.1	4	稍良	稍良	不良	0.400	
除蟲油類	除	100.0	100.0	100.0	100.0	1	良	良	優	0.385	3年度ト材料費ニツクス
	健	95.0	85.0	90.0	90.0	9	優	良	優	0.357	
	銷	95.0	95.0	80.0	90.0	9	稍良	稍良	良	0.180	
	稻	80.0	36.8	65.0	60.6	15	稍良	稍良	良	0.180	
	荷	100.0	95.8	90.0	95.3	5	優	優	優	-	

(2) 苗代實地及應用試驗

昭和2年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月30日 天 候 曇小雨
 氣 温 24°C 水 温 24°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、3cm内外 風位及風力 北、微風
 稻生育狀況 草丈25—30cm 注油時刻 自午後2時15分
 調査時刻 自午後3時15分 至午後2時40分
 至午後3時55分

浮塵子ノ種類及發生狀況 いなづまよこばひ、つまぐろよこばひ各成蟲多クひめ
 とびらんか幼蟲僅少ナリ

試験方法 油ノ種類ハ次ノ如シ。但シ使用量ヲ各異ニス。

石 油—虎 印

輕 油—青全勝

機 械 油—C マシン

除 蟲 油—除蟲菊浸出石油(虎印1升除蟲菊粉20匁)、健稻油、
 鎗印最上燃料油、稻荷印除蟲油

試験區面積ハ1坪トシ周圍ヲ高サ75cmノ「トタン」板ニテ圍ヒ
 「ビベット」ニテ溝及床上ニ注油シ、竹棒拂落ヲナシ、所定時間
 經過後見込殺蟲率ヲ調査シ後換水ヲ行フ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石 油 虎 印	2 升	40.0	2
輕 油 青 全 勝	2 升	40.0	2
機 械 油 C マ シ ン	2 升	10.0	4
除 蟲 菊 浸 出 石 油 (虎 印)	1 升	70.0	1
健 稻 油	1 升	70.0	1
鎗 印 最 上 燃 料 油	2 升	20.0	3
稻 荷 印 除 蟲 油	2 升	20.0	3

藥 害 ノ 有 無 7月5日調査、稻荷印除蟲油區ノミ水面ニ接シタル下葉ノ黄變
 セルモノアリ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 7月1日 天 候 小 雨
 氣 温 24°C 水 温 22°C
 水ノ清濁及水深 清、3—3.5cm 風位及風速 靜 隱
 稻生育狀況 草丈25—30cm内外 注油時刻 自午前6時30分
 調査時刻 自午前7時30分 至午前7時
 至午前8時

浮塵子ノ種類及發生狀況 いなづまよこばひ成蟲及ひめとびらんか幼蟲最モ多ク
 つまぐろよこばひ成蟲之ニ次ギセじろらんか、つまぐろよこば
 ひ各幼蟲ノ僅少發生ヲ見ル

試験方法 使用油種及用量ハ第1回試験ニ等シ、試験區面積ハ5坪トシ各
 區ニ畦ヲ設置シ、床上及溝ニ一定油量ヲ注油シ竹棒拂落ヲナシ
 所定時間經過後見込殺蟲率ヲ定ム、換水行ハズ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石 油 虎 印	2 升	40.0	2
輕 油 青 全 勝	2 升	40.0	2
機 械 油 C マ シ ン	2 升	20.0	3
除 蟲 菊 浸 出 石 油 (虎 印)	1 升	70.0	1
健 稻 油	1 升	70.0	1
鎗 印 最 上 燃 料 油	2 升	20.0	3
稻 荷 印 除 蟲 油	2 升	20.0	3

藥 害 ノ 有 無 7月5日調査、稻荷印除蟲油ニ於テ第1回試験同様ノ藥害ヲ認
 ム。

昭和2年度苗代應用試験平均成績

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%			成績順位	反當藥劑所要價格
		第1回	第2回	平均		
石油虎印	2升	40.0	40.0	40.0	2	0.560
輕油青全勝	2升	40.0	40.0	40.0	2	0.468
機械油Cマシン	2升	10.0	20.0	15.0	4	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	70.0	70.0	70.0	1	0.438
健稻油	1升	70.0	70.0	70.0	1	0.373
鎗印最上燃料油	2升	20.0	20.0	20.0	3	0.360
稻荷印除蟲油	2升	20.0	20.0	20.0	3	0.360

昭和3年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月12日 天候 曇
 氣温 22.5°C 水温 22.5°C
 水ノ清濁及水深 清、4cm内外 風位及風速 静隠時々北西ノ微風アリ
 稻生育狀況 草丈25—30cm 注油時刻 自午前7時至午前8時40分
 調査時刻 自午前8時至午前10時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、いなづまよこばひ、ひめとびらんか成蟲之ニ次ギおほよこばひ、ふたてんよこばひハ僅少ナリ

試験方法 油ノ種類及用量ハ前年度ニ同ジ試験區5坪中1坪ハ正1坪高サ6尺ノ試験用框(下部「トタン」板張り上部ハ寒冷紗ニテ被覆ス)ヲ覆ヒ、他4坪ハ應用試験ニ充ツ、注油後竹棒拂落ヲナシ、框内ハ生死蟲ヲ拾ヒ取り詳細ニ殺蟲率ヲ調査シ框外ハ見込殺蟲率ヲ定ム、而シテ調査終了後換水ヲ行フ。

油ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ふたてんよこばひ		おほよこばひ		ひめとびらんか		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位	框外見込殺蟲率%		
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死							
石油虎印	2升	9	3	17	5	6	9	-	-	1	1	0	5	32	24	56.42.9	4	60.0
輕油青全勝	2升	5	3	25	8	29	9	-	-	0	2	5	6	43	49	92.53.3	3	70.0
機械油Cマシン	2升	1	1	20	16	13	6	-	-	1	1	7	7	45	28	73.38.4	6	60.0
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	3	3	6	7	3	21	-	-	0	1	1	8	17	54	71.76.1	2	90.0
健稻油	1升	4	3	4	5	5	11	0	1	0	1	0	19	13	51	64.79.7	1	90.0
鎗印最上燃料油	2升	0	1	11	15	11	6	1	0	1	0	1	3	29	21	50.42.0	5	60.0
稻荷印除蟲油	2升	1	1	36	21	15	8	0	2	0	3	7	7	65	36	101.35.6	7	50.0

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月12日 天候 曇小雨
 氣温 23.5°C 水温 23.5°C
 水ノ清濁及水深 清、4cm内外 風位及風速 東北南風
 注油時刻 自午前10時至午前11時35分 調査時刻 自午前11時至午後1時
 其他 第1回試験ニ等シ

油ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ふたてんよこばひ		おほよこばひ		ひめとびらんか		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位	框外見込殺蟲率%		
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死							
石油虎印	2升	6	1	10	9	9	18	-	-	2	0	2	7	29	35	64.54.7	3	70.0
輕油青全勝	2升	7	3	7	6	3	7	-	-	1	2	1	1	22	16	38.42.1	4	60.0
機械油Cマシン	2升	6	1	14	7	3	4	-	-	1	1	9	5	37	14	51.27.5	7	40.0
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	1	7	1	8	6	14	1	0	0	5	1	12	12	44	56.78.6	2	90.0
健稻油	1升	2	5	5	3	11	17	-	-	1	3	1	12	12	48	60.80.0	1	90.0
鎗印最上燃料油	2升	7	2	6	8	3	4	-	-	1	1	8	3	30	13	43.30.2	5	50.0
稻荷印除蟲油	2升	6	2	18	6	4	3	1	0	2	0	8	7	41	16	57.28.1	6	40.0

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和3年度苗代實地試験平均成績

油ノ種類	反當用量	殺 蟲 率 %			成績順位
		第1回	第2回	平均	
石油虎印	2 升	42.9	54.7	48.8	3
輕油青全勝	2 升	53.3	42.1	47.7	4
機械油Cマシン	2 升	38.4	27.5	33.0	6
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	76.1	78.6	77.4	2
健 稻 油	1 升	79.7	80.0	79.9	1
錨印最上燃料油	2 升	42.0	30.2	36.1	5
稻 荷 印 除 蟲 油	2 升	35.6	28.1	31.9	7

昭和3年度苗代應用試験平均成績

油ノ種類	反當用量	見 込 殺 蟲 率 %			成績順位	反當藥劑 所要價格
		第1回	第2回	平均		
石油虎印	2 升	60.0	70.0	65.0	2	0.560
輕油青全勝	2 升	70.0	60.0	65.0	2	0.467
機械油Cマシン	2 升	60.0	40.0	50.0	4	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	90.0	90.0	90.0	1	0.430
健 稻 油	1 升	90.0	90.0	90.0	1	0.373
錨印最上燃料油	2 升	60.0	50.0	55.0	3	0.360
稻 荷 印 除 蟲 油	2 升	50.0	40.0	45.0	5	0.360

昭和4年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月16日 天 候 微雨
 氣 温 22°C 水 温 23.3°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、6—7cm内外 風位及風速 静 隠
 稻生育状況 草丈25cm内外 注油時刻 自午前8時
 至午前8時30分
 調査時刻 自午前10時15分
 至正午

浮塵子ノ種類及發生状況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびらんか成

幼蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ成蟲ハ僅
 少ナリ。

試験方法 健稻油ノミ前年度迄ノモノト品質ヲ異ニシ他ハ種類及用量共前
 年度ト同様ナリ。試験區坪中1坪ハ試験框ヲ覆ヒ、框内外共ニ
 注油後手ニテ「シャクリ」掛ノ方法ニ依リ拂落シ、前年度同様
 殺蟲率調査後換水ス。

油ノ種類	反當 用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ふたてんよこばひ 其 他		ひめとびらんか		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 殺 蟲 率 %	成 績 順 位	框 外 見 込 殺 蟲 率 %							
		生 成 蟲	死 成 蟲	生 成 蟲	死 成 蟲	生 成 蟲	死 成 蟲	生 成 蟲	死 成 蟲												
石油虎印	2 升	6	2	51	15	35	7	0	1	0	2	14	16	87	62	149	41.6	5	50.0		
輕油青全勝	2 升	1	5	56	33	59	26	-	-	-	-	0	10	1	26	100	117	217	53.9	3	65.0
機械油Cマシン	2 升	6	7	42	22	29	3	1	0	1	0	0	10	1	16	81	57	138	41.3	6	50.0
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	4	5	23	7	26	44	2	0	1	1	-	10	-	27	46	104	150	69.3	1	80.0
健 稻 油	1 升	8	1	52	59	16	8	-	-	-	-	-	16	-	14	135	39	174	22.4	7	40.0
錨印最上燃料油	2 升	1	3	29	21	20	19	1	1	1	1	-	7	-	28	60	72	132	54.5	2	65.0
稻 荷 印 除 蟲 油	2 升	2	0	27	18	21	7	-	0	-	1	-	6	-	14	53	43	96	44.8	4	60.0

藥害ノ有無 6月22日調査ノ結果ニ依レバ、機械油ハ下葉全ク枯レ稻荷印除
 蟲油ハ下葉ニ部分的ニ枯葉ヲ生ジ、錨印最上燃料油ハ下葉稍々
 黄變セルヲ見ル。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月18日 天 候 小雨後晴
 氣 温 22.5°C 水 温 22.5°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、8cm内外 風位及風速 静 隠
 稻生育状況 草丈30cm内外 注油時刻 自午前10時50分
 至午前11時25分
 調査時刻 自午後1時20分
 至午後3時30分

浮塵子ノ種類及試験方法 第1回試験ニ等シ、但シ健稻油ノミ反當2升使用ス。

油ノ種類	反當 用量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		ふたてんよ こばひ其他		ひめとび らんか		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲率 %	成 績 順 位	概外 見込 殺蟲 率%									
		生	死	生	死	生	死	生	死															
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲															
石油虎印	2升	-	4	-	4	62	39	40	20	0	0	2	2	-	4	-	10	109	78	187	41.7	7	55.0	
輕油青全勝	2升	0	4	2	6	71	34	66	21	-	0	-	2	-	13	-	36	122	133	255	52.2	5	60.0	
機械油Cマ シン	2升	0	3	1	1	30	15	22	8	-	-	-	-	-	5	-	16	53	48	101	47.5	6	60.0	
除蟲菊浸出 石油(虎印)	1升	0	0	1	10	25	7	71	51	-	0	-	2	0	3	2	42	35	179	214	83.6	1	90.0	
健 稻 油	2升	-	10	-	6	58	24	119	72	-	0	-	1	1	13	3	33	106	234	340	68.8	2	80.0	
鎗印最上燃 料油	2升	1	9	0	8	53	25	90	25	-	-	-	-	-	11	-	42	99	165	264	62.5	3	70.0	
稻荷印除蟲 油	2升	-	6	-	4	26	29	24	29	-	-	-	-	-	0	3	4	24	64	85	149	57.0	4	65.0

藥 害 ノ 有 無 鎗印最上燃料油、稻荷印除蟲油ハ幾分藥害アリ。

昭和4年度苗代實地試験平均成績

油ノ種類	反當用量	殺 蟲 率 %			成 績 順 位
		第 1 回	第 2 回	平 均	
石油虎印	2 升	41.6	41.7	41.7	6
輕油青全勝	2 升	53.9	52.2	53.7	3
機械油Cマ シン	2 升	41.3	47.5	44.4	5
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	69.3	83.6	76.5	1
健 稻 油	1 升	22.4	-	22.4	7
鎗印最上燃料油	2 升	54.5	62.5	58.5	3
稻荷印除蟲油	2 升	44.8	57.0	50.9	4

昭和4年度苗代應用試験平均成績

油ノ種類	反當用量	見 込 殺 蟲 率 %			成 績 順 位	反當藥劑 所要價格 圓
		第 1 回	第 2 回	平 均		
石油虎印	2 升	50.0	55.0	52.5	5	0.520
輕油青全勝	2 升	65.0	60.0	62.5	3	0.440
機械油Cマ シン	2 升	50.0	60.0	55.0	4	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	80.0	90.0	85.0	1	0.408
健 稻 油	1 升	40.0	-	40.0	6	0.357
鎗印最上燃料油	2 升	65.0	70.0	67.5	2	0.360
稻荷印除蟲油	2 升	60.0	65.0	62.5	3	0.360

(3) 本田實地試験

昭和3年度

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月24日 天 候 晴
 氣 温 22°C 水 温 22°C
 水清濁及水深 清、6-8cm 風位及風速 静 隠
 稻生育状況 草丈90cm内外 注油時刻 自午前6時30分
 調査時刻 自午前10時 至午前6時50分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多クせじろらんか成蟲、
 とびいろらんか幼蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ、ひめとびらんか最モ少ナシ。

試 験 方 法 油ノ種類及用量ハ苗代試験ト同ジ、1坪試験框内ニ坪當所要量
 ヲ注油シ手ニテ「シヤクリ」掛ノ方法ニ依リ拂落シ所定時間經過
 後極力生死蟲ヲ採集シ殺蟲率ヲ調査ス。

油ノ種類	反當 用量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		ひめとび らんか		せじろ らんか		とびいろ らんか		其 他 浮塵子		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲率 %	成 績 順 位													
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死	生	死																		
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲						幼 蟲	成 蟲											
石油虎印	2升	-	-	-	13	9	41	6	1	1	6	1	-	27	-	10	5	133	9	-	0	-	557	111	166	66.1	5				
輕油青全勝	2升	4	1	1	0	5	5	7	13	-	-	4	-	244	0	30	3	10	14	10	-	1	-	085	257	342	75.1	2			
機械油Cマ シン	2升	2	2	4	5	5	3	2	4	2	7	0	-	1	-	0	13	15	41	0	1	10	12	-	1	-	456	166	222	74.8	3
除蟲菊浸出 石油(虎印)	1升	-	2	-	0	5	6	4	2	8	0	0	3	1	3	25	31	21	15	9	7	2	13	-	-	-	65	190	255	74.5	4
鎗印最上燃 料油	2升	0	0	1	2	21	19	20	12	0	0	1	1	0	1	7	16	0	0	2	3	-	-	-	41	65	106	61.3	6		
稻荷印除蟲 油	2升	0	1	1	3	4	13	5	23	-	-	-	-	-	5	-	12	0	12	2	0	1	1	224	112	136	82.4	1			

昭和4年度

施行期日 8月29日 天 候 晴
 氣 温 22.5°C 水 温 22.5°C
 水ノ清濁及水深 清、6cm内外 風位及風速 静 隠

稻生育状況 草丈80cm内外 注油時刻 自午前7時20分
至午前7時50分

調査時刻 自午前10時
至午後0時15分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひ(幼蟲=比シ成蟲多シ)

最モ多ク、いなづまよこばひ、とびいろらんかハ頗ル僅少ナリ。

試験方法 前年度=同ジ、但シ、健稻油ハ前年度迄ノモノト品質異ナル。

油ノ種類	反當 用量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		ふたてん よこばひ		せじろ らんか		とびいろ らんか		總生 蟲數	總死 蟲數	總 殺蟲 率 %	成績 順位			
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死							
石油 虎印	2升	-	-	238	1110	-	-	-	1141	68270	-	-	182	359	541	66.4	6	
輕油 青全勝	2升	0	1	132	3418	-	-	-	0332	92706	-	-	265	851	1116	76.2	3	
機械油 Cマシ	2升	-	-	0	410	8	-	1	0	0	7024	182	-	75	224	299	74.9	5
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1升	2	2	021	1517	-	-	-	1126	1658	1	55	151	263	414	63.5	7	
健 稻 油	2升	0	1	028	107	-	-	-	0	7424	550	0	5	50	597	677	85.2	1
鑽印最上燃料油	2升	5	0	011	1615	-	-	-	0	5715	177	-	-	73	223	296	75.3	4
稻荷印除蟲油	2升	0	0	36	650	10	0	0	0	24036	223	0	16	278	286	564	50.7	8

(4) 本田應用試験

昭和2年度

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月17日 天 候 曇
氣 温 25.5°C 水 温 25°C
水ノ清濁及水深 清、5—9cm 風位及風速 静 隠
稻生育状況 草丈65cm内外 注油時刻 自午前7時10分
至午前8時10分
調査時刻 自午前9時40分
至午前11時20分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか成幼蟲最モ多ク、他ハつまぐろよこばひ、
いなづまよこばひ、おほよこばひ成蟲=テ幼蟲少ナシ、稻1株
當リ3—4頭ヲ見ル。

試験方法 油ノ種類及用量ハ本田實地試験=同ジ。特ニ反當用量ヲ増加セ

ルハ殺蟲效果及藥害ノ有無ヲ檢知セムトスルニアリ。試験各區ノ面積ハ15坪宛ト
ス、油ノ所要量ヲ稻株間ニ注下シ、柄振ニテ油水ヲ撒布後更ニ竹箒ニテ拂落ヲ行
フ。所定時間ヲ經テ浮塵子ノ生死状態ヲ觀察シ、標準區ノ發生状態ヲ参照シテ見
込殺蟲率ヲ定ム。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石油 虎印	1 升	75.0	4
同	2 升	85.0	2
同	3 升	90.0	1
同	4 升	90.0	1
同	5 升	90.0	1
輕油 青全勝	1 升	75.0	4
同	2 升	90.0	1
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	85.0	2
同	1 升	85.0	2
同	1升5合	90.0	1
健 稻 油	1 升	90.0	1
同	1 升	90.0	1
同	1升5合	90.0	1
鑽印最上燃料油	1 升	80.0	3
同	2 升	85.0	2
稻荷印除蟲油	1 升	80.0	3
同	2 升	85.0	2

藥害ノ有無 8月27日調査セルモ藥害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 9月6日 天 候 曇
氣 温 21°C 水 温 21.5°C
水ノ清濁及水深 清、5cm内外 風位及風速 静 隠
稻生育状況 草丈90cm内外穂孕中 注油時刻 自午前7時
至午前8時
調査時刻 自午前9時30分
至午前11時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ、せじろらんかハ成幼蟲共ニ多ク、
とびいろらんか幼蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ、しまらんか
等ハ僅少ナリ。稻1株當リ2—3頭ヲ見ル。

試験方法 大體第1回試験ニ同ジナルモ穂孕中ナル故竹箒拂落ヲ行ハズ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石油 虎印	1 升	75.0	2
同	2 升	75.0	2
同	3 升	80.0	1
同	4 升	80.0	1
同	5 升	80.0	1
輕油 青全勝	1 升	65.0	4
同	2 升	75.0	2
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	75.0	2
同	1 升	75.0	2
同	1 升 5 合	80.0	1
健 稻油	1 升	70.0	3
同	1 升	75.0	2
同	1 升 5 合	80.0	1
鎗印最上燃料油	1 升	70.0	3
同	2 升	75.0	2
稻荷印除蟲油	1 升	70.0	3
同	2 升	75.0	2

薬害ノ有無 9月13日及9月16日調査セルモ薬害ヲ認メズ。

昭和2年度本田應用試験平均成績

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%			成績順位	反當藥劑 所要價格 円
		第1回	第2回	平均		
石油 虎印	1 升	75.0	75.0	75.0	5	0.280
同	2 升	85.0	75.0	80.0	4	0.560
同	3 升	90.0	80.0	85.0	1	0.840
同	4 升	90.0	80.0	85.0	1	1.120
同	5 升	90.0	80.0	85.0	1	1.400
輕油 青全勝	1 升	75.0	65.0	70.0	6	0.234
同	2 升	90.0	75.0	82.5	2	0.468
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	85.0	75.0	80.0	4	0.438
同	1 升 5 合	90.0	80.0	85.0	1	0.657
健 稻油	1 升	90.0	72.5	81.3	3	0.373
同	1 升 5 合	90.0	80.0	85.0	1	0.560
鎗印最上燃料油	1 升	80.0	70.0	75.0	5	0.180
同	2 升	85.0	75.0	80.0	4	0.360
稻荷印除蟲油	1 升	80.0	70.0	75.0	5	0.180
同	2 升	85.0	75.0	80.0	4	0.360

昭和3年度

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月3日 天 候 晴
氣 温 26°C 水 温 26°C
水ノ清濁及水深 清、5—10cm 風位及風速 静 隠
稻生育状況 草丈65cm内外 注油時刻 自午前7時30分
至午前9時20分
調査時刻 自午後0時30分
至午後1時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ、せじろらんか、とびいろらんかノ
順位ニ成幼蟲共ニ多ク、ひめとびらんか、いなづまよこばひハ
僅少ナリ。稻1株ニ2—3頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 油ノ種類及用量ハ本田實地試験ニ同ジ、試験各區ハ1畝歩宛2
區制トス。油ノ所要量ヲ株間1條隔ニ注下シ、柄振ニテ油水ヲ
撒布シ、所定時間經過後見込殺蟲率ヲ定ム。換水ハ行ハズ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石油 虎印	2 升	75.0	3
同	2 升	75.5	3
輕油 青全勝	2 升	80.0	2
同	2 升	85.0	1
機械油 Cマシン	2 升	65.0	5
同	2 升	70.0	4
健 稻油	1 升	75.0	3
同	1 升	75.0	3
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	75.0	3
同	1 升	75.0	3
鎗印最上燃料油	2 升	70.0	4
同	2 升	70.0	4
稻荷印除蟲油	2 升	70.0	4
同	2 升	70.0	4

薬害ノ有無 8月13日調査、薬害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月25日 天 候 晴

氣 温 23.5°C 水 温 23.5°C
 水ノ清濁及水深 清、5—9cm 風位及風速 静隠
 稻生育状況 草丈90—95cm 注油時刻 自午前7時30分
 調査時刻 自午後0時30分 至午前9時10分
 至午後2時

浮塵子ノ種類及發生狀況 とびいろうんか、つまぐろよこばひノ順位=成幼蟲共ニ多ク、せじろらんか、ひめとびらんか、いなづまよこばひ之ニ次グ、1株當リ3—4頭ノ發生アリ。

試験方法 第1回試験=同ジ。萍ノ繁茂甚シキ爲メ排水乾燥ヲ計リタルモ完全ニ排除シ得ザリシ區アリ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
石油 虎印	2 升	90.0	1	發生多ク成蟲翅型及幼蟲ハ殆ソド斃死ス
同	2 升	85.0	2	
輕油 青全勝	2 升	75.0	4	發生量多キモ一區ハ萍多ク斃死蟲少ナシ
同	2 升	85.0	2	
機械油 Cマシン	2 升	85.0	2	萍稍多シ
同	2 升	80.0	3	
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	90.0	1	發生少ナキモ斃死蟲多シ
同	1 升	90.0	1	
健 稻 油	1 升	75.0	4	萍アリテ斃死少ナシ
同	1 升	85.0	2	
鎧印最上燃料油	2 升	85.0	2	萍稍多シ
同	2 升	80.0	3	
稻荷印除蟲油	2 升	85.0	2	萍僅少アリ
同	2 升	85.0	2	

薬害調査 9月2日調査、薬害ヲ認メズ。

昭和3年度本田應用試験平均成績

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%			成績順位	反當藥劑所要價格円
		第1回	第2回	平均		
石油 虎印	2 升	75.0	87.5	81.3	2	0.560
輕油 青全勝	2 升	82.5	80.0	81.3	2	0.467
機械油 Cマシン	2 升	67.5	87.5	77.5	4	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	75.0	90.0	82.5	1	0.430
健 稻 油	1 升	75.0	80.0	77.5	3	0.373
鎧印最上燃料油	2 升	70.0	87.5	78.8	4	0.360
稻荷印除蟲油	2 升	70.0	85.0	77.5	3	0.360

昭和4年度

(イ) 本田第1回試験

施行期日 7月31日 天 候 晴
 氣 温 26°C 水 温 26°C
 水ノ清濁及水深 清、4—6cm 風位及風速 静隠
 稻生育状況 草丈50—60cm 注油時刻 自午前8時10分
 調査時刻 自午後0時 至午前9時20分
 至午後1時

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか成幼蟲共ニ頗ル多ク、次デつまぐろよこばひ、いなづまよこばひ、とびいろうんかノ順位=多シ、1株4—5頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 前年度=同ジ、但シ健稻油ハ前年度迄ノモノト品質ヲ異ニス。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石油 虎印	2 升	80.0	2
同	2 升	75.0	3
輕油 青全勝	2 升	80.0	2
同	2 升	80.0	2
機械油 Cマシン	2 升	60.0	5
同	2 升	60.0	5
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	85.0	1
同	1 升	85.0	1
健 稻 油	1 升	80.0	2
同	1 升	70.0	4
鎧印最上燃料油	2 升	80.0	2
同	2 升	75.0	3
稻荷印除蟲油	2 升	70.0	4
同	2 升	70.0	4

薬害ノ有無 8月10日調査、薬害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月31日 天 候 晴
 氣 温 25°C 水 温 25°C
 水ノ清濁及水深 清、5—6cm 風位及風速 静隠
 稻ノ生育状況 草丈80—90cm 注油時刻 自午前8時
 調査時刻 自午前10時 至午前11時
 至午前9時20分

浮塵子ノ種類及發生狀況 セジろうんか成幼蟲最モ多ク、つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ之ニ次ギ、とびいろうんかノ發生ハ僅少ナリ。
1株平均約7—8頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 第1回試験=同ジ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績順位
石油 虎印	2 升	70.0	4
同	2 升	70.0	4
輕油 青全勝	2 升	70.0	4
同	2 升	70.0	4
機械油 Cマシン	2 升	50.0	6
同	2 升	60.0	5
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	85.0	1
同	1 升	80.0	2
健 稻 油	2 升	85.0	1
同	2 升	80.0	2
鎗印最上燃料油	2 升	70.0	4
同	2 升	75.0	3
稻荷印除蟲油	2 升	50.0	6
同	2 升	70.0	4

昭和4年度本田應用試験平均成績

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %			成績順位	反當所要價格 円
		第1回	第2回	平均		
石油 虎印	2 升	77.5	70.0	73.8	4	0.520
輕油 青全勝	2 升	80.0	70.0	75.0	3	0.440
機械油 Cマシン	2 升	60.0	55.0	57.5	5	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	85.0	82.5	83.8	1	0.408
健 稻 油	1 升	75.0	-	75.0	3	0.357
同	2 升	-	82.5	82.5	2	0.714
鎗印最上燃料油	2 升	77.5	72.5	75.0	3	0.360
稻荷印除蟲油	2 升	70.0	60.0	65.0	4	0.360

3年度ト材料ノ品質ヲ異ニス

2 特殊竝ニ既製驅除油ノ效果比較試験 (昭和7年度)

油ノ種類及使用方法次ノ如シ。

油ノ種類	使用法	反當用量	備考
タマクサ油		3 合	
松根油	松根油原油4容、木タール6容混合煮沸後使用	1 升	
月魚印1號除蟲油		1 升 5 合	
月魚印2號除蟲油		2 升	苗代期ノミ試験ス
水田用モリ殺蟲劑4號	本劑5合、輕油青全勝1升5合混合使用	2 升	本田ノミ試験ス
岩手縣産魚油		1 升 5 合	
國旗印國益殺蟲油1等品		1 升 5 合	
輕油 墨菊印		2 升	

備考 輕油以外ハ使用法及使用量共ニ販賣先ノ指示セルモノニ依ル。

(1) 苗代實地及應用試験

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月14日 天 候 曇一時微雨アリ
氣 温 20.5°C—21°C 水 温 21.2°C—21.5°C
水ノ清濁及水深 稍濁、3cm 風位及風速 静 隠
稻生育狀況 草丈25cm内外生育概シテ良 注油時刻 自午前5時 至午前6時25分

調査時刻 自午前7時25分 至午前10時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ、ひめとびうんかノ4種ヲ普通トシ、つまぐろよこばひハ成幼蟲共ニ多ク、他ハ殆ンド成蟲ノミ。

試験方法 試験區5坪中1坪ニ試験框ヲ覆ヒ、框内外共ニ注油後手ニテ「シヤクリ」掛ノ方法ニ依リ拂落シ、所定時間經過後框内ハ生死蟲ヲ極力採集シ、框外ハ生死蟲ノ大體ヲ觀察シ各殺蟲率ヲ定ム。而シテ調査終了後換水ヲ行フ。

油ノ種類	反當 用 量	つまぐろ よこばひ		ひめとび うんか		いなづま よこばひ		ふたてん よこばひ		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位	框 見 殺 蟲 率 %	外 込 散						
		生	死	生	死	生	死	生	死													
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲													
タマクサ油	3 合	94	31	0	0	1	8	0	2	8	0	1	3	0	0	146	2	148	1.4	7	10.0	優
松根油	1 升	35	49	1	4	0	9	1	2	3	0	2	-	0	-	98	8	106	7.5	6	10.0	優
月魚印1號	1升5合	62	67	9	3	0	0	4	8	3	0	-	-	-	-	132	24	156	15.4	5	20.0	優
同 2號	2 升	19	10	8	11	-	9	-	8	2	0	-	-	-	-	40	27	67	40.3	2	45.0	優
岩手縣 産魚油	1升5合	34	79	13	10	-	3	-	3	3	0	0	-	1	-	119	27	146	18.5	4	20.0	優
國旗印國 産殺蟲油	1升5合	50	42	17	8	-	8	-	15	3	1	-	-	-	-	103	41	144	28.5	3	35.0	優
輕油 (黒菊印)	2 升	37	27	41	11	0	1	1	11	0	-	0	0	2	1	65	67	132	50.8	1	60.0	良

備考 (1) 何レモ擴散力良好ナレドモ、就中松根油次「タマクサ」油ハ最モ優良ナリ。
 (2) 「タマクサ」油及輕油以外ハ粘度大、揮發性遲キタメカ1時間半乃至2時間後ト雖モ、
 尙ホ水面ニ擴散セルヲ見ル、而シテ水面ニ落下セル浮塵子ハ體潤ヒ死セルガ如キモ
 拾ヒ上グレバ直チニ跳躍シ生蟲頗ル多シ。

藥害ノ有無 6月24日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月15日 天 候 晴
 氣 温 20°C—20.3°C 水 温 21°C—22.5°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、2—3cm 風位及風速 靜 隱
 稻生育狀況 草丈25cm内外生育良 注油時刻 自午前5時35分
 至午前6時10分
 調査時刻 自午前7時10分
 至午前9時20分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回試験ト大差ナシ。
 試験方法 第1回試験ニ同ジ。

油ノ種類	反當 用 量	つまぐろ よこばひ		ひめとび うんか		いなづま よこばひ		ふたてん よこばひ		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位	框 見 殺 蟲 率 %	外 込 散				
		生	死	生	死	生	死	生	死											
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲											
タマクサ油	3 合	136	30	2	1	-	9	-	3	3	0	2	0	180	6	186	3.2	7	10.0	優
松根油	1 升	30	41	10	5	-	4	-	9	5	3	4	1	84	28	112	25.0	5	20.0	優
月魚印1號	1升5合	55	42	18	14	-	15	-	29	6	2	5	1	123	64	187	34.2	2	40.0	優
同 2號	2 升	34	45	23	26	-	2	-	3	2	2	-	-	83	54	137	39.4	1	40.0	優
岩手縣 産魚油	1升5合	54	42	2	4	-	12	-	9	3	1	4	3	115	19	134	14.2	6	20.0	優
國旗印國 産殺蟲油	1升5合	28	49	17	7	-	16	-	8	1	0	3	2	97	34	131	26.0	4	35.0	優
輕油 (黒菊印)	2 升	52	45	22	12	0	11	2	15	4	0	6	3	118	54	172	31.4	3	40.0	良

備考 油ノ擴散力及發生狀況等第1回試験ニ同ジ。

藥害ノ有無 6月25日調査、藥害ヲ認メズ。

(2) 本田實地試験

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月6日 天 候 晴後曇
 氣 温 24.5°C 水 温 25.6°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、7—8cm 風位及風速 靜 穩
 稻生育狀況 草丈90cm内外 注油時刻 自午前5時50分
 至午前6時5分
 調査時刻 自午前7時5分
 至午前8時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 セジろうんか幼蟲、つまぐろよこばひ成蟲多ク、いなづまよこばひ、ひめとびうんか、とびいろうんかハ頗ル僅少ナリ。

試験方法 1坪試験框内ニ所定油量ヲ注下シ、手ニテ「シヤクリ」掛ノ方法ニヨリ拂落シ、所定時間經過後生死蟲ヲ集メ調査ヲ行フ。

油ノ種類	反當 用 量	つまぐろ よこばひ		いなづま よこばひ		せじろ うんか		ふたてん よこばひ		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位	外 込 散						
		生	死	生	死	生	死	生	死												
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲												
タマクサ油	3 合	8	19	2	2	1	1	1	0	6	1	12	3	2	1	38	21	59	35.6	7	優
松根油	1 升	2	6	2	2	3	1	0	2	0	1	6	6	3	3	16	21	37	56.8	6	優
月魚印1號	1升5合	0	5	16	19	-	1	-	0	0	1	13	15	0	2	7	65	72	90.3	3	優
水田用モリ 殺蟲劑4號	2 升	1	2	5	6	-	1	-	0	0	2	37	11	0	2	5	62	67	92.5	1	優
岩手縣産魚油	1升5合	3	13	2	11	0	1	1	0	0	0	23	8	1	5	18	50	68	73.5	5	優
國旗印國 産殺蟲油	1升5合	1	5	3	13	-	1	-	2	1	0	12	21	1	4	9	55	64	85.9	4	優
輕油(黒菊印)	2 升	0	5	1	17	0	1	1	2	0	1	42	16	-	-	7	79	86	91.9	2	優

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月20日 天 候 半 晴
 氣 温 23.4°C—23.7°C 水 温 25°C—25.5°C
 水ノ清濁及水深 清、8—10cm 風位及風速 靜 隱
 稻生育狀況 110cm内外 注油時刻 自午前5時30分
 至午前5時50分

調査時刻 自午前7時10分
至午前9時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲、せじろらんか幼蟲最モ多ク
いなづまよこばひ之ニ次ギひめとびらんか、とびいろらんかハ
僅少ナリ。

油ノ種類	反當 用量	せじろらんか		ひめとびらんか		つまぐろよこばひ		いなづまよこばひ		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲率 %	成 順 位	擴 散	備 考								
		生	死	生	死	生	死	生	死															
タマクサ油	3合	22	3	5	1	-	-	86	10	1	0	19	3	1	0	143	8	151	5.3	7	優	萍多シ		
松根油	1升	86	6	26	2	1	1	0	0	93	6	9	2	9	2	0	1	204	40	244	16.4	6	優	同
月魚印1號	1升5合	2	3	16	7	0	0	5	1	12	2	53	3	10	2	7	1	22	202	224	90.2	2	優	同
水田用モリ殺蟲劑4號	2升	12	1	13	17	0	0	1	1	143	3	38	1	2	0	9	3	61	230	291	79.0	4	優	萍比較的少ナシ
岩手縣産魚油	1升5合	7	3	16	19	-	-	1	1	166	3	44	1	9	2	4	0	91	185	276	67.0	5	優	萍多シ
國旗印國益殺蟲油	1升5合	14	1	9	19	1	0	4	1	113	0	66	1	2	1	1	1	31	204	235	86.8	3	良	同
輕油(黒菊印)	2升	5	2	15	8	0	0	2	1	11	3	46	3	1	1	7	1	23	220	243	90.5	1	良	萍比較的少ナシ

(3) 本田應用試験

(1) 本田第1回試験(穂孕前)

施行期日 8月10日 天 候 曇時々小雨アリ
氣 温 19.5°C—27°C 水 温 21°C—26.5°C
水ノ清濁及水深 清、8—10cm 風位及風速 西北ノ軟風時々強風アリ
稻生育狀況 草丈90cm内外莖數約30本、生育頗ル良 注油時刻 自午前7時25分至午前8時20分
調査時刻 自午前10時20分至午前11時5分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひハ幼蟲多ク成蟲少ナシ、ひめとびらんか、とびいろらんか、いなづまよこばひノ順位ニ多シ。

試験方法 試験區ハ1畝歩宛2區制トシ、油ノ所定量ヲ1列隔ニ注油後直チニ1列隔ニ柄振ヲ以テ油水ヲ撒布拂落シタル後所定時間經過後浮塵子ノ斃死狀況及生存蟲ノ多少等ヲ比較シ、尙ホ參考トシテ

注油前ノ各試験區竝ニ標準區ノ發生狀況等ヲ觀察綜合シテ見込殺蟲率ヲ定ム。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成順位	擴散	備考
タマクサ油	3合	10.0	11	優	萍多シ
同	3合	10.0	11	優	同
松根油	1升	25.0	9	優	同
同	1升	20.0	10	優	同
月魚印1號	1升5合	35.0	7	不良	同
同	1升5合	40.0	6	不良	同
水田用モリ殺蟲劑4號	2升	70.0	2	優	萍比較的少ナシ
同	2升	65.0	3	優	萍多シ
岩手縣産魚油	1升5合	30.0	8	優	萍多シ
同	1升5合	30.0	8	優	同
國旗印國益殺蟲油	1升5合	55.0	5	優	同
同	1升5合	60.0	4	優	同
輕油(黒菊印)	2升	75.0	1	優	萍比較的少ナシ
同	2升	70.0	2	優	同

備考 本試験施行中時々小雨アリ、且強風加ハリ試験施行ニ對シ阻害サレタルコト多シ。

藥害ノ有無 8月20日調査、藥害ヲ認メズ。

(2) 本田第2回試験(穂孕前)

施行期日 8月26日 天 候 晴
氣 温 21°C—24°C 水 温 24°C—25°C
水ノ清濁及水深 清或ハ濁、8cm 風位及風速 静 隠
稻生育狀況 草丈105cm莖數23本内外、生育頗ル良 注油時刻 自午前5時40分至午前6時55分
調査時刻 自午前8時25分至午前8時50分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか(成蟲ヨリ幼蟲多シ)、つまぐろよこばひ(成幼蟲共ニ多シ)、とびいろらんか、ひめとびらんか、いなづまよこばひノ順位ニ多シ。

試験方法 第1回試験ニ同ジ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	擴散	備考
タマクサ油	3合	30.0	8	優	芥多クせじろらんかノ幼蟲特ニ多シ
同	3合	25.0	9	優	
松根油	1升	60.0	5	優	同
同	1升	60.0	5	優	同
月魚印1號	1升5合	90.0	1	稍良	同
同	1升5合	85.0	2	稍良	同
水田用モリ殺蟲劑4號	2升	90.0	1	優	同
同	2升	90.0	1	稍良	同
岩手縣産魚油	1升5合	60.0	5	優	同
同	1升5合	70.0	4	優	同
國旗印國益殺蟲油	1升5合	55.0	6	稍良	同
同	1升5合	50.0	7	稍良	同
輕油(黑菊印)	2升	80.0	3	稍良	同
同	2升	85.0	2	稍良	同

藥害ノ有無 9月5日調査、藥害ヲ認メズ。

(ハ) 本田第3回試験(出穂後)

施行期日 9月21日 天 候 曇時々日光ノ照射アリ
氣 温 18.2°C—20°C 水 温 19.5°C—20.5°C

水ノ清濁及水深 清或ハ濁、5—6cm 風位及風速 靜 隱

稻生育狀況 草丈110cm内外莖數22.3本 注油時刻 自午前7時25分
乳熟期ニテ生育頗ル良 至午前8時50分

調査時刻 自午前10時5分
至午前10時35分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ(成蟲多ク幼蟲少ナシ)、いなづまよこばひ、せじろらんか(成蟲少ナク幼蟲多シ)、ひめとびらんか、とびいろうらんかノ順位ニ多シ。

油ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	擴散	備考
タマクサ油	3合	10.0	7	優	芥多クらんかノ死ヲ認ムルモよこばひノ死少ナシ
同	3合	20.0	6	優	
松根油	1升	20.0	6	優	らんかノ死ヲ認ムルモよこばひノ死少ナシ
同	1升	25.0	5	優	
月魚印1號	1升5合	35.0	4	良	芥多シ
同	1升5合	40.0	3	良	同
水田用モリ殺蟲劑4號	2升	70.0	2	優	よこばひノ死多シ
同	2升	80.0	1	優	
岩手縣産魚油	1升5合	25.0	5	優	同
同	1升5合	25.0	5	優	
國旗印國益殺蟲油	1升5合	40.0	3	優	同
同	1升5合	35.0	4	優	
輕油(黑菊印)	2升	35.0	4	良	同
同	2升	35.0	4	良	

備考 殺蟲效力ノ低下セルハ出穂後ノ驅除ニ依ル。

藥害ノ有無 10月1日調査、藥害ヲ認メズ。

3 除蟲菊浸出油ノ效果比較試験 (昭和7年度)

(1) 苗代實地試験

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月14日 (苗代ニ於ケル既製驅除油第1回試験ト同日同時ニ施行ス)

試験方法

油ノ種類	反當用量	備考
石油 虎印	油1升除蟲菊粉20匁加用12時間浸出	優品
同 國花	同	劣品
輕油 青全勝	同	優品
同 赤菊印	同	劣品

1坪試験框内ニテ施行ス。拂落ハ「シヤクリ」掛ノ方法ニ依ル。

油ノ種類	つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位	擴散					
	生	死	生	死	生	死	生	死										
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲										
除蟲菊浸出石油(虎印)	18	77	48	0	0	2	10	0	1	2	0	1	127	140	167	83.8	1	優
同 (國花)	14	13	45	49	0	5	1	8	1	4	0	1	133	109	142	76.7	3	優
除蟲菊浸出輕油(青全勝)	11	1	44	6	0	6	10	11	0	6	-	-	18	77	95	81.1	2	優
同 (赤菊印)	30	28	14	39	0	1	1	7	0	2	2	0	61	63	124	50.8	4	優

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月15日 (苗代ニ於ケル既製驅除油第2回試験ト同日同時ニ施行ス)

試験方法 第1回試験ニ同ジ。

油ノ種類	つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位	擴散							
	生	死	生	死	生	死	生	死												
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲												
除蟲菊浸出石油(虎印)	3	7	32	100	1	1	1	16	-	1	-	4	0	10	13	163	176	92.6	1	優
同 (國花)	4	10	34	31	-	3	-	15	-	1	-	3	1	3	19	86	105	81.9	3	優
除蟲菊浸出輕油(青全勝)	3	4	28	44	1	2	7	11	-	0	-	4	0	4	10	98	108	90.7	2	良
同 (赤菊印)	17	6	20	11	0	4	1	8	1	0	1	2	3	4	31	47	78	60.3	4	良

(2) 本田實地試験

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月20日 (本田ニ於ケル既製驅除油第2回試験ト同日同時ニ施行ス)

試験方法 苗代試験ト同ジ。

油ノ種類	せじろらんか		ひめとびらんか		つまぐるよこばひ		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ		その他		總生蟲數	總死蟲數	殺蟲率%	成績順位	擴散												
	生	死	生	死	生	死	生	死	生	死	生	死																	
除蟲菊浸出石油(虎印)	7	3	1	9	3	0	1	4	0	1	0	3	6	4	0	2	1	0	23	204	227	89.9	1	不良					
同(國花)	5	2	6	7	9	0	0	2	2	3	0	2	5	5	2	2	8	5	-	-	-	-	43	151	194	77.9	3	良	
除蟲菊浸出輕油(青全勝)	3	0	4	9	4	2	0	4	1	7	1	1	4	1	3	2	0	1	9	3	-	-	-	15	107	122	87.7	2	優
同(赤菊印)	15	0	2	3	1	7	0	0	2	0	4	5	3	2	1	0	7	2	0	2	0	1	6	66	77	143	53.8	4	優

4 動植物性各混合油ノ效果比較試験 (昭和5—6年度)

(1) 室内試験

試験方法 石油(虎印、白國花)、輕油(時計印、青全勝)、機械油(C「マシン」)、動物油(鯨油、鰯油)、植物油(菜種油、大豆油)ヲ使用シ、次ノ如ク油ノ種類及混合比率ヲ異ニシテ反當1升ノ割合ヲ以テ試験ス。

油ノ種類	混	合	比
石油 虎印+輕油 時計印	3:1	2:2	1:3
石油 白國花+輕油 青全勝	3:1	2:2	1:3
石油 白國花+機械油 C「マシン」	3:1	2:2	1:3
輕油 青全勝+機械油 C「マシン」	3:1	2:2	1:3
鯨油+輕油 青全勝	3:1	2:2	1:3
鯨油+石油 白國花	3:1	2:2	1:3
鰯油+輕油 青全勝	3:1	2:2	1:3
鰯油+石油 白國花	3:1	2:2	1:3
菜種油+輕油 青全勝	3:1	2:2	1:3
菜種油+石油 白國花	3:1	2:2	1:3
大豆油+輕油 青全勝	3:1	2:2	1:3
大豆油+石油 白國花	3:1	2:2	1:3

施行方法ハ一般驅除油類ノ室内試験方法ト同一トス。但シ鉢力製容器ヲ硝子製トシ之ニ施行前夜ヨリ井水ヲ入レ準備シ、水温ト氣温ヲ併行セシムル方法ヲトレル點ノミヲ異ニス。

昭和5年度

(4) 室内第1回試験 (其一)

施行期日 6月11日

室温 19°C

水温 19°C

注油時刻 自午前7時
至午前7時45分

調査時刻 自午前9時15分
至午前9時45分

供試蟲 いなづまよこばひ、つまぐるよこばひ
(幼蟲ヲ含ム)、ひめとびらんかノ各成蟲

油ノ種類及混合比別	いなづまよこばひ		つまぐるよこばひ		ひめとびらんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位	擴散		
	生	死	生	死	生	死								
石油(虎)+輕油(時)3:1	0	2	-	-	0	1	0	8	0	11	11	100.0	1	良
同 2:2	0	2	-	-	0	2	0	10	0	14	14	100.0	1	良
同 1:3	0	2	-	-	-	-	0	9	0	11	11	100.0	1	良
石油(白)+輕油(青)3:1	0	2	-	-	0	2	0	10	0	14	14	100.0	1	良
同 2:2	0	2	-	-	0	2	1	9	1	13	14	92.9	2	良
同 1:3	0	2	-	-	0	2	1	8	1	11	12	91.7	5	良
石油(白)+機械油(C)3:1	0	1	-	-	0	2	0	8	0	11	11	100.0	1	不良
同 2:2	0	2	-	-	0	1	1	8	1	11	12	91.7	5	稍良
同 1:3	0	2	0	1	0	1	0	10	1	13	14	92.9	2	優
輕油(青)+機械油(C)3:1	0	1	-	-	0	2	1	9	1	12	13	92.3	3	良
同 2:2	0	2	-	-	0	1	0	8	0	11	11	100.0	1	優
同 1:3	0	1	-	-	0	2	0	10	0	13	13	100.0	1	良
鯨油+輕油(青)3:1	0	1	-	-	1	1	2	7	2	10	12	83.3	7	良
同 2:2	0	2	-	-	0	2	0	10	0	14	14	100.0	1	優
同 1:3	0	2	-	-	0	1	0	9	0	12	12	100.0	1	優
鰯油+石油(白)3:1	-	-	2	1	2	1	1	4	4	7	11	63.6	12	良
同 2:2	-	-	2	1	0	2	2	3	5	5	10	50.0	16	優
同 1:3	-	-	-	-	5	2	0	4	0	11	11	100.0	1	優

室内第1回試験 (其二)

施行期日 6月12日

室温 19.5°C—22°C

水温 19.3°C—20°C

注油時刻 自午前7時
至午前8時5分

調査時刻 自午前9時
至午前9時30分

試供蟲 つまぐろよこばひ成幼蟲、ひめ
とびらんか成蟲

油ノ種類及混合比別	つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散		
	生		死									
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲								
鱈 油+輕油(青)3:1	2	1	3	1	2	3	5	7	12	58.3	14	優
同 2:2	4	2	2	0	0	4	6	6	12	50.0	16	優
同 1:3	2	1	3	2	1	4	4	9	13	69.2	10	優
鱈 油+石油(白)3:1	3	3	-	-	2	3	8	3	11	27.3	18	優
同 2:2	2	1	2	1	2	3	5	6	11	54.5	15	優
同 1:3	-	1	4	2	1	3	2	9	11	81.8	8	優
菜種 油+輕油(青)3:1	2	3	3	1	1	8	7	12	19	63.4	13	優
同 2:2	0	2	5	1	0	3	2	9	11	81.8	8	優
同 1:3	0	0	4	4	0	3	0	11	11	100.0	1	良
菜種 油+石油(白)3:1	2	2	2	1	0	4	4	7	11	63.6	12	優
同 2:2	1	3	5	1	0	3	4	9	13	69.2	10	優
同 1:3	1	-	4	3	1	9	2	16	18	88.9	6	優
大豆 油+輕油(青)3:1	2	1	3	2	2	5	5	10	15	66.7	11	優
同 2:2	3	1	2	1	0	4	4	7	11	63.6	12	良
同 1:3	0	0	5	2	1	4	1	11	12	91.9	4	良
大豆 油+石油(白)3:1	4	2	1	0	2	5	8	6	14	42.9	17	良
同 2:2	1	1	3	2	1	5	3	10	13	76.9	9	優
同 1:3	1	-	2	3	1	4	2	9	11	81.8	8	優

(ロ) 室内第2回試験 (其一)

施行期日 8月9日

室温 24°C—26°C

水温 25°C—25.5°C

注油時刻 自午前6時30分
至午前7時10分

調査時刻 自午前8時30分
至午前9時

試供蟲 せじろうんか成幼蟲

油ノ種類及混合比別	せじろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死							
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲						
石油(虎)+輕油(時)3:1	0	3	9	11	3	20	23	87.0	16	良
同 2:2	1	0	15	11	1	26	27	96.3	4	優
同 1:3	0	1	13	10	1	23	24	95.8	6	優
石油(白)+輕油(青)3:1	2	6	7	9	8	16	24	66.7	2	良
同 2:2	0	0	12	11	0	23	23	100.0	1	良
同 1:3	0	0	9	7	0	16	16	100.0	1	稍良
石油(白)+機械油(C)3:1	0	0	12	9	0	21	21	100.0	1	優
同 2:2	0	1	9	11	1	21	22	95.2	9	優
同 1:3	0	0	10	15	0	25	25	100.0	1	優
輕油(青)+機械油(C)3:1	0	0	13	10	0	23	23	100.0	1	優
同 2:2	0	0	12	9	0	21	21	100.0	1	優
同 1:3	0	0	15	7	0	22	22	100.0	1	優
鯨 油+輕油(青)3:1	0	1	12	9	1	21	22	95.5	8	優
同 2:2	0	1	15	7	1	22	23	95.7	7	優
同 1:3	0	1	12	8	1	20	21	95.2	9	優
鯨 油+石油(白)3:1	1	0	14	11	1	25	26	96.2	5	優
同 2:2	0	0	9	5	0	14	14	100.0	1	優
同 1:3	0	1	14	8	1	22	23	95.7	7	優

室内第2回試験 (其二)

施行期日 9月2日

室温 23°C—25°C

水温 23°C—24°C

注油時刻 自午前7時15分
至午前8時

調査時刻 自午前8時30分
至午前9時20分

試供蟲 せじろうんか成幼蟲、とびい
らんか幼蟲

油ノ種類及混合比別	せじろうんか				とびいらんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死		生	死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	幼蟲						
鱈 油+輕油(青)3:1	0	1	4	15	0	2	1	21	22	95.5	8	優
同 2:2	0	0	5	21	0	2	0	28	28	100.0	1	優
同 1:3	0	0	4	21	0	3	0	28	28	100.0	1	優
鱈 油+石油(白)3:1	0	6	5	9	4	1	10	15	25	60.0	18	優
同 2:2	0	2	6	19	0	2	2	27	29	93.1	10	良
同 1:3	1	0	4	17	1	3	2	24	26	92.3	11	優
菜種 油+輕油(青)3:1	0	3	5	15	0	1	3	21	24	87.5	13	優
同 2:2	0	3	3	18	0	3	3	24	27	88.9	14	優
同 1:3	0	1	5	16	0	5	1	26	27	96.3	4	優
菜種 油+石油(白)3:1	1	2	4	17	0	5	3	26	29	89.7	8	優
同 2:2	0	1	5	17	0	5	1	27	28	96.4	3	優
同 1:3	0	0	5	20	0	5	0	30	30	100.0	1	優
大豆 油+輕油(青)3:1	0	0	5	20	0	3	0	28	28	100.0	1	優
同 2:2	0	0	4	17	0	3	0	24	24	100.0	1	優
同 1:3	0	0	3	17	0	3	0	23	23	100.0	1	優
大豆 油+石油(白)3:1	0	2	5	15	0	3	2	23	25	92.0	12	優
同 2:2	0	2	5	19	2	3	4	27	31	87.1	15	優
同 1:3	0	4	5	13	0	5	4	23	27	85.2	17	優



(ハ) 室内第3回試験 (其一)

施行期日 9月10日

室温 19.8°C

水温 20°C

注油時刻 自午前6時30分
至午前6時55分

調査時刻 自午前7時37分
至午前8時5分

供試蟲 とびいろうんか成幼蟲

油ノ種類及混合比別	とびいろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死							
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲						
石油(虎)+輕油(時)3:1	0	4	12	10	4	22	26	84.6	20	不良
同 2:2	0	5	16	10	5	26	31	83.9	21	不良
同 1:3	5	2	10	12	7	22	29	75.9	23	不良
石油(白)+輕油(青)3:1	1	1	12	13	2	25	27	92.6	11	不良
同 2:2	2	1	13	14	3	27	30	90.0	16	不良
同 1:3	1	2	12	9	3	21	24	87.5	19	不良
石油(白)+機械油(C)3:1	0	0	15	15	0	30	30	100.0	1	不良
同 2:2	0	3	20	20	3	40	43	93.0	8	不良
同 1:3	3	1	17	19	4	36	43	90.0	17	良
輕油(青)+機械油(C)3:1	1	1	14	14	2	28	30	93.3	6	良
同 2:2	1	2	14	18	3	32	35	91.4	15	不良
同 1:3	3	1	14	18	4	32	36	88.9	18	良
鯨油+輕油(青)3:1	0	0	18	15	0	33	33	100.0	1	優
同 2:2	0	0	16	26	0	42	42	100.0	1	優
同 1:3	0	0	27	5	0	41	42	100.0	1	優
鯨油+石油(白)3:1	0	2	14	13	2	27	29	93.1	7	優
同 2:2	3	0	11	16	3	27	30	90.0	17	優
同 1:3	1	1	14	14	2	28	30	93.3	6	優

室内第3回試験 (其二)

施行期日 9月17日

室温 20.9°C

水温 20.5°C

注油時刻 自午前7時10分
至午前8時

調査時刻 自午前8時30分
至午前9時15分

供試蟲 とびいろうんか成幼蟲

油ノ種類及混合比別	とびいろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死							
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲						
鯨油+輕油(青)3:1	0	3	18	18	3	36	39	92.3	13	優
同 2:2	0	3	20	17	3	37	40	92.5	12	優
同 1:3	0	0	20	20	0	40	40	100.0	1	優
鯨油+石油(白)3:1	3	11	17	9	14	26	40	65.0	24	優
同 2:2	0	0	17	20	0	37	37	100.0	1	優
同 1:3	0	3	21	17	3	38	41	92.7	10	優
菜種油+輕油(青)3:1	1	4	19	15	5	34	39	87.2	19	優
同 2:2	0	3	19	18	3	37	40	92.5	12	優
同 1:3	1	0	18	21	1	39	40	97.5	3	優
菜種油+石油(白)3:1	2	7	23	13	9	36	45	80.0	22	優
同 2:2	0	4	20	17	4	37	41	90.2	16	不良
同 1:3	0	2	20	19	2	39	41	95.1	5	不良
大豆油+輕油(青)3:1	0	2	20	19	2	39	41	95.1	5	優
同 2:2	0	2	20	20	2	40	42	95.2	4	優
同 1:3	0	0	19	20	0	39	39	100.0	1	優
大豆油+石油(白)3:1	0	3	23	16	3	39	42	92.9	9	優
同 2:2	0	1	21	24	1	45	46	97.8	2	優
同 1:3	0	4	25	18	4	43	47	91.5	14	優

(ニ) 室内第4回試験 (其一)

施行期日 9月18日

室温 21°C—22°C

水温 21°C—21.5°C

注油時刻 自午前8時15分
至午前8時50分

調査時刻 自午前9時25分
至午前10時

供試蟲 とびいろうんか成幼蟲

油ノ種類及混合比別	とびいろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死							
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲						
石油(虎)+輕油(時)3:1	0	4	23	25	4	48	52	92.3	11	良
同 2:2	2	1	21	22	3	43	46	93.5	10	優
同 1:3	0	3	30	30	3	60	63	95.2	5	優
石油(白)+輕油(青)3:1	1	1	22	23	2	45	47	95.7	4	優
同 2:2	0	2	20	28	2	48	50	96.0	3	優
同 1:3	0	6	30	17	6	47	53	88.7	15	不良
石油(白)+機械油(C)3:1	0	2	10	22	2	32	34	94.1	9	優
同 2:2	0	3	31	20	3	51	54	94.4	6	優
同 1:3	0	0	35	25	0	60	60	100.0	1	優
輕油(青)+機械油(C)3:1	0	5	22	16	5	38	43	88.4	16	優
同 2:2	0	6	27	17	6	44	50	88.0	17	優
同 1:3	0	3	31	19	3	50	53	94.3	7	優
鯨油+輕油(青)3:1	0	3	25	24	3	49	52	94.2	8	優
同 2:2	0	0	32	22	0	54	54	100.0	1	優
同 1:3	0	0	25	17	0	42	42	100.0	1	優
鯨油+石油(白)3:1	0	7	29	20	7	49	56	87.5	19	優
同 2:2	0	0	32	20	0	52	52	100.0	1	優
同 1:3	0	0	24	25	0	49	49	100.0	1	優

室内第4回試験 (其二)

施行期日 9月20日 室 温 17.5°C—19°C
 水 温 18.5°C 注油時刻 自午前7時15分 至午前7時50分
 調査時刻 自午前8時30分 至午前9時5分 供 試 蟲 とびいろんか成幼蟲

油ノ種類及混合比別	とびいろんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	擴散
	生		死							
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲						
鱈 油+輕油(青)3:1	0	9	40	24	9	64	73	87.7	18	優
同 2:2	0	10	21	22	10	43	53	81.1	25	優
同 1:3	0	5	20	22	5	42	47	89.4	14	優
鱈 油+石油(白)3:1	0	1	22	16	1	38	39	97.4	2	優
同 2:2	0	12	20	15	12	35	47	74.5	28	優
同 1:3	2	6	19	22	8	41	49	83.7	22	優
菜種油+輕油(青)3:1	0	7	23	15	7	38	45	84.4	21	優
同 2:2	0	8	21	17	8	38	46	82.6	23	優
同 1:3	0	0	24	20	0	44	44	100.0	1	優
菜種油+石油(白)3:1	0	6	20	18	6	38	44	86.4	20	良
同 2:2	0	5	24	23	5	47	52	90.4	12	良
同 1:3	1	5	19	19	6	35	44	85.4	20	稍良
大豆油+輕油(青)3:1	0	9	20	13	9	33	42	78.6	26	良
同 2:2	0	5	24	20	5	44	49	89.8	13	優
同 1:3	0	0	21	21	0	52	52	100.0	1	優
大豆油+石油(白)3:1	0	11	23	11	11	34	45	75.6	27	優
同 2:2	1	8	19	20	9	39	48	81.3	24	優
同 1:3	2	1	26	13	9	39	48	81.3	24	優

(2) 苗代實地及應用試験

昭和5年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月17日 天 候 晴
 氣 温 19°C—20°C 水 温 18.5°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、3cm 風位及風速 西軟風
 稻生育狀況 草丈 27cm内外 注油時刻 自午前6時30分 至午前7時15分

調査時刻 自午前8時30分 至午前11時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲、いなづまよこばひ成幼蟲、ひめとびらんか成幼蟲ノ順位=多ク、ふたてんよこばひ其他ハ僅少ナリ。

試験方法 油ノ種類ハ室内試験ニ於テ比較的優良ト認メタルモノヲ反當2升ノ割合ヲ以テ試験ス。各試験區5坪中1坪ハ試験框ヲ覆ヒ他4坪ハ應用試験ニ充ツ、框内外共ニ注油後手ニテ「シャクリ」掛ノ方法ニ依リ拂落シ、框内ハ生死蟲ヲ拾ヒ取り詳細ニ殺蟲率ヲ調査シ、枠外ハ見込殺蟲率ヲ定ム。而シテ調査終了後換水ヲ行フ。

油ノ種類及混合比別	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績順位	框外見込殺蟲率 %	擴散						
		生	死	生	死	生	死	生	死													
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲													
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	0	4	0	2	14	11	12	15	1	0	0	0	2	30	31	61	50.8	9	60.0	不良	
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	1	3	5	26	15	19	0	0	0	1	1	8	33	46	79	58.2	5	65.0	稍良		
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	2	2	3	10	14	23	19	0	1	1	1	2	1	29	48	77	62.3	3	70.0	不良	
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	0	9	1	15	13	47	36	43	0	0	1	2	1	9	70	107	177	60.5	4	65.0	稍良
鯨油+輕油(青)1:3	2升	4	4	6	6	36	23	24	0	0	1	1	1	3	47	62	109	56.9	6	65.0	優	
鯨油+石油(白)1:3	2升	4	4	3	18	30	16	13	0	2	2	3	0	1	57	35	92	33.1	11	50.0	優	
鱈油+輕油(青)1:3	2升	3	3	1	3	22	13	20	2	0	0	1	0	2	1	32	36	68	52.9	8	60.0	優
鱈油+石油(白)1:3	2升	1	2	0	0	3	13	16	35	0	0	0	2	2	21	53	74	71.6	1	75.0	優	
菜種油+輕油(青)1:3	2升	10	1	19	15	11	16	1	1	0	0	1	1	1	46	29	75	38.7	12	55.0	良	
菜種油+石油(白)1:3	2升	0	0	6	15	7	8	0	0	2	2	2	2	2	23	21	44	47.7	10	60.0	良	
大豆油+輕油(青)1:3	2升	1	1	0	3	21	10	31	0	3	0	1	1	1	26	45	71	63.4	2	70.0	優	
大豆油+石油(白)1:3	2升	3	3	9	16	65	39	42	0	1	5	1	5	7	90	103	193	53.4	7	65.0	優	

藥害ノ有無 6月23日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月18日 天 候 晴
 氣 温 15.5°C—17.5°C 水 温 18.9°C
 水ノ清濁及水深 稍々濁、2.5—3cm 風位及風速 靜 隱
 稻生育狀況 草丈28cm内外 注油時刻 自午前6時30分 至午前7時15分

調査時刻 自午前8時30分
至午前11時

浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回ト大差ナキモ成蟲數ヲ減ジタル故周圍ヨリ框内ニ追込ム。

試験方法 第1回ニ同ジ。

油ノ種類及混合比別	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		ふたてんよこばひ		總成蟲數	殺蟲率%	成績順位	反當所要藥劑價格円								
		生	死	生	死	生	死	生	死												
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	-3	-0	16	12	14	10	1	2	13	47	85	55.3	11	65.0	不良					
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	1	2	0	2	33	19	44	0	0	6	2	0	2	139	76	115	66.1	12	70.0	稍良
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	-1	-4	14	83	23	97	0	0	4	6	0	1	1	299	142	241	58.9	7	65.0	不良
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	-0	-1	10	27	26	61	0	0	5	4	-1	-1	139	98	136	72.1	1	75.0	不良	
鯨油+輕油(青)1:3	2升	-2	-7	6	30	23	32	0	1	7	3	-0	-3	39	75	114	65.8	4	70.0	優	
鯨油+石油(白)1:3	2升	-3	-1	9	34	19	32	0	0	2	6	-3	-4	49	64	113	56.6	10	65.0	良	
魚油+輕油(青)1:3	2升	-0	-1	6	15	7	25	0	0	1	4	-0	-4	21	42	63	67.7	2	70.0	良	
魚油+石油(白)1:3	2升	-4	1	1	3	22	16	19	-0	-2	-1	-1	-1	130	40	70	57.1	9	65.0	優	
菜種油+輕油(青)1:3	2升	-3	-11	1	33	7	51	-0	-2	-3	-3	-4	-3	40	74	114	64.9	5	70.0	不良	
菜種油+石油(白)1:3	2升	-3	-6	7	36	15	37	1	2	0	5	-0	-5	49	68	117	58.1	8	65.0	稍良	
大豆油+輕油(青)1:3	2升	-3	-4	11	31	22	18	0	0	12	9	-2	-7	47	72	119	60.5	6	65.0	良	
大豆油+石油(白)1:3	2升	-2	-3	20	34	18	12	1	2	4	0	0	2	161	39	100	39.0	12	55.0	稍良	

藥害ノ有無 6月23日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和5年度苗代實地試験平均成績

油ノ種類及混合比別	反當用量	殺蟲率%			成績順位
		第1回	第2回	平均	
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	50.8	55.3	53.1	8
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	58.2	66.1	66.2	3
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	62.3	58.9	60.6	6
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	60.5	72.1	66.3	1
鯨油+輕油(青)1:3	2升	56.9	65.8	61.4	5
鯨油+石油(白)1:3	2升	38.1	56.6	47.4	11
鱈油+輕油(青)1:3	2升	52.9	67.7	60.3	7
鱈油+石油(白)1:3	2升	71.6	57.1	64.4	2
菜種油+輕油(青)1:3	2升	38.7	64.9	51.8	10
菜種油+石油(白)1:3	2升	47.7	58.1	52.9	9
大豆油+輕油(青)1:3	2升	63.4	60.5	62.0	4
大豆油+石油(白)1:3	2升	53.4	39.0	46.2	12

昭和5年度苗代應用試験平均成績

油ノ種類及混合比別	反當用量	殺蟲率%			成績順位	反當所要藥劑價格円
		第1回	第2回	平均		
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	60.0	65.0	62.5	4	0.400
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	65.0	70.0	67.5	2	0.425
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	70.0	65.0	67.5	2	0.440
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	65.0	75.0	70.0	1	0.415
鯨油+輕油(青)1:3	2升	65.0	70.0	67.5	2	0.700
鯨油+石油(白)1:3	2升	50.0	65.0	57.5	6	0.733
鱈油+輕油(青)1:3	2升	60.0	70.0	65.0	3	0.600
鱈油+石油(白)1:3	2升	75.0	65.0	70.0	1	0.638
菜種油+輕油(青)1:3	2升	55.0	70.0	62.5	4	0.750
菜種油+石油(白)1:3	2升	60.0	65.0	62.5	4	0.788
大豆油+輕油(青)1:3	2升	70.0	65.0	67.5	2	0.700
大豆油+石油(白)1:3	2升	65.0	55.0	60.0	5	0.738

昭和6年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月15日 天候曇
氣温 18°C—18.5°C 水温 19.5°C
水ノ清濁及水深 稍濁、4cm 風位及風速 静隠
稻生育狀況 草丈25cm内外生育 概シテ良 注油時刻 自午前6時7分
至午前6時35分
調査時刻 自午前8時10分
至午前11時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、他ノひめとびらんか、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひノ順位ニ成蟲多シ。

試験方法 油ノ種類ハ前年度ヨリ4種ヲ減ズ、施行方法ハ前年度同様トス。

油ノ種類及混合比別	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびうんか		たてこひ		その他	總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位	框外見込殺蟲率%	擴散		
		生	死	生	死	生	死	生	死										
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	-16	-17	2	3	2	2	-18	-35	1	0.40	56	96	58.4	7	65.0	不良		
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	-16	-0	7	3	19	2	0	11	3	117	1	0.38	141	179	78.8	3	80.0	精良
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	-23	-39	12	22	20	2	0	7	1	149	1	0.45	211	256	82.4	2	85.0	精良
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	-13	134	14	4	12	3	-7	-52	1	339	105	144	72.9	4	70.0	不良		
鱒油+輕油(青)1:3	2升	-7	-45	6	3	12	14	-4	-65	1	5.21	141	162	87.0	1	90.0	優良		
鱒油+石油(白)1:3	2升	-9	-5	1	2	2	3	-1	-23	1	2.14	35	49	71.4	5	75.0	優良		
大豆油+輕油(青)1:3	2升	-24	-25	8	3	7	2	-16	-36	6	4.57	74	131	56.5	8	60.0	優良		
大豆油+石油(白)1:3	2升	-10	-13	2	7	4	5	-6	-20	-	-25	42	67	62.7	6	65.0	優良		

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月16日 天 候 晴

氣 温 12°C—14°C 水 温 18°C—19°C

水ノ清濁及水深 稍濁、5cm 風位及風速 静 隠

稻生育狀況 草丈25cm内外ニテ 注油時刻 自午前3時40分
生育概シテ良好 至午前4時10分

調査時刻 自午前7時
至午前10時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回試験ニ同ジ、蟲數多少少ナキ部分ハ他ヨリ框内

ニ追込ニ試験ス。

試験方法 前回ニ同ジ。

油ノ種類及混合比別	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびうんか		たてこひ		その他	總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位	框外見込殺蟲率%	擴散		
		生	死	生	死	生	死	生	死										
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	-16	-24	10	24	12	12	12	37	0	0	62	85	147	57.8	6	65.0	良	
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	-20	-41	12	18	11	31	14	64	0	0	64	147	211	69.7	3	75.0	良	
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	-11	-22	27	22	35	28	2	36	3	2	65	123	188	65.4	5	70.0	良	
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	-31	-22	30	38	17	25	12	25	0	3	111	92	203	45.3	7	50.0	良	
鱒油+輕油(青)1:3	2升	-10	-22	4	12	16	58	3	24	1	3	30	123	153	80.6	1	85.0	優良	
鱒油+石油(白)1:3	2升	0	19	129	8	13	17	53	8	39	0	5	48	144	192	75.0	2	80.0	優良
大豆油+輕油(青)1:3	2升	-25	-34	14	26	35	17	23	86	0	4	88	176	264	66.7	4	70.0	精良	
大豆油+石油(白)1:3	2升	-7	-3	33	56	9	17	6	10	5	1	108	40	148	27.0	8	40.0	良	

藥害ノ有無 6月22日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和6年度苗代實地試験平均成績

油ノ種類及混合比別	反當用量	殺 蟲 率 %			成績順位
		第 1 回	第 2 回	平 均	
石油(虎)+輕油(時)2:2	2 升	58.4	57.8	58.1	7
石油(白)+輕油(青)2:2	2 升	78.8	69.7	74.3	2
石油(白)+機械油(C)2:2	2 升	82.4	65.4	73.9	3
輕油(青)+機械油(C)2:2	2 升	72.9	45.3	59.1	6
鱒油+輕油(青)1:3	2 升	87.0	80.6	83.8	1
鱒油+石油(白)1:3	2 升	71.4	75.0	73.2	4
大豆油+輕油(青)1:3	2 升	56.5	66.7	61.6	5
大豆油+石油(白)1:3	2 升	62.7	27.0	44.9	8

昭和6年度苗代應用試験平均成績

油ノ種類及混合比別	反當用量	見 込 殺 蟲 率 %			成績順位	反當所要藥劑價格円
		第 1 回	第 2 回	平 均		
石油(虎)+輕油(時)2:2	2 升	65.0	65.0	65.0	4	0.355
石油(白)+輕油(青)2:2	2 升	80.0	75.0	77.5	2	0.350
石油(白)+機械油(C)2:2	2 升	85.0	70.0	77.5	2	0.365
輕油(青)+機械油(C)2:2	2 升	70.0	50.0	60.0	4	0.345
鱒油+輕油(青)1:3	2 升	90.0	85.0	87.5	1	0.373
鱒油+石油(白)1:3	2 升	75.0	80.0	77.5	2	0.403
大豆油+輕油(青)1:3	2 升	60.0	70.0	65.0	3	0.416
大豆油+石油(白)1:3	2 升	65.0	40.0	52.5	5	0.355

(3) 本田實地試験

昭和5年度

施行期日 8月27日 天 候 晴

氣 温 21.4°C—22°C 水 温 24°C

水ノ清濁及水深 清、7—8cm 風位及風速 静 隠時々微風

稻生育狀況 草丈100cm内外 注油時刻 自午前6時50分
生育良 至午前7時20分

調査時刻 自午前8時30分
至午前10時50分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲、せじろらんか幼蟲最モ多ク、
他ハとびいろらんか、いなづまよこばひ、ひめとびらんかニシ
テ僅少ナリ、蟲數多キハ供試蟲ヲ多カラシムル爲メ他ヨリ浮塵
子ヲ追ヒ込ミタルニ依ル。

試 験 方 法 油ノ種類及用量ハ苗代試験ト同ジ。一坪試験框内ニ坪當所要量
ヲ注油シ手ニテ「シャクリ」掛ノ方法ニ依リ拂落シ所定時間經過
後極力生死蟲ヲ採集シ殺蟲率ヲ調査ス。換水ヲ行ハズ。

油ノ種類及混合比別	反 當 用 量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		せじろ らんか		ひめとび らんか		しまらん か其他		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 殺 蟲 率 %	成 績 順 位	擴 散											
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死																
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	-	2	2	1	5	9	25	19	-	-	23	1	-	-	1	2	-	17	73	90	81.1	4	不良			
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	-	2	1	2	45	16	31	12	6	92	-	-	1	2	-	-	2	76	146	222	65.8	11	不良			
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	-	1	-	2	18	20	33	36	4	-	68	-	-	1	-	-	2	43	142	185	76.8	6	稍良			
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	-	1	6	9	45	23	23	126	1	-	95	-	-	1	-	-	3	58	263	321	81.9	3	稍良			
鯨油+輕油(青)1:3	2升	-	-	1	3	-	14	56	94	4	-	30	2	-	-	1	-	-	1	18	188	236	91.3	1	優		
鯨油+石油(白)1:3	2升	-	2	1	7	8	36	16	55	4	1	39	-	-	-	-	-	1	-	52	118	170	69.4	9	優		
鱈油+輕油(青)1:3	2升	-	2	-	3	2	22	6	48	1	-	12	-	-	-	-	-	1	-	27	70	97	72.2	8	優		
鱈油+石油(白)1:3	2升	-	2	-	4	1	43	4	73	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	349	84	133	63.2	12	優		
菜種油+輕油(青)1:3	2升	-	2	3	6	4	40	32	48	3	-	77	1	-	-	1	-	-	3	50	171	221	77.4	5	優		
菜種油+石油(白)1:3	2升	-	-	1	9	1	26	22	34	4	1	121	-	-	-	-	-	3	3	-	35	193	228	84.6	2	優	
大豆油+輕油(青)1:3	2升	-	1	2	6	7	34	42	46	3	-	40	1	-	-	1	-	-	1	46	139	185	75.1	7	優		
大豆油+石油(白)1:3	2升	1	-	1	1	2	33	38	31	2	1	138	-	-	-	-	-	-	1	-	2	50	111	161	68.9	10	優

昭和6年度

施行期日 8月21日 天 候 晴後曇
氣 温 23°C—26.5°C 水 温 24°C—25.5°C
水ノ清濁及水深 清、8—9cm 風位及風 靜隱速
稻生育狀況 草丈90cm内外生育良 注油時刻 自午前5時30分
至午前5時45分

調査時刻 自午前7時10分
至午前9時

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひ(成幼蟲共ニ多シ)最
モ多ク、とびいろらんか、いなづまよこばひ之ニ次グ、蟲數多
キハ他ヨリ浮塵子ヲ追ヒ込ミタルニ依ル。

試 験 方 法 油種及用量ハ苗代試験ニ同ジ、施行方法ハ前年度ト同様

油ノ種類及混合比別	反 當 用 量	せじろ らんか		とびいろ らんか		つまぐろ よこばひ		いなづま よこばひ		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 殺 蟲 率 %	成 績 順 位	擴 散							
		生	死	生	死	生	死	生	死												
石油(虎)+輕油(時)2:2	2升	223	53	31	0	0	2	3	-	424	3	0	-	4	-29	120	149	80.5	4	良	
石油(白)+輕油(青)2:2	2升	121	147	20	0	5	5	3	4	437	5	0	-	5	-35	225	257	87.5	3	良	
石油(白)+機械油(C)2:2	2升	9	50	95	30	0	0	3	1	4	410	3	4	3	3	-74	145	219	66.2	8	不良
輕油(青)+機械油(C)2:2	2升	6	81	75	61	0	1	11	0	6	-34	12	0	0	4	121	298	319	93.4	1	優
鱈油+輕油(青)1:3	2升	4	6	97	22	-	2	-	11	6	216	2	0	-	2	-20	150	170	88.2	2	優
鱈油+石油(白)1:3	2升	4	30	81	18	0	2	5	22	1	515	1	0	-	1	-62	123	185	66.5	7	優
大豆油+輕油(青)1:3	2升	0	38	112	40	0	1	8	2	7	918	6	2	1	4	258	192	250	76.8	6	優
大豆油+石油(白)1:3	2升	3	52	158	81	0	12	16	6	7	1051	6	2	1	3	087	321	408	78.7	5	良

(4) 本田應用試験

昭和5年度

(4) 本田第1回試験

施行期日 8月1日 天 候 晴
氣 温 24.8°C—29°C 水 温 24°C—26.5°C
水ノ清濁及水深 清、8—9cm 風位及風速 西北ノ微風後軟風トナ
ル
稻生育狀況 草丈70cm内外生育良 注油時刻 自午前6時50分
至午前8時20分
調査時刻 自午前9時
至午前11時20分
浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひノ幼蟲最モ多ク、成
蟲少ナシ。他ハひめとびらんか、とびいろらんか、いなづまよ
こばひニシテ僅少ナリ。稻1株當3—4頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 油ノ種類及用量ハ本田實地試験ニ同ジ。各試験區ハ1畝歩宛2區制トシ、油ノ所要量ヲ稻株間ニ注下シ、後柄振ニテ拂ヒ落シ、所定時間經過後生死蟲ノ大體ノ調査ヲ行ヒ標準區ノ發生狀態モ參照シテ見込殺蟲率ヲ定ム。

油ノ種類及混合比別	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
石油(虎)+輕油(時)2:2	2 升	80.0	1	せじろらんか比較的多シ
同	2 升	75.0	2	
石油(白)+輕油(青)2:2	2 升	75.0	2	せじろらんか比較的多シ
同	2 升	75.0	2	
石油(白)+機械油(C)2	2 升	80.0	1	せじろらんか比較的多シ
同	2 升	75.0	2	
輕油(青)+機械油(C)2:2	2 升	75.0	2	
同	2 升	75.0	2	
鯨油+輕油(青)1:3	2 升	70.0	3	
同	2 升	70.0	3	
鯨油+石油(白)1:3	2 升	60.0	5	
同	2 升	60.0	5	
鱈油+輕油(青)1:3	2 升	75.0	2	せじろらんか成幼蟲共極メテ少ナシ
同	2 升	75.0	2	
鱈油+石油(白)1:3	2 升	75.0	2	
同	2 升	65.0	4	
菜種油+輕油(青)1:3	2 升	65.0	4	
同	2 升	70.0	3	
菜種油+石油(白)1:3	2 升	70.0	3	
同	2 升	70.0	3	
大豆油+輕油(青)1:3	2 升	65.0	4	
同	2 升	65.0	4	
大豆油+石油(白)1:3	2 升	65.0	4	
同	2 升	65.0	6	

備考 動植物性油ヲ混入シタルモノハ擴散大ニシテ礦物油同志ノ混合油ハ擴散劣ル。

藥害ノ有無 8月11日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月28日 天 候 晴
 氣 温 25°C—28°C 水 温 24.8°C—26.5°C
 水ノ清濁及水深 清、9cm内外 風位及風速 靜 隱
 稻生育狀況 草丈95cm内外生育良 注 油 時 刻 自午前7時10分
 至午前9時
 調査時刻 自午前10時
 至午前11時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ、せじろらんか成幼蟲最モ多ク、とびいろらんか成幼蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ、ひめとびらんかハ僅少ナリ。稻1株當リ2—3頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 第1回ニ同ジ。

油ノ種類及混合比別	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
石油(虎)+輕油(時)2:2	2 升	70.0	2	つまぐろノ斃死蟲少ナシ
同	2 升	70.0	2	
石油(白)+輕油(青)2:2	2 升	60.0	4	浮塵子發生少ナク成績査定困難ナリ
同	2 升	70.0	2	
石油(白)+機械油(C)2:2	2 升	70.0	2	浮塵子發生少ナク成績査定困難ナリ
同	2 升	65.0	3	
輕油(青)+機械油(C)2:2	2 升	60.0	4	浮塵子發生頗ル少ナク成績査定困難ナリ
同	2 升	60.0	4	
鯨油+輕油(青)1:3	2 升	50.0	4	同
同	2 升	55.0	6	
鯨油+石油(白)1:3	2 升	75.0	1	浮塵子ノ發生各區中最モ多ク特ニせじろらんかノ幼蟲多シ
同	2 升	75.0	1	
鱈油+輕油(青)1:3	2 升	65.0	1	
同	2 升	70.0	3	
鱈油+石油(白)1:3	2 升	60.0	2	
同	2 升	60.0	4	
菜種油+輕油(青)1:3	2 升	40.0	4	浮塵子發生極メテ少ナク査定ニ困難ス
同	2 升	40.0	4	
菜種油+石油(白)1:3	2 升	40.0	7	浮塵子ノ發生各ク少ナク成績査定頗ル困難ナリ
同	2 升	40.0	7	
大豆油+輕油(青)1:3	2 升	40.0	7	同
同	2 升	40.0	7	
大豆油+石油(白)1:3	2 升	40.0	7	同
同	2 升	40.0	7	

備考 油ノ擴散ハ第1回試験ト同様ノ傾向アリ。

藥害ノ有無 9月10日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和5年度本田應用試験平均成績

油ノ種類及混合比別	見込殺蟲率 %		平均	成績順位	反當所要 藥劑價格 円
	第 1 回	第 2 回			
石油(虎)+輕油(時)2:2	77.5	70.0	73.8	1	0.400
石油(白)+輕油(青)2:2	75.0	65.0	70.0	4	0.425
石油(白)+機械油(C)2:2	77.5	67.5	72.5	2	0.440
輕油(青)+機械油(C)2:2	75.0	60.0	67.5	5	0.415
鯨油+輕油(青)1:3	70.0	52.5	61.3	7	0.700
鯨油+石油(白)1:3	60.0	75.0	67.5	5	0.738
鱈油+輕油(青)1:3	75.0	67.5	71.3	3	0.600
鱈油+石油(白)1:3	70.0	66.0	65.0	6	0.638
菜種油+輕油(青)1:3	67.5	40.0	53.8	9	0.750
菜種油+石油(白)1:3	70.0	40.0	55.0	8	0.788
大豆油+輕油(青)1:3	65.0	40.0	52.5	10	0.700
大豆油+石油(白)1:3	65.0	40.0	52.5	10	0.738

昭和6年度

(イ)本田第1回試験

施行期日 8月6日 天 候 晴
 氣 温 25°C—28°C 水 温 25°C—26°C
 水ノ清濁及水深 稍濁或ハ清、8—9cm 風位及風速 西北ノ微風後静隠
 稻生育狀況 草丈80cm内外生育稍良 注油時刻 自午前5時30分至午前7時
 調査時刻 自午前8時至午前9時35分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成蟲多ク、幼蟲少ナシ。せじろらんか幼蟲多ク、成蟲少ナシ。とびいろうんか成幼蟲ノ順ニ多ク、いなづまよこばひ、ひめとびらんかハ極メテ僅少ナク。1株當リ3—4頭ノ發生ヲ見ル。
 試験方法 油種及用量ハ苗代試験ト同一ニシテ施行方法ハ前年度ニ同ジ。

油ノ種類及混合比別	反當用量	見込殺蟲率 %	成績 順位	備 考
石油(虎)+輕油(時)2:2	2 升	80.0	1	せじろらんか幼蟲及つまぐろよこばひ成蟲多ク且ツ葎多シ
同	2 升	75.0	2	
石油(白)+輕油(青)2:2	2 升	65.0	4	同 尙つまぐろよこばひノ斃死多シ
同	2 升	70.0	3	
石油(白)+機械油(C)2:2	2 升	75.0	2	前區ニ比シ蟲數少ナシ
同	2 升	75.0	2	
輕油(青)+機械油(C)2:2	2 升	70.0	3	同
同	2 升	75.0	2	
鱈油+輕油(青)1:3	2 升	70.0	3	せじろらんかノ幼蟲及つまぐろよこばひ成蟲多シ
同	2 升	70.0	3	
鱈油+石油(白)1:3	2 升	75.0	2	同
同	2 升	75.0	2	
大豆油+輕油(青)1:3	2 升	70.0	3	同
同	2 升	70.0	3	
大豆油+石油(白)1:3	2 升	70.0	3	同
同	2 升	70.0	3	

備考 油ノ擴散ハ前年度ト同一ナリ。

藥害調査 8月16日、藥害ヲ認メズ。

(ロ)本田第2回試験

施行期日 9月5日 天 候 曇後驟雨
 氣 温 24.5°C—27°C 水 温 25.5°C—26°C
 水ノ清濁及水深 清或ハ濁、5—6cm 風位及風速 静隠後北東ノ軟風次デ強風トナル
 稻生育狀況 草丈100cm内外7割出穂生育良好 注油時刻 自午前6時至午前8時
 調査時刻 自午前9時至午前11時10分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 とびいろうんか短翅型及幼蟲多シ、つまぐろよこばひ(成幼蟲)最モ多ク、せじろらんか、しまらんか、いなづまよこばひハ僅少ナリ。1株當2—3頭ノ發生ヲ見ル。
 試験方法 第1回試験ト同ジ。

油ノ種類及混合比別	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
石油(虎)+輕油(時)2:2 同	2 升 2 升	65.0 70.0	2 1
石油(白)+輕油(青)2:2 同	2 升 2 升	60.0 70.0	3 1
石油(白)+機械油(C)2:2 同	2 升 2 升	65.0 70.0	2 1
輕油(青)+機械油(C)2:2 同	2 升 2 升	65.0 65.0	2 2
鱒油+輕油(青)1:3 同	2 升 2 升	55.0 60.0	4 3
鱒油+石油(白)1:3 同	2 升 2 升	70.0 70.0	1 1
大豆油+輕油(青)1:3 同	2 升 2 升	65.0 60.0	2 3
大豆油+石油(白)1:3 同	2 升 2 升	60.0 65.0	3 2

備考 油ノ擴散ハ第1回試驗ニ同ジ。出穂後ノ驅除ノ爲メ出穂前ニ比シ斃死蟲頗ル少シ。

藥害調査 9月15日、藥害ヲ認メズ。

5 稻ノ生育ニ伴フ挿秧後ノ日數ト驅除油ノ影響トノ關係試驗 (昭和5年度)

試驗方法

挿秧期日 6月23日、各區面積ハ1坪トシ、坪60株植、1株本數ハ分藥苗2本、未分藥苗ハ3—4本植トス。

注油時期 挿秧後5日目、10日目、15日目

油種及反當油量 石油(虎印、白國花) 2升
輕油(時計印、青全勝) 2升
除蟲菊浸出石油(虎印) 1升
機械油(Cマシン) 2升

「ビベツト」ヲ以テ稻株間ニ注油シ、手ニテ「シャクリ」掛ノ方法ヲ行フ。

藥害ノ程度 無被害 全ク健全ナルモノ

最輕被害 莖葉ノ輕微ナル變色部分ヲ生ジタルモノ

輕被害 莖葉ノ藥害相當甚シク變色部分ノ大ナルモノ或ハ葉ニ枯レタル部分ヲ生ジタルモノ

重被害 葉子或ハ葉鞘ノ枯凋セルモノ等莖葉ノ藥害大ニシテ枯死セル部分ヲ生ジタルモノ

(イ) 挿秧5日後ニ於ケル注油ノ稻ニ及ボス藥害ノ有無ニ關スル試驗

注油期日 6月28日 水ノ清濁及水深 清、7cm内外

稻生育狀況 草丈30cm内外ニテ挿秧當時ナルヲ以テ生育良好ナラザルモノ新根ヲ抽出シツツアリ。

注油時刻 自午前7時
至午前7時10分

油ノ種類	7月3日 (注油後5日目 挿秧後11日目)		7月8日 (注油後10日目 挿秧後15日目)		7月13日 (注油後15日目 挿秧後20日目)		7月18日 (注油後20日目 挿秧後25日目)		7月21日 (注油後25日目 挿秧後30日目)		7月23日 (注油後27日目 挿秧後32日目)	
	無被害	最輕被害	輕被害	重被害	無被害	最輕被害	輕被害	重被害	無被害	最輕被害	輕被害	重被害
石油 虎印	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
石油 白國花	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
輕油 青全勝	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
輕油 時計印	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
除蟲菊浸出石油 (虎印)	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
機械油 Cマシン	10	31	15	4	10	31	15	4	60	0	0	0

重被害4株、輕被害1株ニ就キ觀察調査ノ結果次ノ如シ。

藥害ノ程度及株番號	7月3日	7月8日	7月13日	7月18日
重被害 No.1	莖數4本中2本藥害大ニシテ枯死ニ近シ	被害莖2本枯死ニ近シ	1本回復シ新芽ヲ生ズ	藥害完全ニ回復ス
同 No.2	莖數2本中1本枯死ニ近シ	被害莖1本ハ枯死ニ近シ	枯死状態ノ1本ハ新芽ヲ生ズ	藥害完全ニ回復ス
同 No.3	莖數4本中2本枯死	藥害ノ程度進マズ	藥害殆ンド回復ス	
同 No.4	莖數6本藥害多キモ枯死ニ至ラズ	藥害ノ程度進マズ	藥害殆ンド回復ス	
輕被害 No.1	下葉ニ藥害稍大	藥害ノ程度進マズ	完全ニ回復ス	

稻ノ生育状態

調査期日		7月3日	7月8日	7月13日	7月18日	7月21日	7月28日	10月27日
重被害 No. 1	草丈 cm 莖数 本	33.0 4	35.0 6	38.0 8	46.0 12	47.5 12	70.0 14	120.5 14
同 No. 2	草丈 cm 莖数 本	33.0 2	37.0 5	39.0 10	47.0 12	56.0 13	72.0 18	124.5 18
同 No. 3	草丈 cm 莖数 本	40.0 4	42.0 6	50.5 12	53.0 20	60.0 23	81.0 23	127.0 23
同 No. 4	草丈 cm 莖数 本	33.0 6	42.0 14	46.0 17	55.0 18	60.5 21	76.0 24	130.0 24
平均	草丈 cm 莖数 本	34.8 4.0	39.0 7.8	43.4 11.8	50.2 15.5	56.0 17.2	74.3 19.8	125.5 19.8
軽被害 No. 1	草丈 cm 莖数 本	33.0 3	41.0 12	43.0 15	52.0 24	64.0 24	82.0 26	125.5 26

(ロ) 挿秧10日後ニ於ケル注油ノ稻ニ及ボス薬害ノ有無ニ關スル試験

注油期日 7月3日 水ノ清濁及水深 清、7-8cm
 稻生育状況 草丈35cm内外ニテ既ニ活着 注油時刻 自午前7時
 至午前7時10分

油ノ種類	被害程度	7月8日 (注油後5日目)		7月13日 (注油後10日目)		7月18日 (注油後15日目)		7月21日 (注油後20日目)		7月28日 (注油後25日目)		
		無被害	最軽被害	軽被害	重被害	無被害	最軽被害	軽被害	重被害	無被害	最軽被害	軽被害
石油	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
虎印	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
白國花	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
青全勝	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
時計印	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
除害油	60	0	0	0	60	0	0	0	60	0	0	0
機械油 Cマシン	10	44	4	2	58	0	0	2	60	0	0	0

重被害2株、軽被害4株ニ就キ觀察調査ノ結果次ノ如シ。

調査期日	7月8日	7月13日	7月18日
重被害 No. 1	莖数4本中1本枯死ス	残莖3本モ尙回復セズ	異状ナシ
同 No. 2	莖数4本中半枯2本アリ	半枯2本ハ尙回復スルニ至ラズ	同
軽被害 No. 1	莖数10本中半枯2本アリ	半枯2本ハ既ニ伸長シ回復セリ	同
同 No. 2	莖数16本中半枯3本アリ	半枯3本ハ伸長シ生育シテ回復セリ	同
同 No. 3	莖数5本中半枯2本アリ	半枯2本モ伸長シ回復セリ	同
同 No. 4	莖数5本中半枯1本アリ	半枯1本モ回復セリ	同

稻ノ生育状態

調査期日		7月8日	7月13日	7月18日	7月21日	7月28日	10月27日
重被害 No. 1	草丈 cm 莖数 本	33.0 4	38.0 5	43.0 5	47.2 7	65.0 10	118.5 10
同 No. 2	草丈 cm 莖数 本	32.0 4	36.0 5	38.0 8	49.1 9	65.0 11	127.5 12
平均	草丈 cm 莖数 本	32.5 4.0	37.0 5.0	40.5 6.5	48.2 8.0	65.0 10.5	123.0 11.0
軽被害 No. 1	草丈 cm 莖数 本	32.0 10	39.0 12	45.0 14	51.7 22	67.0 25	124.5 25
同 No. 2	草丈 cm 莖数 本	36.5 12	40.0 16	50.0 20	52.0 22	67.0 24	122.0 24
同 No. 3	草丈 cm 莖数 本	30.0 5	35.5 7	46.0 16	55.1 16	72.0 18	124.5 18
同 No. 4	草丈 cm 莖数 本	35.0 5	44.0 8	46.5 15	49.5 14	69.0 18	122.0 18
平均	草丈 cm 莖数 本	33.4 8.0	39.6 10.7	46.8 16.2	52.1 18.5	68.7 21.2	126.3 21.2

(ハ) 挿秧15日後ニ於ケル注油ノ稻ノ生育ニ及ボス薬害ノ有無ニ關スル試験

施行期日 7月8日 水ノ清濁及水深 清、7-8cm
 稻生育状況 草丈40cm内外ニテ稻ハ充分ニ活着セリ 注油時刻 自午前7時
 至午前7時10分

注油後5日目(挿秧後20日目)ノ調査ニテハ前回同様 C「マシン」區ノミ輕微ナル薬害ヲ認メタリ。即チ無被害株31株、最軽被害28株、軽被害1株(莖数17本ノ内半枯2本アリ)、右ハ7月25日及其以後ノ調査ニ當リテハ全ク回復セリ。

6 注油後拂落迄ノ時間ノ長短ト殺蟲效果比較試験 (昭和5-6年度)

(1) 室内試験

昭和5年度

試験區別及方法

注油後拂落迄ノ經過時間區別

(イ) 注油後 5分 (ロ) 同 30分 (ハ) 同 60分

油ノ種類及方法

- 石 油 (虎印、白國花) 反當 1 升
- 輕 油 (青全勝、時計印) 同 1 升
- 除蟲菊浸出石油 (虎印) 同 5 合
- 機械油 (Cマシン) 同 1 升

前記驅除油ノ室内試験ト大體同様ナル方法ニ依リ施行ス。先ヅ全部ニ注油シ拂落時間ノ來ル直前攪拌シ、小波ヲ靜メ各5分、30分、60分後ノ順序ニ拂落ヲナシ、各試験區共拂落後1時間半ヲ標準トシテ時間ノ經過シタル後調査ヲ行フ。

試 験 区 別	生 死 蟲 數				殺 蟲 率 %					5分後殺蟲率 トセル指 數	成績 順位	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	第4回	平均			
												生
石油 虎 印	1 6 17	1 17 18	5 16 21	10 16 26	94.1	94.4	76.2	61.5	81.6	100	1	
石油 虎 印	5 分	1 6 17	1 17 18	5 16 21	10 16 26	94.1	94.4	76.2	61.5	81.6	100	1
	30 分	0 15 15	4 13 17	2 16 18	11 14 25	100.0	76.5	88.9	96.0	80.4	99	2
	60 分	6 12 18	6 16 22	6 13 19	17 8 25	66.7	72.3	68.4	32.0	59.9	73	3
石油 白國花	0 15 15	2 17 19	6 15 21	2 23 25	100.0	89.5	71.4	92.0	88.2	100	1	
石油 白國花	5 分	0 15 15	2 17 19	6 15 21	2 23 25	100.0	89.5	71.4	92.0	88.2	100	1
	30 分	0 11 11	4 17 21	7 9 16	3 23 26	100.0	81.0	56.3	88.5	81.5	92	2
	60 分	2 15 17	6 14 20	4 8 12	6 22 28	88.2	70.0	66.7	78.6	75.9	86	3
輕油 青全勝	0 16 16	0 15 15	3 15 18	2 26 28	100.0	100.0	83.3	92.9	94.1	100	1	
輕油 青全勝	5 分	0 16 16	0 15 15	3 15 18	2 26 28	100.0	100.0	83.3	92.9	94.1	100	1
	30 分	1 12 13	2 15 17	6 12 18	4 25 29	92.3	88.2	66.7	85.2	83.4	89	3
	60 分	1 15 16	4 15 19	5 14 19	0 25 25	93.8	78.9	73.7	100.0	86.6	92	2
輕油 時計印	0 13 13	1 19 20	2 20 22	4 22 26	100.0	95.0	90.9	84.6	92.6	100	1	
輕油 時計印	5 分	0 13 13	1 19 20	2 20 22	4 22 26	100.0	95.0	90.9	84.6	92.6	100	1
	30 分	2 13 15	2 16 18	1 21 22	15 9 24	86.7	88.9	95.5	37.5	77.2	83	2
	60 分	2 15 17	2 18 20	6 12 18	23 7 30	88.2	90.0	66.7	33.3	69.6	75	3
除蟲菊浸出石油	2 15 17	2 16 18	4 14 18	0 25 25	88.2	88.9	77.7	100.0	88.7	100	1	
除蟲菊浸出石油	5 分	2 15 17	2 16 18	4 14 18	0 25 25	88.2	88.9	77.7	100.0	88.7	100	1
	30 分	6 9 15	4 12 16	7 11 18	13 12 25	60.0	75.0	61.1	48.0	61.0	69	3
	60 分	5 10 15	7 14 21	3 15 18	9 13 22	66.7	66.7	83.3	59.1	69.0	71	2
機械油 Cマシン	0 13 13	0 16 16	2 17 19	2 23 25	100.0	100.0	89.5	92.0	95.4	100	1	
機械油 Cマシン	5 分	0 13 13	0 16 16	2 17 19	2 23 25	100.0	100.0	89.5	92.0	95.4	100	1
	30 分	0 13 13	2 15 17	3 17 20	4 21 25	100.0	88.2	85.0	84.0	89.3	94	3
	60 分	1 14 15	3 17 20	2 17 19	0 24 24	93.3	85.0	89.5	100.0	92.0	96	2

備考

施行日	室温 °C	水温 °C	注油開始時刻	供 試 蟲
第1回 7月15日	27.5	25.0	午前7時35分	つまぐるよこばひ成幼蟲、せじろらんか幼蟲
第2回 7月18日	25.0	24.5	午前7時	つまぐるよこばひ、せじろらんか各成幼蟲
第3回 7月25日	27.0	26.5	午前9時15分	せじろらんか成幼蟲、つまぐるよこばひ成蟲
第4回 9月27日	21.0	19.5	午前9時15分	とびいろらんか成蟲

昭和6年度

試験區別及方法

前年度ト同一方法ニ依ル。但シ注油方法ニ於テ本年度ハ先ヅ全部ニ注油後攪拌シ置キ各時間經過ト共ニ拂落ヲ行フ。

試 験 区 別	生 死 蟲 數						殺 蟲 率 %			5分後殺蟲率 トセル指 數	成績 順位	
	第 1 回		第 2 回		第 1 回	第 2 回	平 均					
	生	死	計	生				死	計			
石油 虎 印	1	28	29	5	32	37	93.1	86.5	89.8	100	3	
石油 虎 印	5 分	1	28	29	5	32	37	93.1	86.5	89.8	100	3
	30 分	0	36	36	3	41	44	100.0	93.2	96.6	108	1
	60 分	1	32	33	3	52	55	97.0	94.5	95.8	107	2
石油 白國花	1	40	41	4	27	31	97.6	87.1	92.4	100	3	
石油 白國花	5 分	1	40	41	4	27	31	97.6	87.1	92.4	100	3
	30 分	2	26	28	2	52	54	92.9	96.3	94.6	102	2
	60 分	0	32	32	2	42	44	100.0	95.5	97.8	106	1
輕油 青全勝	0	32	32	0	32	32	100.0	100.0	100.0	100	1	
輕油 青全勝	5 分	0	32	32	0	32	32	100.0	100.0	100.0	100	1
	30 分	1	35	36	0	46	46	97.2	100.0	98.6	99	2
	60 分	0	31	31	2	44	46	100.0	95.7	97.9	98	3
輕油 時計印	4	38	42	1	45	46	90.5	97.8	94.2	100	3	
輕油 時計印	5 分	4	38	42	1	45	46	90.5	97.8	94.2	100	3
	30 分	0	41	41	1	44	45	100.0	97.8	98.9	105	2
	60 分	0	36	36	0	38	38	100.0	100.0	100.0	106	1
除蟲菊浸出石油	1	18	18	1	28	29	94.7	96.6	95.7	100	1	
除蟲菊浸出石油	5 分	1	18	18	1	28	29	94.7	96.6	95.7	100	1
	30 分	2	35	37	8	43	51	94.6	94.3	94.5	99	3
	60 分	1	36	37	5	62	67	97.3	92.5	94.9	99	2
機械油 Cマシン	0	32	32	1	38	39	100.0	97.4	98.7	100	2	
機械油 Cマシン	5 分	0	32	32	1	38	39	100.0	97.4	98.7	100	2
	30 分	1	35	36	5	52	57	97.2	91.2	94.2	95	3
	60 分	0	32	32	0	36	36	100.0	100.0	100.0	101	1

備考

施行日	室温 °C	水温 °C	注油開始時刻	供 試 蟲
第1回 7月31日	25.0	24.0	午前6時15分	せじろらんか、ひめとびらんか、とびいろらんか、つまぐるよこばひ、いなづまよこばひ各成幼蟲
第2回 8月14日	27.5	27.0	午前6時30分	同上

(2) 屋外試験

昭和6年度

(4) 屋外芝生上

試験方法 油ノ種類、用量及時間區別ハ室内試験ト同一トス。方法ハ芝草ヲ長サ5分位ニ剪除シ前日夕刻ヨリ水ヲ入レタル水盤ヲ被覆シテ配置ス。供試蟲ヲ入レタル硝子鍾ハ室内ニ置キ試験開始前室外ニ搬出シ、室内試験同様ノ方法ニ依リ試験ス。

試験區別	生 死 蟲 數									殺 蟲 率 %				成績順位		
	第1回			第2回			第3回			平均	5分後 殺蟲率 トセル 指數	成績 順位				
	生	死	計	生	死	計	生	死	計							
石油虎印	5分	5	27	32	10	28	38	4	24	28	84.4	73.7	85.7	81.3	100	3
	30分	5	39	44	3	25	28	7	44	51	88.6	89.3	85.3	88.1	108	1
	60分	4	45	49	5	32	37	6	31	37	91.8	85.5	79.5	85.9	105	2
石油白國花	5分	2	24	26	1	33	34	5	12	17	92.3	97.1	78.8	89.4	100	2
	30分	3	27	30	1	54	55	4	23	27	90.0	98.2	85.2	91.1	102	1
	60分	9	18	27	4	33	37	10	9	19	66.7	89.2	47.4	67.8	76	3
軽油青全勝	5分	7	20	27	0	26	26	2	31	33	74.7	100.0	93.9	89.5	100	1
	30分	5	29	34	0	31	31	18	27	45	85.3	100.0	60.0	81.8	91	2
	60分	5	43	48	2	19	21	10	2	12	89.6	90.5	16.7	65.6	73	3
軽油時計印	5分	1	34	35	0	32	32	0	19	19	97.1	100.0	100.0	99.0	100	1
	30分	1	31	32	1	21	22	11	13	24	96.9	95.5	94.4	82.3	83	3
	60分	0	28	28	5	29	34	12	27	39	100.0	85.3	69.2	81.8	96	2
除蟲菊浸出石油	5分	4	23	27	1	29	30	2	28	30	85.2	96.7	93.3	91.7	100	2
	30分	0	19	19	0	18	18	6	29	35	100.0	100.0	82.9	94.3	103	1
	60分	7	26	33	8	19	27	14	8	22	78.8	70.4	36.4	61.9	68	3
機械油Cマシ	5分	0	39	39	0	33	33	1	42	43	100.0	100.0	97.7	99.2	100	1
	30分	1	26	27	2	31	33	4	13	17	96.3	93.9	76.5	88.9	90	2
	60分	2	25	27	3	23	26	9	13	22	92.6	88.5	59.1	80.1	81	3

備考

施行期日	天候	気温 °C	水温 °C	注油開始 時刻	供試蟲
第1回 8月4日	曇、微風	23.5	24.0	午前6時5分	せじろらんか、とびいろらんか、ひめとびらんか、つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ各成幼蟲
第2回 8月12日	晴、静謐	24.5	25.0	午前6時15分	せじろらんか、とびいろらんか、ひめとびらんか、しまらんか各成幼蟲
第3回 10月20日	曇時々晴 東軟風	12.5	14.5	午前8時10分	せじろらんか、とびいろらんか、ひめとびらんか、つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ各成幼蟲

(ロ) 本田實地試験

施行期日 8月15日 天 候 晴
 氣 温 24°C—25°C 水 温 25.8°C—26°C
 風位及風速 静 隠 水ノ清濁及水深 清或ハ濁、9—10cm
 稻生育状況 草丈80cm内外生育良 注油時刻 自午前5時30分
 至午前5時45分
 調査時刻 自午前7時
 至午前11時50分
 浮塵子ノ種類及發生状況 せじろらんか、つまぐろよこばひハ成幼蟲共ニ多ク、

とびいろらんか之ニ次ギ、いなづまよこばひ最モ少ナシ。

試験方法 一般本田實地試験ノ方法ニ準據シ試験ス。先ヅ全部ニ注油シ置キ5分、30分、60分ノ順序ニ時間經過ト共ニ手ニテ「シヤクリ」掛ノ方法ニ依リ拂落ヲナシ、所定時間經過後生死蟲ヲ採集シテ殺蟲率ヲ定ム。

試験區別	反當 用量	せじろらんか		とびいろらんか		つまぐろよこばひ		いなづまよこばひ		總生 蟲數	總死 蟲數	總殺 蟲率 %	5分後 殺蟲率 トセル 指數	成績 順位											
		生	死	生	死	生	死	生	死																
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲																
石油虎印	2升	5分	33	29	22	19	1	2	9	3	9	12	1	2	0	2	1	0	88	57	145	39.3	100	2	
		30分	8	21	19	7	2	2	3	1	4	3	5	8	0	0	2	1	40	46	86	53.5	136	1	
		60分	2	15	5	3	3	7	0	2	1	6	15	7	3	2	1	0	0	298	85	383	22.2	57	3
石油白國花	2升	5分	30	35	20	13	5	4	2	5	3	3	6	5	2	1	-	3	-	81	254	335	75.8	100	1
		30分	12	9	53	10	0	1	2	1	2	12	9	7	2	-	0	-	38	82	120	68.3	81	2	
		60分	2	3	49	6	5	6	2	3	5	4	12	14	7	1	3	0	0	1	106	89	195	45.6	60
軽油青全勝	2升	5分	3	16	15	4	1	0	1	5	9	10	4	-	2	-	0	-	39	210	249	84.3	100	1	
		30分	3	26	17	25	0	1	7	2	1	12	7	5	1	-	0	-	44	221	255	83.4	99	2	
		60分	5	26	12	27	1	4	-	4	4	6	16	13	0	1	2	-	47	182	229	79.5	94	3	
軽油時計印	2升	5分	7	13	13	2	2	0	7	3	7	7	9	15	-	1	-	0	37	198	235	84.3	100	1	
		30分	3	1	6	15	8	2	0	6	1	1	1	2	2	-	0	-	1	39	204	243	84.0	99	2
		60分	1	3	5	26	7	0	2	1	2	3	7	3	1	1	1	0	0	82	40	122	32.8	39	3
除蟲菊浸出石油	1升	5分	4	38	19	2	3	0	-	3	4	2	-	-	-	-	-	-	45	238	283	84.1	100	2	
		30分	2	10	14	8	16	0	1	4	0	1	2	7	0	1	-	0	-	17	175	192	91.1	108	1
		60分	1	9	33	14	23	1	2	3	4	3	7	17	7	1	0	0	1	66	201	267	75.3	90	3
機械油Cマシ	2升	5分	3	58	18	0	56	0	1	3	0	0	8	2	0	0	-	1	-	70	242	312	77.6	100	2
		30分	1	2	31	16	33	1	0	8	2	3	5	15	2	2	-	0	-	54	229	283	80.9	104	1
		60分	2	5	0	7	13	0	1	1	2	3	0	2	19	2	-	1	-	56	127	183	69.4	89	3

7 拂落方法ヲ異ニセル場合ノ殺蟲效果比較試験 (昭和7年度)

試験方法

苗代

A 淺水法

(イ) 拂落型

竹 棒 直径1.2cm、長サハ苗床ノ幅ヨリ 30cm位長キ竹棒ヲ用ヒ急激ニ左右ニ苗ヲ動搖シ拂落ス。

竹 笹 長サ2米位ニテ先端ヲ僅少剪除セル竹笹ヲ以テ苗ヲ左右ニ撫テ拂落ス。

(ロ) 撒水型

「シヤクリ」掛 手ニテ油水ヲ苗床面ニ汲ミ掛ケル。

B 深水法

苗代ニ灌水シツツ長サ約 3cm位ニ切リタル藁 (坪當リ約 100匁) ヲ撒布シ、水ハ苗ノ葉先ヲ没スル程度トス、之ニ油ヲ滴下シ箒ニテ掃キ寄せ捨テ去リ作業終リテ換水ス。

本 田

(イ) 拂落型

竹 棒 長サ2米餘、直径 2cmノ竹棒ニテ左右各 6 株宛拂ヒ落ス。

竹 笹 苗代期ト同様 (但シ先端ヲ剪除セズ) ノ竹笹ヲ以テ左右各 6 株位宛拂ヒ落ス。

(ロ) 撒水型

藁箒(穂手) 長サ2米位ノ竹棒ノ先ニ長サ 18cm 位ノ藁東ヲ附シタルモノニテ之ヲ左右ノ株間ヲ振リツツ各 4 株位宛ニ油水ヲ振り掛ク。

蹴 掛 稻 1 株ヲ跨ギ前進シ乍ラ左右ノ足ヲ交互ニ振り油水ヲ蹴掛ケ 1 回ニ 3 株宛洗ヒ落スガ如クス。

柄 振 厚サ2cm、幅15cm、長サ20cm位ノ板片ノ中央ニ直角ニ直径2cm、

長サ2米位ノ竹棒ヲ取付ケ柄トシタルモノニテ 1 列隔即チ 1 回ニ 2 株宛ノ株間ノ水ヲ波立タセツツ突掛ク。

(1) 苗代實地及應用試験

(イ) 苗代第 1 回試験

施行期日 6月4日 天 候 曇
 氣 温 18°C—19°C 水 温 19°C
 水ノ清濁及水深 濁、3cm 風位及風速 北西ノ微風
 稻生育状況 15cm内外生育稍不均一ノ傾向アリ 注油時刻 自午前5時30分至午前6時
 調査時刻 自午前7時30分至午前9時10分
 浮塵子發生状況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびらんか成蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ等ハ僅少ナリ。
 試験方法 普通ノ實地試験ノ方法ニヨリテ行ヒ拂落時間モ制限セズ、油ハ輕油黒菊印反當 2 升使用ス。

試 驗 區 別	つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	坪當所要時間 秒	成績順位	概外見込殺蟲率 %	
	生	死	生	死	生	死	生	死								
竹 棒 拂 落	225	334	5	25	1	2	3	4	7	27	42	96	138	69.6	50	180.0
手 シヤクリ 掛	818	415	14	19	2	2	1	8	43	48	91	52.7	40	3	65.0	
竹 笹 拂 落	332	342	3	2	0	1	2	17	40	65	105	61.9	30	2	70.0	
深 水 法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

備考 深水法ハ畦崩壊ノ爲メ完全ニ灌水出來ズ不結果ニ終リ却テ葉先ニ藥害ヲ生ジ尙ホ殺蟲効果全ク擧ラズ

藥 害 ノ 有 無 6月14日調査、深水法以外ハ藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第 2 回試験

施行期日 6月11日 天 候 晴
 氣 温 15.5°C—17.6°C 水 温 21°C—22°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、3cm 風位及風速 靜 隠

稻生育状況 草丈20cm内外 注油時刻 自午前5時
 生育稍不均一 至午前5時10分
 調査時刻 自午前6時40分
 至午前9時

浮塵子発生状況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびらんか、いなづま
 よこばひ之ニ次ギ、ふたてんよこばひ等ハ僅少ナリ。

試験方法 第1回試験ト略同ジ、但シ拂落時間ヲ一定トシ各區40秒宛トス。

試 別 區 別	つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ		總生 死 蟲 數	總死 蟲 數	殺 蟲 率 %	坪當 所要 時間 分	成 績 順 位	概外 見込 殺蟲 率%											
	生	死	生	死	生	死	生	死																	
	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲																	
竹 棒 拂 落	7	12	4	10	8	1	0	7	0	0	1	3	0	1	3	222	166	188	88.3	40	3	90.0			
手 シ ャ タ リ 掛	1	25	0	12	5	0	1	6	0	0	1	0	0	0	0	5	3	188	191	98.4	40	1	55.0		
竹 笹 拂 落	4	47	7	10	7	0	6	1	1	4	0	0	1	1	10	110	196	206	95.1	40	2	90.0			
深 水 法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

備考 深水法ハ數日前ヨリ畦ヲ完全ニシテ施行中崩壊シ、徒長セル苗(水面1.5分乃至1寸)ハ
 藥害ヲ受ケ葉先黃褐色トナル。

藥害ノ有無 6月21日調査、深水法以外ハ藥害ヲ認メズ。

(2) 本田應用試験

(イ) 本田第1回試験 (穂孕前)

施行期日 8月10日 天 候 曇 (時々小雨アリ)
 氣 温 19.5°C—27°C 水 温 21°C—26.5°C
 水ノ清濁及水深 清、8—10cm 風位及風速 西北ノ軟風時々強風アリ
 稻生育状況 草丈90cm内外生育良 注油時刻 自午前8時25分
 至午前9時10分
 調査時刻 自午前11時10分
 至午前11時55分
 浮塵子発生状況 せじろらんか(幼蟲多シ)、つまぐろよこばひ(成蟲多シ)最
 モ多ク、ひめとびらんか之ニ次ギいなづまよこばひ、とびいろ
 らんかハ僅少ナリ。
 試験方法 各區1畝歩宛2區制トシ拂落ハ各前述ノ方法ニ準據ス、油ハ輕
 油黒菊印反當2升ノ割ニ注油ス。

試 驗 區 別	見込殺蟲率 %	1人1畝當所要時間 分	成 績 順 位
竹 笹 拂 落	75.0	3.00	3
同	85.0	3.00	1
竹 棒 拂 落	75.0	2.00	3
同	65.0	2.00	5
藁 同 簀	70.0	5.00	4
同	70.0	5.00	4
足 蹴 掛	75.0	2.00	3
同	70.0	2.00	4
柄 同 振	85.0	3.00	1
同	80.0	3.00	2

藥害ノ有無 8月20日、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験 (穂孕期)

施行期日 8月26日 天 候 晴
 氣 温 21°C—24°C 水 温 24°C—25°C
 水ノ清濁及水深 清或ハ濁、8cm 風位及風速 静 隠
 稻生育状況 草丈105cm生育頗ル 注油時刻 自午前7時5分
 良 至午前8時
 調査時刻 自午前8時50分
 至午前9時10分
 浮塵子発生状況 せじろらんか幼蟲最モ多ク、つまぐろよこばひ(成幼蟲共)之ニ
 次ギ、とびいろらんか、ひめとびらんか、いなづまよこばひ僅
 少ナリ。
 試験方法 第1回試験ニ同ジ

試 驗 區 別	見込殺蟲率 %	1人1畝當所要時間 分	成 績 順 位
竹 笹 拂 落	75.0	3.00	4
同	80.0	3.30	3
竹 棒 拂 落	80.0	1.30	3
同	85.0	2.00	2
藁 同 簀	85.0	4.00	2
同	90.0	5.00	1
足 蹴 掛	85.0	3.00	2
同	90.0	3.00	1
柄 同 振	90.0	3.00	1
同	90.0	3.00	1

薬害の有無 9月5日調査、薬害ヲ認メズ。

(ハ) 本田第3回試験(出穂後)

施行期日 9月21日 天 候 曇時々日光ノ照射アリ

気温 18.2°C-20°C 水温 19.5°C-20.5°C

水ノ清濁及水深 清或ハ濁、5-6cm 風位及風速 静 穏

稻生育状況 草丈110cm内外ニテ乳熟期トナリ生育頗ル良

注油時刻 自午前7時25分 至午前9時30分 調査時刻 自午前10時35分 至午前11時5分

浮塵子発生状況 つまぐろよこばひ成虫、せじろらんか幼虫最も多く、いなづまよこばひ之ニ次ぎ、ひめとびらんか、とびいろうらんかハ僅少ナリ。

試験方法 前回ニ同ジ。

試験區別	見込殺虫率 %	1人1畝當所要時間分	成績順位
竹 笹 拂 落	75.0 75.0	3.00 3.00	3 3
竹 棒 拂 落	85.0 80.0	4.00 4.00	1 2
藁 同 掃	60.0 65.0	12.00 14.00	6 5
足 同 掛	75.0 70.0	3.00 3.00	3 4
柄 同 振	80.0 85.0	4.00 5.00	2 1

薬害の有無 10月1日調査、薬害ヲ認メズ。

Ⅰ 液剤粉剤ノ效果ニ關スル試験

1 液剤ノ效果比較試験(昭和2-4年度)

(1) 室内試験

昭和3年度

(イ) 室内第1回試験

施行期日 7月11日 室温 31°C

撒布時刻 自午後2時 至午後3時 調査時刻 7月12日 自午前8時 至午前9時

供試虫 ひめとびらんか成幼虫

試験方法 下記薬剤ニ就キ試験ス

薬剤ノ種類	調 合 量
除虫菊石鹼液	除虫菊粉、石鹼各20匁、水1斗
硫酸ニコチン石鹼液	800倍液1斗ニ就キ石鹼20匁加用
除虫菊加用石油乳劑	上松石油1升、除虫菊粉、石鹼各20匁、水5合、60倍液トシテ使用

高さ70cm、縦横31cmノ飼育箱内ニ稻苗ヲ植ヘタル「ベトリー」

皿ヲ入レ野外採集ノ供試虫ヲ放飼シ、之ニ金網壁ヲ通ジテ外部

ヨリ噴霧器ニテ液剤ヲ6-7秒間撒布ス。

液剤ノ種類	ひめとびらんか				總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺虫率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
除虫菊石鹼液	3	0	7	10	3	17	20	85.0	3
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	1	0	4	10	1	14	15	93.3	1
除虫菊加用石油乳劑 60倍	0	2	5	8	2	13	15	86.7	2

(ロ) 室内第2回試験

施行期日 8月20日 室温 26°C

撒布時刻 自午前8時45分 至午前9時20分 調査時刻 自午後1時 至午後2時

供試虫 せじろらんか成幼虫及とびいろうらんか幼虫

試験方法 第1回試験ニ同ジクシ薬剤ニ次ノ2種ヲ加フ。

薬剤ノ種類	調 合 量
石油乳劑	上松石油1升、石鹼20匁、水5合、20倍液トシテ使用
石鹼液	石鹼2匁、水1升

液剤ノ種類	せじろらんか				とびいろうらんか		總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死		生 幼蟲	死 成蟲					
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲							
除蟲菊石鹼液	1	0	9	10	0	10	1	29	30	96.7	2
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	0	0	10	10	0	10	0	30	30	100.0	1
除蟲菊加用石油乳劑 60倍液	3	0	7	10	2	8	5	25	30	83.3	3
石油乳劑 20倍液	4	0	6	10	4	6	8	22	30	73.3	4
石鹼液	4	4	6	6	4	6	12	18	30	60.0	5

(ハ) 室内第3回試験

施行期日 8月15日 室温 25°C
 撒布時刻 自午前7時20分 至午前7時40分 調査時刻 自午後2時 至午後2時40分
 供試蟲 せじろらんか成幼蟲
 試験方法 前回ニ同ジ、但シ硫酸「ニコチン」石鹼液ノミニ就キ試験ス

液剤ノ種類	せじろらんか				總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
硫酸ニコチン石鹼液 1000倍	4	1	6	4	5	10	15	63.3	2
同 800倍	3	-	7	5	3	12	15	80.0	1

昭和3年度室内試験平均

液剤ノ種類	調合量及 反當用量	殺蟲率 %				成績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	第3回	平均		
除蟲菊石鹼液	1石5斗	85.0	96.7	-	(90.9)	2	2.688
硫酸ニコチン石鹼液	800倍 1石5斗	93.3	100.0	80.0	91.1	1	3.217
同	1000倍 1石5斗	-	-	63.3	(63.3)	5	2.663
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 1石5斗	86.7	83.3	-	(85.0)	3	0.834
石油乳劑	20倍 1石5斗	-	73.3	-	(73.3)	4	1.746
石鹼液	1石5斗	-	60.0	-	(60.0)	6	0.438

昭和4年度

(イ) 室内第1回試験

施行期日 8月7日 室温 29°C

撒布時刻 自午前9時 至午前9時20分 調査時刻 自午前11時30分 至午前11時50分

供試蟲 せじろらんか成幼蟲

試験方法 昭和3年度ト大體同様ノ方法ニヨリ藥劑ノ種類及調合量モ同様トス

液剤ノ種類	せじろらんか				總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
除蟲菊石鹼液	0	0	10	20	0	30	30	100.0	1
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	2	1	8	19	3	27	30	90.0	2
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	3	1	7	19	4	25	30	86.3	3
石油乳劑 20倍	3	4	7	16	7	23	30	76.7	4
石鹼液	6	5	4	5	11	9	20	45.5	5

(ロ) 室内第2回試験

施行期日 10月25日 气温 19°C
 撒布時刻 自午前9時40分 至午前9時55分 調査時刻 自午前11時40分 至正午
 供試蟲 とびいろうらんか成幼蟲

液剤ノ種類	とびいろうらんか				總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
除蟲菊石鹼液	0	0	16	3	0	19	19	100.0	1
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	2	0	16	2	2	18	20	90.0	2
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	3	0	16	1	3	17	20	85.0	3
石油乳劑 20倍	7	-	13	-	7	13	20	65.0	4

(ハ) 室内第3回試験

第2回試験ト同日ニ施行ス

液剤ノ種類	とびいろうらんか				總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
除蟲菊石鹼液	0	0	16	4	0	20	20	100.0	1
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	1	0	17	2	1	19	20	95.0	2
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	1	0	15	4	1	19	20	95.0	2
石油乳劑 20倍	5	0	9	6	5	15	20	75.0	3
石鹼液	6	0	0	4	6	4	10	40.0	4

(一) 室内第4回試験

施行期日 11月1日 気 温 15°C
 撒布時刻 自午前9時30分 至午前9時35分 調査時刻 自午前11時30分 至午前11時40分
 供試 蟲 とびいろうんか成幼蟲

液 劑 / 種 類	とびいろうんか				總生 蟲數	總 死 蟲 數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
	生		死						
	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
除 蟲 菊 石 鹼 液	0	0	15	5	0	20	20	100.0	1
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	0	0	11	9	0	20	20	100.0	1
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2	-	13	5	2	18	20	100.0	1
石 油 乳 劑 20 倍	3	1	12	4	4	16	20	80.0	3
石 鹼 液	3	2	5	3	12	8	20	40.0	4

昭和4年度室内試験平均成績

液 劑 / 種 類	調 合 量 及 反 當 用 量	殺 蟲 率 %					成績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	第3回	第4回	平 均		
除 蟲 菊 石 鹼 液	1 石 5 斗	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1	2.304
硫酸ニコチン石鹼液	800倍 1石5斗	90.0	90.0	95.0	100.0	93.8	2	3.054
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 1石5斗	86.3	85.0	95.0	90.0	89.1	3	0.755
石 油 乳 劑	20倍 1石5斗	76.7	65.0	75.0	80.0	74.2	4	1.640
石 鹼 液	1 石 5 斗	45.5	-	40.0	40.0	41.8	5	0.425

(2) 苗代實地試験

昭和2年度

(1) 苗代第1回試験

施行期日 6月28日 天 候 晴
 氣 温 23°C 風位及風速 東、和風
 稻生育狀況 草丈25—30cm内外 撒布時刻 自午後3時 至午後3時35分
 調査時刻 自午後4時20分 至午後5時

浮塵子ノ種類及發生狀況 いなづまよこばひ成蟲最モ多ク、つまぐろよこばひ成

幼蟲之ニ次ギ、ひめとびうんか其他ハ僅少ナリ。

試 験 方 法 試験區面積ハ1坪トシ溝ノミニ湛水シ周圍ヲ「トタン」板ニテ圍
 ヒ二重瓶式小型噴霧器ヲ以テ撒布ス。藥劑ノ種類及用量ハ次ノ
 如シ。

液 劑 / 種 類	反 當 用 量	調 合 量
除 蟲 菊 石 鹼 液	1石5斗	除蟲菊粉、石鹼各200匁、水1石
硫酸ニコチン石鹼液	1石5斗	1000倍液、1石ニ石鹼200匁加用
ネ オ ト ン	1石5斗	石鹼120匁、水1石2斗、ネオトニ60匁
デリス石鹼液	1石5斗	デリス石鹼1封度、水1石
機 械 油 乳 劑	1石5斗	50倍(スプレーオイル使用)
石 油 乳 劑	1石5斗	上松石油1升、アデカ石鹼20匁、水5合、20倍液
除蟲菊加用石油乳劑	1石5斗	除蟲菊ハ石油1升ニ20匁加用密閉ス、60倍液
松 脂 合 劑	1石5斗	松脂100匁、苛性曹達20匁、水1升、50倍液

液 劑 / 種 類	反 當 用 量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		ひめとび うんか		せじろ らんか		其他	總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位		
		生	死	生	死	生	死	生	死								
除 蟲 菊 石 鹼 液	1石5斗	12	6	0	1	-	-	0	1	-	12	8	20	40.0	3		
硫酸ニコチン石鹼液1000倍	1石5斗	7	24	1	1	-	-	-	-	0	4	8	29	37	78.4	1	
ネ オ ト ン	1石5斗	22	5	2	0	0	2	-	-	-	0	4	24	11	35	31.4	4
デリス石鹼液	1石5斗	44	0	-	-	-	-	-	-	-	44	0	44	0	7		
機械油乳劑50倍	1石5斗	36	0	3	2	0	0	-	-	-	41	0	41	0	7		
石油乳劑20倍	1石5斗	33	2	3	0	1	0	-	-	-	37	2	39	5.1	5		
除蟲菊加用石油乳劑60倍	1石5斗	9	8	0	0	1	1	0	1	0	1	8	13	21	61.9	2	
松脂合劑50倍	1石5斗	34	1	2	2	0	0	2	0	-	40	1	41	2.4	6		

藥 害 ノ 有 無 7月4日調査、藥害ヲ認メズ

昭和3年度

(1) 苗代第1回試験

施行期日 6月13日 天 候 曇

氣 溫 25.5°C 風位及風速 靜穩

稻生育狀況 草丈25—30cm 撒布時刻 自午前6時40分 至午前7時

調査時刻 自午前8時 至午前8時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲モ多ク、ひめとびらんか、いなづまよこばひノ成蟲之ニ次ギ、ふたてんよこばひ、おほよこばひハ僅少ナリ。

試験方法 試験區面積各區5坪中1坪ニ試験框ヲ覆ヒ、二重瓶式半自働噴霧器ヲ使用撒布シ、所定時間經過後生死蟲ヲ拾ヒ取り殺蟲率ヲ定ム。使用藥劑ハ前年度ヨリ種類ヲ減ズ。

液劑ノ種類	反當 用 量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ふたてんよこばひ		おほよこばひ		ひめとびらんか		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位			
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死								
除蟲菊石鹼液	1石5斗	2	5	4	7	9	7	1	0	1	1	0	6	15	28	43	65.1	1	
硫酸ニコチン石鹼液800倍	1石5斗	3	3	13	2	3	3	-	-	3	0	11	5	32	14	46	30.4	3	
除蟲菊加用石油乳劑60倍	1石5斗	1	5	6	14	12	24	-	-	1	1	2	1	24	43	67	64.2	2	
石油乳劑20倍	1石5斗	1	4	0	0	8	6	0	2	6	0	5	0	3	0	42	2	4.6	4

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月15日 天 候 曇後晴

氣 溫 21°C 風位及風速 靜穩

稻生育狀況 草丈25—30cm 撒布時刻 自午前6時50分 至午前7時10分

調査時刻 自午前8時 至午前8時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回=大體同ジ

試験方法 第1回=同ジ。

液劑ノ種類	反當 用 量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		おほよこばひ		ひめとびらんか		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位		
		生	死	生	死	生	死	生	死							
除蟲菊石鹼液	1石5斗	3	11	6	9	8	17	-	-	0	2	18	38	56	67.9	1
硫酸ニコチン石鹼液800倍	1石5斗	10	8	3	4	5	10	0	2	2	5	19	30	49	61.2	3
除蟲菊加用石油乳劑60倍	1石5斗	2	12	5	7	13	9	-	-	8	10	22	44	66	66.7	2
石油乳劑20倍	1石5斗	6	0	21	20	-	2	-	-	9	0	59	2	58	3.5	4

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ

昭和3年度苗代實地試験平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺 蟲 率 %			成 績 順 位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	平 均		
除蟲菊石鹼液	1石5斗	65.1	67.9	66.5	1	2.688
硫酸ニコチン石鹼液	800倍 1石5斗	30.4	61.2	45.8	3	3.217
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 1石5斗	64.2	66.7	65.5	2	0.834
石油乳劑	20倍 1石5斗	4.6	3.5	4.1	4	1.746

昭和4年度

(イ) 苗代第1回試験

第1回第2回試験共同日施行ス、依而各時間中前半第1回、後半第2回試験トス

施行期日 6月17日 天 候 晴

氣 溫 25°C 風位及風速 靜穩時々微風アリ

稻生育狀況 草丈35—40cm内外 撒布時刻 自午前11時10分 至午前11時50分

調査時刻 自午後1時50分 至午後3時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびらんか成蟲、いなづまよこばひ成幼蟲之ニ次ギ、ふたてんよこばひ其他ハ僅少ナリ。

試験方法 前年度=同ジ。

液剤ノ種類	反當 用量	いなづま		つまぐろ		ひめとび		ふたてん		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位				
		よこば		よこば		らんか		よこば										
		生	死	生	死	生	死	生	死									
除蟲菊石鹼液	1石5斗	0	2	1	5	1	3	10	9	6	38	-	-	12	63	75	84.0	1
硫酸ニコチン石鹼液800倍	1石5斗	2	6	1	5	15	4	20	4	10	6	1	0	38	36	74	48.6	3
除蟲菊加用石油乳劑60倍	1石5斗	1	10	3	16	21	6	32	13	32	50	0	2	70	116	186	62.4	2
石油乳劑20倍	1石5斗	-	15	-	0	70	11	0	0	33	0	1	0	130	0	130	0	4

藥害ノ有無 6月22日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日其他 第1回試験ニ同ジ

液剤ノ種類	反當 用量	いなづま		つまぐろ		ひめとび		ふたてん		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位				
		よこば		よこば		らんか		よこば										
		生	死	生	死	生	死	生	死									
除蟲菊石鹼液	1石5斗	0	1	2	5	1	2	11	5	8	25	-	-	12	48	60	80.0	1
硫酸ニコチン石鹼液800倍	1石5斗	1	8	2	6	7	6	9	5	8	39	0	2	30	63	93	67.7	2
除蟲菊加用石油乳劑60倍	1石5斗	0	1	1	2	2	2	5	1	9	17	-	-	14	26	40	65.0	3
石油乳劑20倍	1石5斗	-	14	-	0	20	8	1	0	64	1	3	0	109	2	111	1.8	4

藥害ノ有無 6月25日、藥害ヲ認メズ。

昭和4年度苗代實地試験平均成績

液剤ノ種類	調合量及 反當用量	殺蟲率%			成 績 順 位	反當所 要藥 劑價 格 円
		第1回	第2回	平 均		
除蟲菊石鹼液	1石5斗	84.0	80.0	82.0	1	2.301
硫酸ニコチン石鹼液	800倍 1石5斗	48.6	67.4	58.2	3	3.054
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 1石5斗	62.4	65.0	63.7	2	0.755
石油乳劑	20倍 1石5斗	0	1.8	(0.9)	4	1.640

(3) 本田實地試験

昭和3年度

施行期日 8月21日 天 候 晴
 氣 温 30°C 風位及風速 東、微風
 稻生育狀況 草丈85cm内外 撒布時刻 自午前11時30分
 調査時刻 自午後2時 至午後3時

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ、せじろらんか成幼蟲共ニ多ク、とび

いろらんか幼蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ其他ハ僅少ナリ。

試験方法 試験區面積ハ1坪トシ之ニ試験框ヲ覆ヒ苗代試験ト同一方法ニ依ル

液剤ノ種類	反當 用量	いなづま		つまぐろ		ひめとび		せじろ		とびいろ		其他		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位							
		よこば		よこば		らんか		らんか		らんか		其他													
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死	生	死												
除蟲菊石鹼液	2石	0	2	4	8	12	3	0	2	2	13	4	12	22	1	2	3	41	60	101	59.4	1			
硫酸ニコチン石鹼液800倍	2石	3	0	7	14	3	6	-	-	9	12	5	16	-	10	-	-	61	36	97	37.1	3			
除蟲菊加用石油乳劑60倍	2石	2	1	2	11	5	3	-	-	4	7	6	3	22	0	19	1	-	48	38	86	44.2	2		
石油乳劑20倍	2石	2	5	0	1	19	7	1	4	-	-	15	22	7	3	17	-	5	3	0	90	21	111	18.9	4

昭和4年度

施行期日 8月29日 天 候 晴
 氣 温 30°C 風位及風速 静隠時々微風
 稻生育狀況 草丈80-90cm 撒布時刻 自午後3時40分
 調査時刻 自午後5時20分 至午後6時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひ成幼蟲共ニ多ク、いなづ

まよこばひ之ニ次ギ、ふたてんよこばひ其他ハ僅少ナリ。

試験方法 前年度ニ同ジ

液剤ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		せじろらんか		とびいろらんか		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位								
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死													
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲													
除蟲菊石鹼液	2石	-	1	-	2	4	13	32	0	30	15	71	0	-	5	-	0	3	35	141	176	80.1	1	
硫酸ニコチン石鹼液800倍	2石	1	10	0	3	26	16	24	16	15	57	88	0	0	25	1	2	5	107	209	316	66.1	2	
除蟲菊加用石油乳劑60倍	2石	-	4	-	2	2	18	16	42	8	41	33	49	18	-	19	2	1	0	92	163	255	66.9	3
石油乳劑20倍	2石	-	6	-	0	7	75	2	117	186	10	31	10	1	2	-	12	0	314	46	360	12.8	4	

(4) 本田應用試験

昭和2年度

(イ) 落水本田第1回試験

施行期日 8月18日 天 候 晴
 氣 温 27.5°C 水 温 26.5°C
 風位及風速 静 穩 稻生育狀況 草丈65cm内外
 撒布時刻 自午前8時10分 至午前9時10分 調査時刻 自午前11時 至正午

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひ各幼蟲最モ多ク、いなづまよこばひ、とびいろらんか、ひめとびらんか成幼蟲ノ順序ニ少ナシ、稻1株ニ3—4頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 試験各區面積ハ10坪トス、足跡ニ溜水セル位ニ落水シ二重瓶式小型半自働噴霧器及牛田式噴霧器ヲ使用撒布シ所定時間經過後見込殺蟲率ヲ定ム。使用藥劑ノ種類、調合量等ハ次ノ如シ。

液剤ノ種類	反當用量	調 合 量
除蟲菊石鹼液	2石	水1石ニ付キ除蟲菊粉、石鹼各200匁
硫酸ニコチン石鹼液	2石	水1石ニ付キ石鹼200匁加用1000倍液
ネオトソン	2石	水1石ニ付キ石鹼200匁ヲ溶解シ、ネオトソン60匁加用
デリス石鹼液	2石	デリス石鹼160匁ヲ水1石ニ加用ス
石油乳劑	2石	20倍液
除蟲菊加用石油乳劑	2石	60倍液
機械油乳劑	2石	50倍液
松脂合劑	2石	50倍液

液剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
除蟲菊石鹼液	2石	15	2
硫酸ニコチン石鹼液1000倍	2石	20	1
ネオトソン	2石	10	3
デリス石鹼液	2石	10	3
石油乳劑20倍	2石	5	4
除蟲菊加用石油乳劑60倍	2石	10	3
機械油乳劑50倍	2石	0	5
松脂合劑50倍	2石	0	5

藥害ノ有無 8月28日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 落水本田第2回試験

施行期日 9月14日 天 候 晴
 氣 温 27°C 風位及風速 東北ノ微風
 稻生育狀況 大部分出穂落花後 撒布時刻 自午後2時30分 至午後3時30分
 調査時刻 自午後5時 至午後6時

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、とびいろらんか、つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ、ひめとびらんかノ順位ニ多ク、何レモ成蟲多ク幼蟲少ナシ。1株當リ2—3頭ノ發生ヲ見ル。

液剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
除蟲菊石鹼液	2石	40	1
硫酸ニコチン石鹼液1000倍	2石	30	3
ネオトソン	2石	10	4
デリス石鹼液	2石	10	4
石油乳劑20倍	2石	10	4
除蟲菊加用石油乳劑60倍	2石	35	2
機械油乳劑50倍	2石	0	5
松脂合劑50倍	2石	0	5

藥害ノ有無 9月21日及同24日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和2年度落水本田應用試驗平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	見込殺蟲率%			成績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	平均		
除蟲菊石鹼液	2 石	15.0	40.0	27.5	1	3.833
硫酸ニコチン石鹼液	1000倍 2 石	20.0	30.0	25.0	2	3.633
ネオトロン	2 石	10.0	10.0	10.0	4	2.657
デリス石鹼液	2 石	10.0	10.0	10.0	4	4.000
機械油乳劑	50倍 2 石	0	0	0	6	2.260
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 2 石	10.0	35.0	22.5	3	1.136
石油乳劑	20倍 2 石	5.0	10.0	7.5	5	2.357
松脂合劑	50倍 2 石	0	0	0	6	0.820

(イ) 湛水本田第1回試驗

施行期日 8月19日 天 候 晴
 氣 温 26.5°C 水 温 26°C
 水ノ清濁及水深 清、5cm内外 風位及風速 靜穩
 稻生育狀況 草丈65cm内外 撒布時刻 自午前8時10分
 至午前9時20分
 調査時刻 當日 自午前11時30分 翌日 自午後3時30分
 至午後4時30分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回落水本田試驗區ト同様
 試驗方法 試驗區面積ハ10坪トス。水深5cm内外ニ湛水シ、之ニ落水本田
 同様ニ試験ス。

液劑ノ種類	反當用量	施行當日見込殺蟲率%	施行翌日見込殺蟲率%	成績順位
除蟲菊石鹼液	2 石	60	50	1
硫酸ニコチン石鹼液1000倍	2 石	10	15	4
ネオトロン	2 石	5	10	5
デリス石鹼液	2 石	5	10	5
石油乳劑 20倍	2 石	15	20	3
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2 石	25	50	2
機械油乳劑 50倍	2 石	0	0	6
松脂合劑 50倍	2 石	0	0	6

藥害ノ有無 8月26日及同29日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 湛水本田第2回試驗

施行期日 9月14日 天 候 晴
 氣 温 27°C 水 温 28°C
 水ノ清濁及水深 清、3cm内外 風位及風速 東北、軟風
 稻生育狀況 出穂後開花中 撒布時刻 自午後1時30分
 至午後2時30分
 調査時刻 自午後4時
 至午後5時
 浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひ(成幼蟲共ニ多シ)、
 とびいろらんか(幼蟲多シ)ノ順ニ多ク、いなづまよこばひハ順
 ル僅少ナリ。1株當リ2—3頭ノ發生ヲ見ル。

試驗方法 第1回試驗ニ同ジ

液劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
除蟲菊石鹼液	2 石	40.0	1
硫酸ニコチン石鹼液1000倍	2 石	30.0	2
ネオトロン	2 石	10.0	3
デリス石鹼液	2 石	10.0	3
石油乳劑 20倍	2 石	10.0	3
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2 石	40.0	1
機械油乳劑 50倍	2 石	0	4
松脂合劑 50倍	2 石	0	4

藥害ノ有無 9月21日及同24日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和2年度湛水本田應用試驗平均成績

液劑ノ種類	調合量及 石當用量	見込殺蟲率%			成績順位
		第1回	第2回	平均	
除蟲菊石鹼液	2 石	60.0	40.0	50.0	1
硫酸ニコチン石鹼液	1000倍 2 石	10.0	30.0	20.0	3
ネオトロン	2 石	5.0	10.0	7.5	5
デリス石鹼液	2 石	5.0	10.0	7.5	5
機械油乳劑	50倍 2 石	0	0	0	6
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 2 石	25.0	40.0	32.5	2
石油乳劑	20倍 2 石	15.0	10.0	12.5	4
松脂合劑	50倍 2 石	0	0	0	6



昭和3年度

(イ) 落水本田第1回試験

施行期日 8月4日 天 候 曇後晴

氣 温 26.5°C 風位及風速 東北、軟風

稻生育状況 草丈 65—70cm内外 撒布時刻 自午前8時
至午前10時10分

調査時刻 自午後1時
至午後2時

浮塵子ノ種類及發生狀況 セジろうんか、つまぐろよこばひ(成幼蟲共ニ多シ)、
とびいろうんか、ひめとびうんか(成蟲多シ)之ニ次ギ、いな
づまよこばひハ僅少ナリ。稻1株ニ2—3頭發生ヲ見ル。

試験方法 試験區面積ハ1畝歩宛2區制トス、二重瓶式半自動噴霧器ニテ
撒布シ、所定時間經過後見込殺蟲率ヲ定ム。薬剤ノ種類ハ前年
度ヨリ減ズ。

液劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
除蟲菊石鹼液	2 石	75.0	1
同	2 石	70.0	2
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	2 石	30.0	4
同	2 石	30.0	4
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2 石	35.0	3
同	2 石	35.0	3
石油乳劑 20倍	2 石	5.0	5
同	2 石	5.0	5

薬害ノ有無 8月11日調査、薬害ヲ認メズ。

(ロ) 落水本田第2回試験

施行期日 8月26日 天 候 晴

氣 温 24°C 風位及風速 南、軟風

稻生育状況 草丈 85—90cm 撒布時刻 自午前8時
至午前10時

調査時刻 自午後0時30分
至午後1時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 とびいろうんか成幼蟲最モ多ク、次イデつまぐろよこ

ばひ、せじろうんか、ひめとびうんかノ順位ニシテいなづまよ

こばひハ僅少ナリ。稻1株ニ3—4頭發生ス。

液劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
除蟲菊石鹼液	2 石	70.0	1
同	2 石	70.0	1
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	2 石	25.0	2
同	2 石	25.0	2
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2 石	25.0	2
同	2 石	25.0	2
石油乳劑 20倍	2 石	5.0	3
同	2 石	5.0	3

薬害ノ有無 8月12日調査、薬害ヲ認メズ。

昭和3年度落水本田應用試験平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	見込殺蟲率%			成績 順位	反當所要 薬剤價格 円
		第1回	第2回	平均		
除蟲菊石鹼液	2 石	72.5	70.0	71.3	1	3.583
硫酸ニコチン石鹼液	800倍液 2 石	30.0	25.0	27.5	3	4.290
除蟲菊加用石油乳劑	60倍液 2 石	35.0	25.0	30.0	2	1.108
石油乳劑	20倍液 1石5斗	5.0	5.0	5.0	4	2.328

昭和4年度

(イ) 落水本田第1回試験

施行期日 7月26日 天 候 晴

氣 温 28°C 風位及風速 静穩

稻生育状況 草丈 55—65cm内外 撒布時刻 自午前8時30分
至午前11時

調査時刻 自午後1時30分
至午後2時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 セジろうんか(成蟲ヨリ幼蟲多シ)最モ多ク、つまぐ
ろよこばひ之ニ次ギ、とびいろうんか、いなづまよこばひハ僅
少ナリ。稻1株當 4—5頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 前年度ト同様

液剤ノ種類	反用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
除蟲菊石鹼液	2石	70.0	1	
同	2石	70.0	1	
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	2石	40.0	2	
同	2石	40.0	2	
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2石	40.0	2	落下セルモノ比較的多キモ斃死ニ至ラズ
同	2石	40.0	2	
石油乳劑 20倍	2石	10.0	3	落下セルモノ及斃死蟲全ク稀ナリ
同	2石	10.0	3	

薬害ノ有無 8月10日調査、薬害ヲ認メズ。

(ロ) 落水本田第2回試験

施行期日 8月31日 天 候 晴
 氣 温 25°C 風位及風速 静穏時々微風
 稻生育状況 草丈85cm内外 撒布時刻 自午前8時40分 至午前11時
 調査時刻 自午後1時 至午後2時

浮塵子ノ種類及發生状況 セじろらんか成蟲最モ多ク、つまぐろよこばひ之ニ次ギ、いなづまよこばひ、とびいろらんかハ僅少ナリ。1株當7-8頭ノ發生ヲ認ム。

試験方法 前回同様

液剤ノ種類	反用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
除蟲菊石鹼液	2石	60.0	1	落下セルモノ死セザルモノ比較的多シ
同	2石	60.0	1	
硫酸ニコチン石鹼液 800倍	2石	40.0	2	
同	2石	40.0	2	
除蟲菊加用石油乳劑 60倍	2石	40.0	2	
同	2石	40.0	2	
石油乳劑 20倍	2石	10.0	3	落下セルモノ及斃死蟲極メテ稀ナリ
同	2石	10.0	3	

薬害ノ有無 9月10日調査、薬害ヲ認メズ。

昭和4年度落水本田應用試験平均成績

液剤ノ種類	調合量及反用量	見込殺蟲率%			成績順位	反當所要薬劑價格
		第1回	第2回	平均		
除蟲菊石鹼液	2石	70.0	60.0	65.0	1	3.067
硫酸ニコチン石鹼液	800倍 2石	40.0	40.0	40.0	2	4.073
除蟲菊加用石油乳劑	60倍 2石	40.0	40.0	40.0	2	1.006
石油乳劑	20倍 2石	10.0	10.0	10.0	3	2.190

2 粉劑ノ效果比較試験(昭和2-4年度)

(1) 室内試験

昭和3年度

(イ) 室内第1回試験

施行期日 7月11日 室 温 30°C
 撒粉時刻 自午前11時 至正午 調査時刻 翌日 自午前8時 至午前9時
 供試蟲 ひめとびらんか幼蟲及つまぐろよこばひ成幼蟲。
 試験方法 下記粉劑ニ就キ試験ス

粉劑ノ種類	反用量	調 合 量			
粉 煙 草	5 貫				
同	10 貫				
煙 草 石 灰	5 貫	粉 煙 草 2.5 貫	消 石 灰 2.5 貫		
同	10 貫	粉 煙 草 5 貫	消 石 灰 5 貫		
除 蟲 菊 木 灰	3 貫	木 灰 3 貫	除 蟲 菊 粉 1 封度		
同	3 貫	木 灰 3 貫	除 蟲 菊 粉 2 封度		
ニコチン粉劑	5 貫	ニコチン粉劑 1 貫	消 石 灰 4 貫		
同	10 貫	ニコチン粉劑 1 貫	消 石 灰 9 貫		

高サ 70cm 縦横共ニ 35cm ノ飼育箱内ニ稻苗ヲ植ヘタル「ベトリー」皿ヲ入レ野外ヨリ採集セル浮塵子ヲ放チ、噴霧器ニテ撒水シタル後小型手押撒粉器ニテ撒粉

シ (1押ノ撒粉量ハ2分ナルニヨリ反當量ヲ換算ス) 所定時間經過後殺蟲率ヲ調査ス。

粉劑ノ種類	反當用量	ひめとびらんか				つまぐるよこばひ				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生		死		生		死						
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	2	2	3	3	-	0	-	10	4	16	20	80.0	3
同	10 貫	1	1	4	9	1	0	0	9	3	22	25	88.0	2
煙 草 石 灰	5 貫	0	2	5	8	1	4	1	9	7	23	30	76.7	4
同	10 貫	0	1	5	4	-	-	-	-	1	9	10	90.0	1
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	-	0	-	10	0	4	1	5	4	16	20	80.0	3
ニコチン粉劑	5 貫	3	0	7	9	0	8	2	0	12	18	30	60.0	5

(ロ) 室内第2回試験

施行期日 8月15日 室 温 25°C
 撒粉時刻 自午前7時20分 至午前7時40分 調査時刻 自午後2時 至午後2時40分
 供試蟲 せじろらんか成幼蟲
 試験方法 第1回試験ニ略同ジナルモ浮塵子ヲ放飼セル飼育箱ヲ一夜放置シ露ヲ帶ハシメ之ニ撒粉ヲ行フ。

粉劑ノ種類	反當用量	せじろらんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生		死						
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	2	0	8	5	2	13	15	86.7	2
同	10 貫	2	-	8	5	2	13	15	86.7	2
煙 草 石 灰	5 貫	1	3	9	2	4	11	15	73.3	4
同	10 貫	-	1	10	4	1	14	15	90.0	1
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	5	3	5	2	8	7	15	46.7	5
同	3貫2封度	2	1	8	4	3	12	15	80.0	3
ニコチン粉劑	5 貫	1	-	9	5	1	14	15	90.0	1
同	10 貫	2	-	8	5	2	13	15	86.7	2

(ハ) 室内第3回試験

施行期日 10月2日 室 温 21°C

撒粉時刻 自午前10時10分 至午前10時30分 調査時刻 自午後1時 至午後1時35分

供試蟲 とびいろうんか成蟲。

試験方法 第2回試験ニ同ジ。

粉劑ノ種類	反當用量	とびいろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生		死						
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	-	16	-	9	16	9	25	36.0	5
同	10 貫	-	2	-	23	2	28	25	92.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	-	20	-	6	20	6	26	24.0	6
同	10 貫	-	9	-	16	9	16	25	64.0	3
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	-	23	-	2	23	2	25	8.0	8
同	3貫2封度	-	13	-	12	13	12	25	48.0	4
ニコチン粉劑	5 貫	-	21	-	4	21	4	25	16.0	7
同	10 貫	-	3	-	22	3	22	25	88.0	2

昭和3年度室内試験平均成績

粉劑ノ種類	調合量及反當用量	殺 蟲 率 %				成績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	第3回	平均		
粉 煙 草	5 貫	80.0	86.7	36.0	67.6	5	2.000
同	10 貫	88.0	86.7	92.0	88.9	1	4.000
煙 草 石 灰	煙 草 粉 2.5貫 消 石 灰 2.5貫	76.7	73.3	24.0	57.7	6	1.175
同	煙 草 粉 5 貫 消 石 灰 5 貫	90.0	90.0	64.0	81.3	2	2.350
除 蟲 菊 木 灰	除 蟲 菊 1 封度 木 灰 3 貫	-	46.7	8.0	(23.4)	8	1.050
同	除 蟲 菊 2 封度 木 灰 3 貫	80.0	80.0	48.0	69.3	4	1.950
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1 貫 消 石 灰 4 貫	60.0	90.0	88.0	79.3	3	22.780
同	ニコチン粉劑 1 貫 消 石 灰 9 貫	-	85.7	16.0	(51.4)	7	23.130

昭和4年度

(イ) 室内第1回試験

施行期日 8月6日 気 温 27°C
 撒粉時刻 自午前7時50分 至午前8時30分 調査時刻 自午前10時20分 至午前11時
 供試 虫 つまぐろよこばひ、せじろうんか成蟲
 試験方法 昭和3年度第2回試験ト同様トス以下同ジ

粉劑ノ種類	反當用量	つまぐろよこばひ		せじろうんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生	死	生	死					
		成蟲	成蟲	成蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	1	7	1	19	2	26	28	92.9	2
同	10 貫	-	8	-	10	0	18	18	100.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	1	7	5	14	7	21	28	75.0	4
同	10 貫	0	7	2	18	2	25	27	92.6	3
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	3	7	13	7	16	14	30	46.7	6
同	5貫2封度	3	5	9	11	12	16	28	57.2	5

(ロ) 室内第2回試験

施行期日 第1回試験ト同日ニ行フ。

粉劑ノ種類	反當用量	つまぐろよこばひ		せじろうんか		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生	死	生	死					
		成蟲	成蟲	成蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	2	8	4	16	6	24	30	80.0	4
同	10 貫	0	8	0	15	0	23	23	100.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	5	5	4	16	9	21	30	70.0	5
同	10 貫	1	7	2	18	3	25	28	89.3	2
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	4	5	8	8	16	13	29	44.8	6
同	5貫2封度	0	8	15	15	5	23	28	82.1	3

(ハ) 室内第3回試験

施行期日 10月12日 気 温 18°C
 撒粉時刻 自午前8時10分 至午前8時25分 調査時刻 自午前10時20分 至午前10時35分
 供試 虫 せじろうんか成幼蟲

粉劑ノ種類	反當用量	せじろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生		死						
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	10	5	10	0	15	10	25	40.0	3
同	10 貫	1	0	19	5	1	24	25	96.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	16	5	4	0	21	4	25	16.0	5
同	10 貫	3	1	17	4	4	21	25	84.0	2
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	16	5	4	0	21	4	25	16.0	5
同	5貫2封度	13	3	7	2	16	9	25	36.0	4

(ニ) 室内第4回試験

施行期日 10月19日 気 温 14.5°C
 撒粉時刻 自午前8時10分 至午前8時30分 調査時刻 自午前10時30分 至午前10時45分
 供試 虫 せじろうんか成幼蟲

粉劑ノ種類	反當用量	せじろうんか				總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生		死						
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	9	7	6	3	16	9	25	36.0	3
同	10 貫	5	4	10	6	9	16	25	64.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	13	9	2	1	22	3	25	12.0	5
同	10 貫	7	5	8	5	12	13	25	52.0	2
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	14	-	1	10	24	1	25	4.0	6
同	5貫2封度	11	9	4	1	20	5	25	20.0	4

(ホ) 室内第5回試験

施行期日 11月2日 気 温 15.5°C
 撒粉時刻 自午前8時30分 至午前8時45分 調査時刻 自午前10時45分 至午前11時5分
 供試 虫 とびろうんか成幼蟲

粉劑ノ種類	反當用量	とびいろんか				總生 蟲數	總死 蟲數	總蟲數	殺蟲率 %	成績 順位
		生		死						
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	-	12	-	8	0	20	100.0	1	
同	10 貫	-	14	-	6	0	20	100.0	1	
煙 草 石 灰	5 貫	7	6	3	4	10	10	50.0	3	
同	10 貫	-	12	-	8	0	20	100.0	1	
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	14	3	3	0	17	3	15.0	4	
同	5貫2封度	3	13	0	4	3	17	85.0	2	

昭和4年度室内試験平均成績

粉劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺 蟲 率 %					平均	成績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回			
粉 煙 草	5 貫	92.9	80.0	40.0	36.0	100.0	69.8	3	3.000
同	10 貫	100.0	100.0	96.0	64.0	100.0	92.0	1	6.000
煙 草 石 灰	煙草粉 2.5貫 石灰 2.5貫	75.0	70.0	16.0	12.0	50.0	44.6	5	1.650
同	煙草粉 5貫 石灰 5貫	92.6	89.3	84.0	52.0	100.0	83.6	2	3.300
除 蟲 菊 木 灰	除蟲菊 1封度 木 灰 5貫	46.7	44.8	16.0	4.0	15.0	25.3	6	1.050
同	除蟲菊 2封度 木 灰 5貫	57.2	82.1	36.0	20.0	85.0	56.1	4	1.800

(2) 苗代實地試験

昭和2年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月27日 天 候 晴
 氣 温 25°C 風位及風速 北風、和風
 稻生育狀況 草丈25—30cm 撒粉時刻 自午前11時
 調査時刻 自午後1時 至午前11時30分
 至午後2時

浮塵子ノ種類及發生狀況 いなづまよこばひ成蟲最モ多ク、つまぐるよこばひ幼蟲之ニ次ギ、よつてんよこばひ、まだらよこばひハ僅少ナリ。

試験方法 試験區ハ1坪トシ、播床上1.5cm位ニ灌水シテ周圍高サ75cm位ノ「トタン」板ヲ以テ圍ヒ之ニ噴霧器ニテ撒水シ後撒粉器ニテ撒粉ス。

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量	
粉 煙 草	5 貫		
同	10 貫		
煙 草 石 灰	5 貫	煙 草 粉 2.5貫	消 石 灰 2.5貫
同	10 貫	煙 草 粉 5貫	消 石 灰 5貫
除 蟲 菊 木 灰	3貫(約.斗5升)	除 蟲 菊 粉 1封度	木 灰 3貫
同	3 貫	除 蟲 菊 粉 2封度	木 灰 3貫

粉劑ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐるよこばひ		よつてんよこばひ		まだらよこばひ		總生 蟲數	總死 蟲數	總 蟲數	殺蟲 率%	成績 順位
		生	死	生	死	生	死	生	死					
		成蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	成蟲	成蟲					
粉 煙 草	5 貫	16	5	2	0	1	1	-	-	18	7	25	28.0	3
同	10 貫	15	22	-	0	-	1	-	-	6	23	29	79.3	1
煙 草 石 灰	5 貫	16	1	-	1	-	0	-	-	17	1	18	5.6	5
同	10 貫	19	5	0	-	2	-	0	2	19	9	28	32.2	2
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	21	1	2	-	1	-	2	0	27	2	29	6.9	6
同	3貫2封度	9	2	-	0	-	1	-	-	9	3	12	25.0	4

藥害ノ有無 7月4日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月28日 天 候 晴
 氣 温 21°C 風位及風速 静 穩
 稻生育狀況 草丈25—30cm 撒粉時刻 自午前6時10分
 調査時刻 自午前7時30分 至午前6時40分
 至午前9時

浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回ト大差ナシ、ひめとびろんか幼蟲ノ發生ヲ認ム。

試験方法 踏切ノミニ灌水アリ方法ハ前回ニ同ジ、第1回試験供試劑ニ下記ヲ追加ス。

薬剤ノ種類	反當用量	調 合 量			
青 酸 石 灰 同	5 貫 10 貫	青 酸 石 灰 1 貫	消 石 灰 4 貫	消 石 灰 9 貫	消 石 灰 4 貫
ニコチン粉劑 同	5 貫 10 貫	ニコチン粉劑 1 貫	消 石 灰 4 貫	消 石 灰 9 貫	消 石 灰 9 貫

粉劑ノ種類	反當 用量	調 合 量												總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 殺 蟲 率 %	成 績 順 位		
		いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		しまうんか		其他		生	死					生	死
		幼	成	幼	成	幼	成	幼	成	幼	成								
粉 煙 草 同	5 貫 10 貫	-15	-4	3	1	3	2	0	0	3	1	-	-	19	13	32	40.6	3	
煙 草 石 灰 同	5 貫 10 貫	-11	-1	2	1	0	1	-	0	-	1	-	-	14	3	17	17.7	8	
除 蟲 菊 木 灰 同	3 貫 3 貫	0	13	4	0	4	2	3	0	-	0	-	2	24	9	33	27.2	4	
青 酸 石 灰 同	5 貫 10 貫	-12	-2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	12	3	15	20.0	6	
ニコチン粉劑 同	5 貫 10 貫	-16	-0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	0	16	0	9	
		-19	-0	-	-	-	-	-	-	0	0	6	1	19	7	26	26.9	4	

藥 害 ノ 有 無 7 月 4 日 調 査、藥 害 ヲ 認 メズ。

昭和 2 年度 苗代 實地 試驗 平均 成績

粉劑ノ種類	調合量及反當用量	殺 蟲 率 %			成 績 順 位	反當所要藥劑價格 円
		第 1 回	第 2 回	平 均		
粉 煙 草	5 貫	28.0	40.6	34.3	3	2.000
同	10 貫	79.3	69.4	74.4	1	4.000
煙 草 石 灰	煙 草 粉 2.5 貫 消 石 灰 2.5 貫	5.6	17.7	11.7	8	1.175
同	煙 草 粉 5 貫 消 石 灰 5 貫	32.2	17.9	25.1	5	2.350
除 蟲 菊 木 灰	除 蟲 菊 粉 1 封度 同 3 貫	6.9	27.2	17.1	7	1.100
同	除 蟲 菊 粉 2 封度 同 3 貫	25.0	59.3	42.2	2	2.050
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1 貫 消 石 灰 4 貫	-	26.9	(26.9)	4	22.780
同	ニコチン粉劑 1 貫 消 石 灰 9 貫	-	0	(0)	10	23.130
青 酸 石 灰	青 酸 石 灰 1 貫 消 石 灰 4 貫	-	20.0	(20.0)	6	15.280
同	青 酸 石 灰 1 貫 消 石 灰 9 貫	-	0	(0)	9	15.630

昭 和 3 年 度

(イ) 苗代第 1 回 試驗

施 行 期 日 6 月 13 日 天 候 小 雨
氣 溫 24°C 風 位 及 風 速 靜 穩
稻 生 育 狀 況 草 丈 25-30cm 撒 粉 時 刻 自 午 前 8 時 20 分
至 午 前 9 時 55 分

調 査 時 刻 自 午 前 9 時 30 分
至 午 前 11 時 30 分
浮 塵 子 ノ 種 類 及 發 生 狀 況 つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ、おほよこばひ、まだらよこばひ、ひめとびらんかニテ各殆ンド成蟲ノミナリ。

試 験 方 法 試 験 區 ハ 5 坪 ト シ 内 1 坪 ハ 試 験 框 ヲ 覆 ヒ、之 ニ 小 型 手 持 撒 粉 器
ニ テ 撒 布 シ、所 定 時 間 經 過 後 徹 底 的 ニ 生 死 蟲 ヲ 拾 ヒ 取 リ 殺 蟲 率
ヲ 定 ム。

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量			
粉 煙 草	5 貫	煙 草 粉 2.5 貫	消 石 灰 2.5 貫		
同	10 貫	煙 草 粉 5 貫	消 石 灰 5 貫		
煙 草 石 灰	5 貫	煙 草 粉 2.5 貫	消 石 灰 2.5 貫		
同	10 貫	煙 草 粉 5 貫	消 石 灰 5 貫		
除 蟲 菊 木 灰	3 貫 (約 1 斗 5 升)	除 蟲 菊 1 封度	木 灰 3 貫		
同	3 貫	除 蟲 菊 2 封度	木 灰 3 貫		
ニコチン粉劑	10 貫	ニコチン粉劑 1 貫	消 石 灰 9 貫		
同	5 貫	ニコチン粉劑 1 貫	消 石 灰 4 貫		

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量												總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 殺 蟲 率 %	成 績 順 位		
		いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ふたてんよこばひ		ひめとびらんか		おほよこばひ		生	死					生	死
		幼	成	幼	成	幼	成	幼	成	幼	成								
粉 煙 草	5 貫	3	8	4	1	5	3	0	0	4	9	-	-	12	25	37	67.6	5	
同	10 貫	1	5	2	0	2	3	0	2	2	9	-	-	5	22	27	81.5	2	
煙 草 石 灰	5 貫	3	3	7	5	5	8	-	-	5	7	-	-	21	23	44	52.3	7	
同	10 貫	3	2	2	3	6	2	-	-	2	6	1	0	11	16	27	59.3	6	
除 蟲 菊 木 灰	3 貫 1 封度	0	5	2	4	3	5	-	-	2	7	0	3	8	23	31	74.2	3	
同	3 貫 2 封度	0	3	0	3	1	0	0	1	0	11	0	3	3	19	22	86.4	1	
ニコチン粉劑	10 貫	5	3	3	0	1	2	1	1	1	0	-	-	10	7	17	41.2	8	
同	5 貫	4	1	-	-	1	2	-	-	0	5	0	2	4	11	15	73.3	4	

藥 害 ノ 有 無 6 月 21 日 調 査、藥 害 ヲ 認 メズ。

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月14日 天 候曇
 氣 温 22°C 風位及風速 微風
 稻生育状況 草丈25-30cm 撒粉時刻 自午前6時40分
 調査時刻 自午前8時 至午前10時

浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回試験ニ大體等シキモつまぐろよこばひ、ひめとびらんか増加ス

粉劑ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ふたてんよこばひ		ひめとびらんか		おほよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位				
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死									
		幼成	成	幼成	成	成	成	成	成	成	成									
粉 煙 草	5 貫	-11	-5	25	59	20	61	2	0	13	12	0	1	110	99	209	47.4	5		
同	10 貫	-11	-14	10	9	3	21	2	3	28	34	1	1	61	76	137	55.4	3		
煙 草 石 灰	5 貫	-11	-2	19	2	15	3	1	1	45	3	1	1	79	25	104	24.0	7		
同	10 貫	-3	-1	4	5	8	5	1	1	27	9	0	3	40	27	67	40.3	6		
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	0	1	1	5	6	2	6	9	-	-	8	4	0	5	17	30	47	63.8	2
同	3貫2封度	-3	-3	2	4	3	10	14	-	-	2	3	-	-	12	59	71	83.2	1	
ニコチン粉劑	10 貫	-3	-1	47	52	14	6	-	-	6	2	0	2	108	25	133	18.8	8		
同	5 貫	-1	-1	7	5	8	12	-	-	11	6	0	1	24	28	52	53.8	4		

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ

昭和3年度苗代實地試験平均成績

粉劑ノ種類	割合量及反當用量	殺 蟲 率 %			成 績 順 位	反當所要藥劑價格 円
		第1回	第2回	平 均		
粉 煙 草	5 貫	67.6	47.4	57.5	5	2.000
同	10 貫	81.5	55.4	68.5	3	4.000
煙 草 石 灰	煙 草 粉 2.5貫 消 石 灰 2.5貫	52.3	24.0	38.2	8	1.175
同	煙 草 粉 5貫 消 石 灰 5貫	59.3	40.3	49.8	6	2.350
除 蟲 菊 木 灰	除 蟲 菊 粉 1封度 木 灰 3貫	74.2	63.8	69.0	2	1.050
同	除 蟲 菊 粉 2封度 木 灰 3貫	86.4	83.2	84.8	1	1.950
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 消 石 灰 4貫	73.3	53.8	63.6	4	22.780
同	ニコチン粉劑 1貫 消 石 灰 9貫	41.2	18.8	30.0	7	23.130

昭和4年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月15日 天 候 微雨後曇
 氣 温 22°C 風位及風速 静穩
 稻生育状況 草丈30cm内外 撒粉時刻 自午前6時50分
 調査時刻 自午前9時20分 至午前10時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 ひめとびらんか、つまぐろよこばひ成幼蟲共ニ多ク、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひハ成蟲ノミニテ僅少ナリ。

試 験 方 法 前年度ニ同ジ。

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量			
粉 煙 草	5 貫				
同	10 貫				
煙 草 石 灰	5 貫	煙 草 粉 2.5貫	消 石 灰 2.5貫		
同	10 貫	煙 草 粉 5貫	消 石 灰 5貫		
除 蟲 菊 木 灰	5 貫	除 蟲 菊 粉 1封度	木 灰 5貫		
同	5 貫	除 蟲 菊 粉 2封度	木 灰 5貫		

粉劑ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位				
		生	死	生	死	生	死	生	死									
		成	成	成	成	成	成	成	成									
粉 煙 草	5 貫	4	9	35	6	64	7	14	71	13	52	2	5	132	150	202	53.1	3
同	10 貫	0	6	8	2	28	7	3	24	6	61	2	6	39	114	153	74.5	1
煙 草 石 灰	5 貫	3	-	18	5	1	2	3	39	-	3	1	0	69	6	75	8.0	6
同	10 貫	5	2	1	2	10	2	-	22	2	46	2	0	35	62	97	63.9	2
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	0	6	5	3	11	4	9	93	4	23	0	2	110	50	160	31.3	5
同	5貫2封度	0	2	1	1	13	1	5	60	9	29	-	-	67	54	121	44.6	4

藥害ノ有無 6月25日調査、藥害ヲ認メズ

(ロ) 苗代第2回試験

施行期日 6月17日 天 候 晴
 氣 温 21°C 風位及風速 静穏時々微風
 稻生育状況 草丈30—35cm内外 撒粉時刻 自午前6時45分
 至午前7時10分
 調査時刻 自午前9時20分
 至午前10時50分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回試験ト大差ナシ
 試験方法 第1回試験=同ジ。

粉劑ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐるよこばひ		ひめとび		ふたてん		總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位						
		生	死	生	死	生	死	生	死											
		幼成蟲	幼成蟲	幼成蟲	幼成蟲	幼成蟲	幼成蟲	幼成蟲	幼成蟲											
粉 煙 草	5 貫	0	16	3	12	32	17	21	11	-	11	-	7	0	3	76	57	133	42.9	2
同	10 貫	1	4	0	11	15	5	52	39	0	5	2	24	-	-	30	128	158	81.0	1
煙草石灰	5 貫	-	10	-	0	19	21	-	1	5	31	0	0	-	-	86	1	87	1.1	6
同	10 貫	-	6	-	2	9	25	6	10	5	114	0	45	2	0	161	61	222	27.5	3
除蟲菊木灰	5貫1封度	-	6	-	3	1	6	11	25	-	105	-	2	-	-	118	41	159	25.8	4
同	5貫2封度	0	7	1	6	0	4	3	9	-	148	-	9	-	-	159	28	187	15.0	5

藥害ノ有無 6月25日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和4年度苗代實地試験平均成績

粉劑ノ種類	調合量及反當用量	殺 蟲 率 %			成績順位	反當所要藥劑價格 円
		第1回	第2回	平均		
粉 煙 草	5 貫	53.1	42.9	48.0	2	3.000
同	10 貫	74.5	81.0	77.8	1	6.000
煙草石灰	煙草粉 2.5貫 消石灰 2.5貫	8.0	1.1	4.6	6	1.650
同	煙草粉 5貫 消石灰 5貫	63.9	27.5	45.7	3	3.300
除蟲菊木灰	除蟲菊 1封度 木灰 5貫	31.3	15.0	23.2	5	1.050
同	除蟲菊 2封度 木灰 5貫	44.6	25.8	35.2	4	1.800

(3) 本田實地試験

昭和3年度

(4) 本田第1回試験

施行期日 8月21日 天 候 晴
 氣 温 23°C 風位及風速 静 穩
 稻生育状況 草丈85cm内外 撒粉時刻 自午前7時45分
 至午前8時
 調査時刻 自午前10時30分
 至午前11時20分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか成幼蟲共最モ多ク、つまぐるよこばひ之ニ次ギ、とびいろらんか幼蟲、いなづまよこばひハ僅少ナリ。
 試験方法 1坪試験框内ニ所要量ヲ撒布シ、所定時間經過後撤底的ニ生死蟲ヲ拾ヒ取り殺蟲率ヲ調査ス、粉劑ノ種類ハ次ノ如シ

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量			
粉 煙 草	10 貫				
煙草石灰	10 貫	煙草粉 5貫	消石灰 5貫		
除蟲菊木灰	3 貫	除蟲菊 2封度	木灰 3貫		
ニコチン粉劑	5 貫	ニコチン粉劑 1貫	消石灰 4貫		

粉劑ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐるよこばひ		せじろらんか		とびいろらんか		ひめとび		其他	總生蟲數	總死蟲數	總蟲數	殺蟲率%	成績順位					
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死											
		成蟲	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲	成蟲											
粉 煙 草	10 貫	-	-	5	15	7	13	0	10	74	32	0	-	23	-	5	0	30	154	184	83.7	2
煙草石灰	10 貫	0	3	12	4	15	-	1	12	16	5	2	-	32	-	-	-	31	71	102	69.6	3
除蟲菊木灰	3貫2封度	1	2	3	5	2	6	0	-	62	-	0	0	1	4	1	2	9	81	90	90.0	1
ニコチン粉劑	5 貫	1	128	3	5	1	5	17	15	6	22	-	3	-	-	-	-	76	51	127	40.2	4

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月22日 天 候 晴
 氣 温 22°C 風位及風速 静穏時々微風アリ。

稻生育状況 草丈85cm内外 撒粉時刻 自午前6時40分 至午前7時

調査時刻 自午前9時30分 至午前10時20分

浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回試験=同ジ

試験方法 大體第1回試験=同ジキモ薬剤ノ量ヲ異ニス。

粉劑ノ種類	反當 用 量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		ひめとび うんか		せじろ うんか		とびいろ うんか		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位										
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死															
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲															
粉 煙 草	5 貫	4	-	2	-	9	13	3	1	1	5	0	0	11	13	28	427	221	4	85	63	148	42.6	1		
煙 草 石 灰	5 貫	-	2	-	0	2	5	0	0	-	1	-	0	14	16	5	3	9	6	5	0	55	13	68	19.1	4
除 蟲 菊 木 灰	3 貫 1 封度	0	-	1	-	0	3	2	0	-	-	-	10	12	28	5	11	14	33	8	166	77	243	31.7	3	
ニコチン粉劑	5 貫	3	1	0	0	2	10	3	0	-	-	-	7	26	21	8	1	-	2	-	50	34	84	40.5	2	

昭和4年度

(1) 本田第1回試験

施行期日 8月30日 天 候 晴

氣 温 22.5°C 風位及風速 風位、不定微風

稻生育状況 草丈80-90cm内外 撒粉時刻 自午前7時 至午前7時20分

調査時刻 自午前10時 至午前11時20分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろうんか成幼蟲最モ多ク、つまぐろよこばひ成幼蟲之ニ次ギ、とびいろうんか、いなづまよこばひハ僅少ナリ。

試験方法 3年度ト同ジ但シ薬剤量ヲ異ニス。

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量	
粉 煙 草	5 貫		
同	10 貫		
煙 草 石 灰	5 貫	煙 草 粉 2.5貫	消 石 灰 2.5貫
同	10 貫	煙 草 粉 5貫	消 石 灰 5貫
除 蟲 菊 木 灰	5 貫	除 蟲 菊 1封度	木 灰 5貫
同	10 貫	除 蟲 菊 2封度	木 灰 5貫

粉劑ノ種類	反當用量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		せじろ うんか		とびいろ うんか		總 生 蟲 數	總 死 蟲 數	總 蟲 數	殺 蟲 率 %	成 績 順 位									
		生	死	生	死	生	死	生	死														
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲														
粉 煙 草	5 貫	1	3	0	0	15	13	3	9	58	55	35	47	24	110	0	170	104	274	38.0	4		
同	10 貫	0	2	1	2	22	6	15	17	4	5	68	54	1	-	25	-	40	182	222	82.0	1	
煙 草 石 灰	5 貫	0	-	2	-	10	3	9	1	9	31	55	10	11	25	-	3	-	160	36	196	18.4	6
同	10 貫	-	1	-	2	4	8	3	6	12	46	38	67	16	120	0	88	135	224	60.7	3		
除 蟲 菊 木 灰	5 貫 1封度	-	3	-	0	2	7	1	2	5	47	3	25	11	-	5	-	75	36	111	32.4	5	
同	10 貫 2封度	0	-	1	-	6	12	23	12	15	42	29	14	-	10	-	59	67	176	66.5	2		

(4) 本田應用試験

昭和2年度

(1) 落水本田第1回試験

施行期日 8月18日 天 候 晴

氣 温 27°C 風位及風速 静穏時々微風アリ。

稻生育状況 草丈65cm内外 撒粉時刻 自午前7時 至午前8時

調査時刻 自午前9時 至午前10時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろうんか、つまぐろよこばひ幼蟲特ニ多シ、とびいろうんか、いなづまよこばひ、ひめとびうんかハ之ニ次ギ僅少ナリ。1株當3-4頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 試験區面積ハ10坪トス、落水セルモ足跡等ニ溜水アリ、之ニ大半1吋ニ30目ノ篩ニテ撒粉シ、一部ハ小型手持撒粉器ヲ用フ。而シテ撒粉後竹箒ニテ拂落ス。

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量	
粉 煙 草	5 貫		
同	10 貫		
煙 草 石 灰	5 貫	煙 草 粉 2.5貫	消 石 灰 2.5貫
同	10 貫	煙 草 粉 5貫	消 石 灰 5貫
除 蟲 菊 木 灰	3 貫	除 蟲 菊 粉 1封度	木 灰 3貫
同	3 貫	除 蟲 菊 粉 2封度	木 灰 3貫

粉劑ノ種類	反當用量	調 合 量	
青 酸 石 灰	5 貫	青 酸 石 灰 1貫	消 石 灰 4貫
同	10 貫	青 酸 石 灰 1貫	消 石 灰 9貫
ニコチン粉劑	5 貫	ニコチン粉劑 1貫	消 石 灰 4貫
同	10 貫	ニコチン粉劑 1貫	消 石 灰 9貫
ミヅホ木灰	5 貫		
イマヅ木灰	5 貫		

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
粉 煙 草	5 貫	70.0	3
同	10 貫	85.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	65.0	4
同	10 貫	75.0	2
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	75.0	2
同	3貫2封度	75.0	2
青 酸 石 灰	5 貫	10.0	8
同	10 貫	10.0	8
ニコチン粉劑	5 貫	50.0	5
同	10 貫	40.0	6
ミヅホ木灰	5 貫	15.0	7
イマヅ木灰	5 貫	15.0	7

備考 足跡等ノ溜水中ニ落下セル浮塵子ハ全試驗區ニ互リ殆ド斃死セルヲ見ル。

薬害ノ有無 8月28日青酸石灰區ノミ薬劑ノ多量ニ附着セル部分ニ薬害甚シ。

(ロ) 落水本田第2回試験

施行期日 9月15日 天 候 晴
 氣 温 19.5°C 風位及風速 静 穩
 稻生育状況 出穂落花後 撒粉時刻 自午前6時40分
 至午前8時20分
 調査時刻 自午前10時
 至午前11時

浮塵子ノ種類及發生状況 セジろうんか、とびいろうんか、つまぐろよこばひ、
 いなづまよこばひ、ひめとびうんかニシテ何レモ成蟲多シ、1

株ニ3—4頭ノ發生ヲ見ル。

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
粉 煙 草	5 貫	50.0	2
同	10 貫	55.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	30.0	4
同	10 貫	40.0	3
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	40.0	3
同	3貫2封度	40.0	3
青 酸 石 灰	5 貫	0	7
同	10 貫	0	7
ニコチン粉劑	5 貫	25.0	5
同	10 貫	20.0	6
ミヅホ木灰	5 貫	0	7
イマヅ木灰	5 貫	0	7

薬害ノ有無 9月22日及同25日調査セルニ青酸石灰區ノミ撒粉量多キ部分ニ
 薬害顯ハレ穂枯ル。

昭和2年度落水本田平均成績

粉劑ノ種類	調合量及反當用量	見込殺蟲率%			成績 順位	反當所要 薬劑價格 円
		第1回	第2回	平均		
粉 煙 草	5 貫	70.0	50.0	60.0	2	2.000
同	10 貫	85.0	55.0	70.0	1	4.000
煙 草 石 灰	煙草粉 2.5貫 消石灰 2.5貫	65.0	30.0	48.0	4	1.175
同	煙草粉 5貫 消石灰 5貫	75.0	40.0	57.5	3	2.350
除 蟲 菊 木 灰	除蟲菊 1封度 木灰 3貫	75.0	40.0	57.5	3	1.100
同	除蟲菊 2封度 木灰 3貫	75.0	40.0	57.5	3	2.050
青 酸 石 灰	青酸石灰 1貫 消石灰 4貫	10.0	0	5.0	8	15.280
同	青酸石灰 1貫 消石灰 9貫	10.0	0	5.0	8	15.630
ニコチン粉劑	ニコチン粉 1貫 消石灰 4貫	50.0	25.0	37.5	5	22.780
同	ニコチン粉 1貫 消石灰 9貫	40.0	20.0	30.0	6	23.130
ミヅホ木灰	5 貫	15.0	0	7.5	7	2.050
イマヅ木灰	5 貫	15.0	0	7.5	7	1.750

(ハ) 湛水本田第1回試験

施行期日 8月19日 天 候 晴
 氣 温 26°C 水 温 26°C
 水ノ清濁及水深 清、5cm内外 風位及風速 静 穩
 稻生育状況 草丈 65cm内外 撒粉時刻 自午前6時40分
 至午前7時50分
 調査時刻 當日 自午前9時50分 翌日 自午後2時
 至午前11時20分 至午後3時
 浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回落水本田試験ト始ト同様ナリ。
 試験方法 落水本田試験ト同様トス。

粉劑ノ種類	反當用量	施行當日ノ見込殺蟲率 %	第2日目ノ見込殺蟲率 %	成績順位
粉 煙 草	5 貫	20.0	50.0	4
同	10 貫	30.0	70.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	15.0	40.0	5
同	10 貫	25.0	60.0	3
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	25.0	40.0	5
同	3貫2封度	30.0	65.0	2
青 酸 石 灰	5 貫	5.0	5.0	8
同	10 貫	5.0	5.0	8
ニコチン粉劑	5 貫	30.0	60.0	3
同	10 貫	20.0	50.0	4
ミヅホ木灰	5 貫	10.0	20.0	6
イマヅ木灰	5 貫	10.0	15.0	7

薬害ノ有無 8月26日及同29日調査 青酸石灰區ノミ多量ニ藥劑ノ葉ニ落チタル少部分ニ點々藥害ヲ生ジ葉ノ枯死セルモノアリ。

(ニ) 湛水本田第2回試験

施行期日 9月7日 天 候 微 雨
 氣 温 22°C 水 温 22°C
 水ノ清濁及水深 清、5cm 内外 風位及風速 静 穩

稻生育状況 草丈90cm内外ニテ出 撒粉時刻 自午前6時40分
 穂始ノモノ僅少アリ 至午前8時
 調査時刻 自午前9時
 至午前10時20分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろうんか、つまぐるよこばひ (成幼蟲共ニ多シ)、
 とびいろうんか (幼蟲多シ)、いなづまよこばひ之ニ次ギ最モ
 少ナシ、1株當リ3—4頭ヲ見ル。

試験方法 全量ノ三分ノ一ハ手押小型撒粉器ヲ用ヒ殘餘ハ篩ヲ使用シ撒布
 ス。

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績順位
粉 煙 草	5 貫	70.0	2
同	10 貫	75.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	60.0	3
同	10 貫	75.0	1
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	60.0	3
同	3貫2封度	70.0	2
青 酸 石 灰	5 貫	20.0	6
同	10 貫	10.0	7
ニコチン粉劑	5 貫	75.0	1
同	10 貫	65.0	3
ミヅホ木灰	5 貫	40.0	5
イマヅ木灰	5 貫	45.0	4

薬害ノ有無 9月14日及同17日調査 青酸石灰區ノミ撒粉量多キ部分ニテ穂
 孕中ノモノ枯死ス。

昭和3年度

(イ) 落水本田第1回試験

施行期日 8月2日 天 候 曇後晴
 氣 温 26°C 風位及風速 北風、強風
 稻生育状況 草丈 65—70cm 撒粉時刻 自午前6時40分
 至午前7時30分
 調査時刻 自午前11時
 至午前11時50分

浮塵子發生狀況 せじろらんか(短翅型多シ)、とびいろらんか(成幼蟲共)、つまくろよこばひノ3種多ク、いなづまよこばひ幼蟲僅少ナリ、
 稻1株=2-3頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 試験區面積ハ1畝歩宛トス「サイアノガスナツブサツクダスター」ヲ使用シ殘餘ハ1吋ニ5目ノ篩ヲ以テ撒布ス、風強ク露ヲ見ズ、附着惡シ。

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位
粉 煙 草	5 貫	20.0	3
同	10 貫	40.0	1
煙 草 石 灰	5 貫	10.0	4
同	10 貫	30.0	2
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	20.0	3
同	3貫2封度	20.0	3
ニコチン粉劑	5 貫	10.0	4
同	10 貫	20.0	3

備考 風強ク露ナキ爲メ=粉劑ノ附着惡ク成績低下シ不良ナリ。

薬害ノ有無 6月9日調査、薬害ヲ認メズ。

(ロ) 落水本田第2回試験

施行期日 8月3日 天 候 晴
 氣 温 26.0°C 風位及風速 静 穩
 稻生育狀況 草丈70cm内外 撒粉時刻 自午前6時40分
 至午前7時30分
 調査時刻 自午前11時
 至午前11時50分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 第1回試験ニ等シ
 試験方法 第1回試験ト同ジ

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備 考
粉 煙 草	5 貫	40.0	3	落下セルモ死セザルモノアリ 落下セルモノハ殆ンド死ス
同	10 貫	70.0	1	
煙 草 石 灰	5 貫	15.0	6	落下セルモ死セザルモノアリ
同	10 貫	60.0	2	
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	15.0	6	落下セルモノアルモ死セズ
同	3貫2封度	30.0	4	
ニコチン粉劑	5 貫	15.0	6	
同	10 貫	25.0	5	

薬害ノ有無 8月10日調査、薬害ヲ認メズ。

(ハ) 落水本田第3回試験

施行期日 8月25日 天 候 晴
 氣 温 24°C 風位及風速 静 穩
 稻生育狀況 草丈90cm内外 撒粉時刻 自午前7時30分
 至午前9時30分
 調査時刻 自午前11時30分
 至午後0時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 とびいろらんか(幼蟲多ク成蟲少ナシ)、せじろらんか、
 つまくろよこばひノ順序ニ多ク、いなづまよこばひ、ひめとび
 らんかハ頗ル僅少ナリ。1株當リ 4-5頭ノ發生ヲ見ル。

試験方法 前回ニ同ジ。

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備 考
粉 煙 草	5 貫	30.0	4	
同	5 貫	30.0	4	
同	10 貫	60.0	1	落下セルモノアルモ斃死スルモノ 少ナシ
同	10 貫	50.0	2	
煙 草 石 灰	5 貫	25.0	5	落下セルモノアルモ斃死スルモノ 少ナシ
同	5 貫	25.0	5	
同	10 貫	40.0	3	同
同	10 貫	40.0	3	
除 蟲 菊 木 灰	3貫1封度	25.0	5	落下セルモノ特ニ多キモ斃死セル モノ少ナシ
同	3貫1封度	25.0	5	
同	3貫2封度	40.0	3	
同	3貫2封度	40.0	3	
ニコチン粉劑	5 貫	25.0	5	落下セルモノ多キモ斃死セルモノ 少ナシ
同	5 貫	25.0	5	
同	10 貫	50.0	2	
同	10 貫	50.0	2	

昭和3年度落水本田試験平均成績

粉劑ノ種類	調合量及反當用量	見込殺蟲率%				成績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第1回	第2回	第3回	平均		
粉 煙 草	5 貫	20.0	40.0	30.0	30.0	4	2.000
同	10 貫	40.0	70.0	55.0	55.0	1	4.000
煙 草 石 灰	煙 草 粉 2.5貫 消 石 灰 2.5貫	10.0	15.0	25.0	16.7	6	1.175
同	煙 草 粉 5貫 消 石 灰 5貫	30.0	60.0	40.0	43.3	2	2.350
除 蟲 菊 木 灰	除 蟲 菊 1封度 木 灰 3貫	20.0	15.0	25.0	20.0	5	1.050
同	除 蟲 菊 2封度 木 灰 3貫	20.0	30.0	40.0	30.0	4	1.950
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 消 石 灰 4貫	10.0	15.0	25.0	16.7	6	22.780
同	ニコチン粉劑 1貫 消 石 灰 9貫	20.0	25.0	50.0	31.7	3	23.130

昭和4年度

(イ) 落水本田第1回試験

施行期日 7月30日 天 候 晴
 氣 温 24°C 風位及風速 静穩
 稻生育狀況 草丈 50—60cm 撒粉時刻 自午前7時30分
 至午前8時20分
 調査時刻 自午前11時
 至正午

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか(幼蟲多ク成蟲ハ短翅型多シ)最モ多ク、
 つまぐろよこばひ、いなづまよこばひ之ニ次ギ、とびいろらんか
 ハ僅少ナリ。1株平均4—5頭ヲ見ル。

試験方法 前年度ト大體同様ナルモ撒布ハ手撒トシ且除蟲菊木灰ノ量ヲ變
 更シ、ニコチン粉劑ヲ除ク。

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績 順位	備 考
粉 煙 草	5 貫	40.0	2	浮塵子ノ落下セルモノ多キモ斃死セルモノ少ナシ
同	5 貫	40.0	2	
同	10 貫	80.0	1	一見全滅ニ近キ迄ニ斃死セリ
同	10 貫	80.0	1	
煙 草 石 灰	5 貫	20.0	4	
同	5 貫	20.0	4	
同	10 貫	40.0	2	
同	10 貫	40.0	2	
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	20.0	4	落下セルモノノ相當アルモ斃死セルモノ少ナシ
同	5貫1封度	20.0	4	
同	5貫2封度	30.0	3	
同	5貫2封度	30.0	3	

藥害ノ有無 8月10日調査藥、害ヲ認メズ。

(ロ) 落水本田第2回試験

施行期日 8月31日 天 候 曇
 氣 温 24°C 風位及風速 静穩時々微風アリ。
 稻生育狀況 草丈 85—90cm 内外 撒粉時刻 自午前6時
 至午前6時40分
 調査時刻 自午前11時
 至正午

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか(幼蟲少ナリ短翅♀多シ)最モ多ク、つまぐ
 ろよこばひ、いなづまよこばひ(成幼蟲共多シ)之ニ次ギ、とびいろ
 らんかハ僅少ニシテ他ニしまらんか多シ。1株當リ7—8頭ヲ見ル。

試験方法 前回ニ同ジ。

粉劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績 順位	備 考
粉 煙 草	5 貫	10.0	4	落下セルモノノ相當多キモ斃死少ナシ
同	5 貫	10.0	4	
同	10 貫	70.0	1	同
同	10 貫	60.0	2	
煙 草 石 灰	5 貫	5.0	5	斃死セルモノ全ク僅少ナリ
同	5 貫	5.0	5	
同	10 貫	30.0	3	
同	10 貫	30.0	3	
除 蟲 菊 木 灰	5貫1封度	10.0	4	落下セルモノノ中斃死セザルモノアリ
同	5貫1封度	10.0	4	
同	5貫2封度	30.0	3	
同	5貫2封度	30.0	3	

備考 稻生育繁茂シ粉劑量ニ不足ヲ來シ、且稻ノ下部迄粉劑撒布徹底セザリシ爲メニ比較的成績劣レリ。

藥害ノ有無 9月10日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和4年度落水本田試験平均成績

粉劑ノ種類	調合量及反當用量	見込殺蟲率%			成績順位	反當所要藥劑價格
		第1回	第2回	平均		
粉煙草	5 貫	40.0	10.0	25.0	4	3,000
同	10 貫	80.0	65.0	72.5	1	6,000
煙草石灰	煙消 草石 粉灰 2.5貫 煙消 草石 粉灰 2.5貫	20.0	5.0	12.5	6	1,650
同	煙消 草石 粉灰 5貫 煙消 草石 粉灰 5貫	40.0	30.0	35.0	2	3,300
除蟲菊木灰	除木 菊灰 1封度 除木 菊灰 5貫	20.0	10.0	15.0	5	1,050
同	除木 菊灰 2封度 除木 菊灰 5貫	30.0	30.0	30.0	3	1,800

Ⅲ 油類粉劑液劑ノ綜合效果比較試験(昭和5-7年度)

(1) 苗代實地及應用試験

昭和5年度

(イ) 苗代第1回試験

施行期日 6月19日 天 候 曇
 氣 温 18.2°C—19.5°C 水 温 20°C—20.2°C
 水ノ清濁及水深 清、2—3cm 風位及風速 靜穩時々微風
 稻生育狀況 草丈27cm内外 注油及撒布時刻 自午前6時30分
 調査時刻 自午前8時30分 至午前7時25分
 至午前11時10分

浮塵子ノ種類及發生ノ狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびうんか之ニ次ギ、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ其他ハ僅少ナリ。

試験方法 注油區ノミ灌水シ他ハ全部落水ス。試験區5坪中1坪ニ試験框ヲ覆ヒ他4坪ハ應用試験ニ充ツ。各2區制トス。注油ハ所要量ヲ「ビベツト」ニテ注油シ後手ニテ「シャクリ」掛ノ方法ニ依

リ拂落シ、粉劑ハ手押撒粉器ヲ用ヒ、液劑ハ二重瓶式半自働噴霧器ニ依リ撒布ス。框内ハ生死蟲ヲ拾ヒ取り詳細ニ殺蟲率ヲ調査シ、框外ハ見込殺蟲率ヲ定ム。藥劑ノ種類ハ次ノ如シ。

藥劑ノ種類	反當用量	調 合 量
輕油(青全勝)	2 升	
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	石油1升、除蟲菊粉20匁加用
專賣局純粹煙草粉	10 貫	宇都宮地方專賣局產純粹粉節別セザルモノ
除蟲菊石鹼液	2 石	除蟲菊、石鹼各20匁、水1斗

藥劑ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		ひめとびうんか		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位	根外見込殺蟲率%									
		生	死	生	死	生	死	生	死														
輕油(青全勝)	2 升	1	2	0	0	2	63	8	70	-	0	-	1	68	80	148	54.1	6	60.0				
同	2 升	-	0	-	2	8	33	15	52	0	0	3	4	0	1	8	42	85	127	66.9	5	70.0	
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	-	0	-	1	3	17	28	74	-	-	-	-	1	1	21	104	125	83.2	4	80.0		
同	1 升	-	-	-	-	2	18	21	120	-	-	-	-	1	3	21	144	165	87.2	1	80.0		
專賣局純粹煙草粉	10貫	-	11	-	2	25	81	6	24	26	6	4	0	3	9	0	3	161	39	200	19.5	8	25.0
同	10貫	-	0	-	2	23	49	9	13	15	1	3	1	-	12	-	3	100	31	131	23.7	7	25.0
除蟲菊石鹼液	2 石	-	0	-	15	3	10	23	37	0	2	10	7	0	1	1	7	16	100	116	86.2	2	80.0
同	2 石	0	1	5	9	4	9	36	35	2	2	13	8	0	1	2	5	19	113	132	85.6	3	85.0

藥害ノ有無 6月23日調査 藥害ヲ認メズ。

昭和5年度苗代實地試験平均成績

藥劑ノ種類	反當用量	殺 蟲 率 %			成績順位
		第1區	第2區	平均	
輕油(青全勝)	2 升	54.1	66.9	60.5	3
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	83.2	87.2	85.2	2
專賣局純粹煙草粉 節別セザルモノ	10 貫	19.5	23.7	21.6	4
除蟲菊石鹼液	2 石	86.2	85.6	85.9	1

昭和5年度苗代應用試験平均成績

薬剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%			成績 順位	反當所 要價格 円
		第1區	第2區	平均		
輕油(青全勝)	2升	60.0	70.0	65.0	3	0.400
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	80.0	80.0	80.0	2	0.373
專賣局純粹煙草粉 篩別セザルモノ	10貫	25.0	25.0	25.0	4	2.000
除蟲菊石鹼液	2石	80.0	85.0	82.5	1	3.249

昭和6年度

(1) 苗代第1回試験

施行期日 6月11日 天 候 曇小雨
 氣 温 19.5°C-20°C 水 温 19.5°C-21°C
 水ノ清濁及水深 稍濁、4cm 風位及風速 静 穩
 稻生育狀況 草丈22cm内外生育稍良 注油及撒布時刻 自午前6時
 調査時刻 自午前8時 至午前10時40分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびうんか、
 いなづまよこばひ成蟲之ニ次ギ、ふたてんよこばひ其他ハ僅少
 ナリ。

試験方法 前年度試験ニ大體同ジキモ薬剤ノ種類及量ヲ多少變更セリ。

薬剤ノ種類	反當用量	調 合 量
輕油(青全勝)	2升	
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	石油1升、除蟲菊粉20匁
專賣局純粹煙草粉 篩別セザルモノ	5貫	1寸平方70目篩ニテ篩別シ撒粉器使用(宇都宮地方專賣局産)
同 篩別セザルモノ	5貫	手 撒
市販煙草粉 篩別セザルモノ	5貫	1寸平方70目篩ニテ篩別シ撒粉器使用
同 篩別セザルモノ	5貫	手 撒
除蟲菊石鹼液	2石	除蟲菊、石鹼各20匁、水1斗ノ割

薬剤ノ種類	反當 用量	いなづま よこばひ		つまぐろ よこばひ		ひめとび うんか		ふたてん よこばひ 其他		總生 蟲數	總死 蟲數	總 殺 蟲 率 %	成 績 順 位	外 見 込 殺 蟲 率 %			
		生	死	生	死	生	死	生	死								
		幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲	幼 蟲	成 蟲								
輕油(青全勝)	2升	-15	-23	15	116	5	-62	-4	2	2	95	50	145	34.5	12	40.0	
同	2升	0.16	3.11	16.11	22	15	-14	-16	3	1	60	68	128	53.1	9	55.0	
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1升	-3	-26	5	0.25	7	-7	-46	-	-	15	104	119	87.4	4	90.0	
同	1升	-2	-56	4	6.63	103	-0	-42	0	7	12	271	283	95.7	3	95.0	
專賣局純粹煙草粉 篩別セザルモノ	5貫	0.33	3.7	7.4	5	4	0.31	1.73	1	2	76	95	171	55.6	7	60.0	
同	5貫	-41	-12	2	1.2	3	-65	-84	11	5	120	106	226	46.9	10	55.0	
同 篩別セザルモノ	5貫	2.55	0.23	13	3	1	3	-50	-18	14	3	137	48	185	25.9	13	35.0
同	5貫	-25	-12	15	4	10	0	-17	-49	0	2	61	73	134	54.5	8	50.0
市販煙草粉 篩別セザルモノ	5貫	-16	-16	3	1	0	2	-23	-44	0	3	43	65	108	60.1	6	65.0
同	5貫	0.5	7.40	22	264	22	-44	-88	0	5	73	226	299	75.6	5	80.0	
同 篩別セザルモノ	5貫	-19	-23	5	0	2	5	-65	-44	0	3	89	77	166	46.3	11	50.0
同	5貫	-27	-5	34	30	30	6	-78	-11	1	4	170	56	226	24.8	14	30.0
除蟲菊石鹼液	2石	-0	-23	0	1	2	5	-2	-51	-	-	3	81	84	96.4	2	55.0
同	2石	-0	-7	0	0	1	2	-1	-23	-	-	1	34	35	97.1	1	95.0

藥害ノ有無 6月21日調査、藥害ヲ認メズ。

昭和6年度苗代實地試験平均成績

薬剤ノ種類	反當用量	殺 蟲 率 %			成績順位
		第1區	第2區	平均	
輕油(青全勝)	2升	34.5	53.1	43.8	5
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	87.4	95.7	91.6	2
專賣局純粹煙草粉 篩別セザルモノ	5貫	55.6	46.9	51.3	4
同 篩別セザルモノ	5貫	25.9	54.5	40.2	6
市販煙草粉篩別セザルモノ	5貫	60.1	75.6	67.9	3
同 篩別セザルモノ	5貫	46.3	24.8	35.6	7
除蟲菊石鹼液	2石	96.4	97.1	96.8	1

昭和6年度苗代應用試驗平均成績

藥劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%			成績 順位	反當所 要價格 円
		第1區	第2區	平均		
輕油(青全勝)	2升	40.0	55.0	47.5	6	0.330
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	90.0	95.0	92.5	4	0.323
專賣局純粹煙草粉 篩別セルモノ	5貫	60.0	55.0	57.5	5	1.100
同 篩別セザルモノ	5貫	35.0	50.0	42.5	7	1.100
市販煙草粉篩別セルモノ	5貫	65.0	80.0	72.5	3	2.917
同 篩別セザルモノ	5貫	50.0	30.0	40.0	8	2.917
除蟲菊石鹼液	2石	95.0	95.0	95.0	1	2.667

昭和7年度

(イ) 苗代第1回試驗

施行期日 6月9日 天 候 半晴後晴
 氣 温 17°C 水 温 20°C
 水ノ清濁及水深 濁、4cm 風位及風速 靜穩
 稻生育狀況 草丈18cm内外生育概シテ良 注油及撒布時刻 自午前4時45分至午前5時
 調査時刻 自午前6時35分至午前8時5分
 浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびうんか、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ其他ノ順位ニ少ナシ。

試驗方法 前年度ニ大體等シキモ1區制トシテ試驗ス。

藥劑ノ種類	用 量	調 合 量
輕油(青全勝)	反當2升	
除蟲菊浸出石油(虎印)	反當1升	石油1升、除蟲菊粉20匁
專賣局純粹煙草粉 篩別セルモノ	坪當50匁	1寸平方70目篩ニテ篩別ス、手撒
同 篩別セザルモノ	坪當50匁	手撒
市販煙草粉篩別セルモノ	坪當50匁	1寸平方70目篩ニテ篩別ス、手撒
同 篩別セザルモノ	坪當50匁	手撒
除蟲菊石鹼液	坪當1升	除蟲菊粉、石鹼各20匁、水1斗

藥劑ノ種類	用 量	つまぐろよこばひ		ひめとびうんか		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位	外見殺蟲率%	摘 散							
		生	死	生	死	生	死	生	死													
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲													
輕油(青全勝)	反當2升	24	23	9	0	6	12	1	0	2	1	3	54	59	113	52.2	5	65.0	優			
除蟲菊浸出石油(虎印)	反當1升	2	2	49	129	0	0	4	0	0	2	0	0	2	5	4	191	195	97.9	1	95.0	優
專賣局純粹煙草粉 篩別セルモノ	坪當50匁	14	7	76	40	4	3	2	0	0	2	2	2	29	121	150	80.7	4	85.0	—		
同 篩別セザルモノ	坪當50匁	45	24	29	41	1	0	4	0	0	2	1	77	71	148	47.9	7	60.0	—			
市販煙草粉 篩別セルモノ	坪當50匁	14	3	77	59	5	1	0	2	0	3	1	2	1	27	143	170	84.1	3	90.0	—	
同 篩別セザルモノ	坪當50匁	14	19	26	32	24	17	1	9	0	4	9	2	76	81	157	51.6	6	65.0	—		
除蟲菊石鹼液	坪當1升	5	6	136	78	1	8	1	4	1	0	0	20	14	246	260	94.6	2	100%	ニ近シ		

藥害ノ有無 6月14日調査セルニ煙草粉ノ區ハ多量ノタメ下葉ニ塊狀トナリテ固着シ葉片ノ上半部橙黄色トナレルモノ頗ル多ク葉燒現象ヲ呈ス。之ハ實施3日目頃ヨリ表ハル。10日目ニ於テハ大部分恢復セルモ下葉ハ枯死セルモノアリ。他ハ藥害ヲ認メズ。

(ロ) 苗代第2回試驗

施行期日 6月12日 天 候 晴
 氣 温 18°C—19°C 水 温 21°C
 水ノ清濁及水深 濁、3cm 風位及風速 靜穩
 稻生育狀況 20cm内外ニテ概シテ生育良 注油及撒布時刻 自午前4時40分至午前4時55分
 調査時刻 自午前6時40分至午前9時
 浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ成幼蟲最モ多ク、ひめとびうんか成幼蟲之ニ次ギ、いなづまよこばひ、ふたてんよこばひ其他ハ僅少ナリ。

試驗方法 第1回試驗ニ同ジ。

薬剤ノ種類	用量	つまぐろよこばひ		ひめとびらんか		いなづまよこばひ		ふたてんよこばひ		その他	總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率 %	成績順位	見込殺蟲率 %	擴散		
		生	死	生	死	生	死	生	死									
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲									
輕油(青全勝)	反當 2升	10	16	3	2	6	1	0	1	2	5	0	0	2	1	0	3	1
除蟲菊浸出石油(虎印)	反當 1升	-	15	16	10	-	0	-	1	-	-	-	0	-	3	-	15	124
專賣局純粹煙草粉(筒別セルモノ)	坪當 50匁	72	23	22	23	2	14	0	5	2	8	0	0	1	1	2	0	123
同 筒別セルモノ	坪當 50匁	33	29	6	18	2	32	0	6	-	12	-	0	-	9	-	0	117
市販煙草粉(筒別セルモノ)	坪當 50匁	13	10	33	39	3	14	0	25	-	8	-	2	0	4	2	0	52
同 筒別セルモノ	坪當 50匁	21	21	27	45	1	16	0	10	-	13	-	0	-	5	-	3	77
除蟲菊石鹼液	坪當 1升	0	1	10	41	-	1	-	23	-	0	-	2	0	0	2	1	2

藥害ノ有無 6月22日調査、大體第1回試驗ト同様ノ藥害ヲ認ム。

昭和7年度苗代實地試驗平均成績

薬剤ノ種類	用量	殺蟲率 %			成績順位
		第1回	第2回	平均	
輕油(青全勝)	反當 2升	52.2	79.1	65.7	4
除蟲菊浸出石油(虎印)	反當 1升	97.9	89.2	93.6	2
專賣局純粹煙草粉(筒別セルモノ)	坪當 50匁	80.7	29.7	55.2	5
同 筒別セルモノ	坪當 50匁	47.9	20.4	34.2	7
市販煙草粉(筒別セルモノ)	坪當 50匁	84.1	66.0	75.1	3
同 筒別セルモノ	坪當 50匁	51.6	52.4	52.0	6
除蟲菊石鹼液	坪當 1升	94.6	97.5	96.1	1

昭和7年度苗代應用試驗平均成績

薬剤ノ種類	用量	見込殺蟲率 %			成績順位	反當所要藥劑價格 円	備考
		第1回	第2回	平均			
輕油(青全勝)	反當 2升	65.0	85.0	72.5	4	0.320	
除蟲菊浸出石油(虎印)	反當 1升	95.0	95.0	95.0	2	0.312	
專賣局純粹煙草粉(筒別セルモノ)	坪當 50匁	85.0	40.0	62.5	5	3.300	過量ノタメ下葉ノ一部分ニ萎縮ヲ生ゼリ
同 筒別セルモノ	坪當 50匁	60.0	35.0	47.5	6	3.300	
市販煙草粉(筒別セルモノ)	坪當 50匁	90.0	80.0	85.0	3	5.479	同
同 筒別セルモノ	坪當 50匁	65.0	60.0	62.5	5	5.479	同
除蟲菊石鹼液	坪當 1升	100.0	100.0	100.0	1	2.916	

(2) 本田實地試驗

昭和5年度

(イ) 第1回本田試驗

施行期日 8月27日 天 候 晴
 氣 温 21.3°C—21.4°C 水 温 24°C
 水ノ清濁及水深 清、7—9cm 風位及風速 靜穩
 稻生育狀況 草丈95—100cm内外 注油及撒布時刻 自午前6時10分至午前7時5分
 調査時刻 自午前8時40分至午前11時10分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ、せじろらんか成幼蟲最モ多ク、いなづまよこばひ、ひめとびらんか、とびいろらんか、ふたてんよこばひハ何レモ僅少ナリ。

試驗方法 試驗區面積1坪トシテ之ニ試驗框ヲ覆ヒ藥劑ヲ注油又ハ撒布シ所定時間後生死蟲ヲ拾ヒ取り殺蟲率ヲ定ム。

薬剤ノ種類	反當用量	いなづまよこばひ		つまぐろよこばひ		せじろらんか		とびいろらんか		ふたてんよこばひ		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率 %	成績順位	擴散											
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死																
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲																
輕油(青全勝)	2升	1	2	4	3	3	17	-	29	1	10	0	6	1	-	5	-	0	-	235	104	139	74.8	2	稍良		
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	0	0	1	1	6	35	7	29	6	2	48	1	-	-	-	-	-	-	2	-	151	88	139	63.3	4	優良
專賣局純粹煙草粉(筒別セルモノ)	10貫	0	0	1	22	13	6	13	5	-	14	-	0	-	-	-	-	-	-	0	-	244	36	80	45.0	5	-
市販煙草粉(筒別セルモノ)	10貫	0	0	3	22	20	21	26	40	5	1	47	1	-	0	-	1	-	4	-	151	121	172	70.3	3	-	
除蟲菊石鹼液	2石	1	0	6	8	3	7	22	37	15	0	85	5	5	-	2	-	0	1	2	0	32	167	199	83.9	1	-

昭和6年度

(イ) 第1回本田試驗

施行期日 8月19日 天 候 晴後半晴驟雨アリ。
 氣 温 24°C—24.5°C 水 温 24.5°C—25.5°C
 水ノ清濁及水深 清或ハ濁、9—10cm 風位及風速 靜穩後西北ノ微風
 稻生育狀況 草丈80—90cm内外生育良 注油及撒布時刻 自午前5時30分至午前5時45分

調査時刻 自午前7時45分
至午前10時30分

浮塵子ノ種類及發生狀況 セじろらんか、つまぐるよこばひ共ニ成幼蟲多ク、いなづまよこばひ、とびいろらんかハ僅少ナリ。

試験方法 前年度試験ニ大體同ジ、但シ薬剤ノ種類及用量ヲ異ニス。

薬剤ノ種類	反當 用量	せじろらんか		とびいろらんか		つまぐるよこばひ		いなづまよこばひ		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位										
		生	死	生	死	生	死	生	死														
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲														
輕油 (青全勝)	2升	0	57	0	3	3	528	3	0	3	65	148	213	69.5	6	優							
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1升	4	3	32	25	0	2	3	228	7	0	1	2	0	13	96	109	88.1	1	優			
專賣局純粋煙草粉 節別セルモノ	12貫	37	48	26	8	38	2	5	22	6	16	0	3	1	5	0	119	332	451	73.6	4	—	
同 節別セザルモノ	12貫	30	6	54	21	5	37	2	4	3	0	46	9	7	5	4	3	425	270	695	38.9	7	—
市販煙草粉 節別セルモノ	12貫	0	4	3	31	1	36	4	4	5	3	7	1	5	1	6	1	109	431	540	79.9	3	—
同 節別セザルモノ	12貫	27	34	18	0	32	0	4	13	5	18	1	0	3	3	0	82	238	320	74.4	5	—	
除蟲菊石鹼液	2石	25	4	20	7	28	4	2	7	0	0	1	6	0	0	1	36	249	285	85.1	2	—	

昭和7年度

(1) 第1回本田試験

施行期日 8月25日 天 候 晴
 氣 温 20.8°C—24°C 水 温 23.5°C
 水ノ清濁及水深 清、8—10cm 風位及風速 静穩後西北ノ軟風アリ
 稻生育狀況 草丈120cm内外生育 注油及撒布時刻 自午前5時30分
 頗ル良 至午前5時47分
 調査時刻 自午前7時10分
 至午前8時45分

浮塵子ノ種類及發生狀況 セじろらんか、つまぐるよこばひ成幼蟲共ニ頗ル多ク、いなづまよこばひ之ニ次ギ、せじろらんか、とびいろらんか、ふたてんよこばひ等ノ順序ニ少ナシ。

試験方法 前年度ニ同ジ

薬剤ノ種類	反當 用量	せじろらんか		ひめとびらんか		つまぐるよこばひ		いなづまよこばひ		とびいろらんか		ふたてんよこばひ其他		總生蟲數	總死蟲數	總殺蟲率%	成績順位															
		生	死	生	死	生	死	生	死	生	死	生	死																			
		幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲	幼蟲	成蟲					幼蟲	成蟲													
輕油 (青全勝)	2升	17	8	50	52	0	0	1	33	9	44	32	3	1	0	12	0	0	6	1	—	—	—	71	198	269	73.6	3	稍良			
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1升	9	11	90	52	—	—	—	23	3	108	16	4	2	13	5	—	—	—	—	—	—	—	—	52	284	336	84.5	2	優		
專賣局純粋煙草粉 節別セルモノ	12貫	15	3	114	6	0	3	4	2	71	19	18	4	7	11	12	0	1	3	6	0	0	2	—	133	168	301	55.8	5	—		
同 節別セザルモノ	12貫	41	6	48	1	0	2	2	0	84	22	5	2	7	6	0	0	1	16	—	—	2	—	0	171	74	245	30.2	7	—		
市販煙草粉 節別セルモノ	12貫	19	5	61	6	3	2	3	1	43	6	47	1	9	2	12	1	1	8	—	—	0	—	1	90	141	231	61.0	4	—		
同 節別セザルモノ	12貫	72	14	78	2	11	1	1	59	23	9	1	13	2	1	1	5	0	—	—	1	—	—	0	200	94	294	32.0	6	—		
除蟲菊石鹼液	2石	6	1	75	5	0	—	1	3	0	49	8	0	0	19	3	—	—	—	—	—	—	—	—	0	2	10	162	172	94.2	1	—

(3) 本田應用試験

昭和5年度

(1) 第1回本田試験

施行期日 8月1日 天 候 晴
 氣 温 24.8°C—29°C 水 温 24.8°C—26.5°C
 水ノ清濁及水深 清、8—9cm 風位及風速 西北ノ微風後軟風
 稻ノ生育狀況 草丈70cm内外 注油及撒布時刻 自午前6時50分
 至午前8時20分
 調査時刻 自午前9時
 至午前11時20分

浮塵子ノ種類及發生狀況 セじろらんか (幼蟲多ク成蟲少ナシ) 最モ多ク、次イデつまぐる成蟲ニシテ、いなづまよこばひ、とびいろらんか、ひめとびらんかハ僅少ナリ。1株平均3頭内外ノ發生ヲ見ル。

試験方法 試験區面積ハ1畝歩宛2區制トス。油ハ所要量ヲ「ピベット」ニテ注油シ柄振ニテ油ヲ撒布ス。粉劑ハ手撒トシ、液劑ハ二重瓶式半自働噴霧器ヲ用ヒテ撒布ス。何レモ所定時間後浮塵子ノ生死状態ヲ觀察シ標準區ノ發生状態モ參照シテ見込殺蟲率ヲ定ム。薬剤ノ種類ハ次ノ如シ。

薬剤ノ種類	反當用量	調 合 量
輕 油 (青 全 勝)	2 升	
除 蟲 菊 浸 出 石 油 (虎 印)	1 升	石油1升、除蟲菊20匁加用
專賣局純粹煙草粉簡別セザルモノ	10 貫	宇都宮地方專賣局産
市 販 煙 草 粉 簡 別 セ ザ ル モ ノ	10 貫	
除 蟲 菊 石 鹼 液	2 石	除蟲菊、石鹼各20匁、水1斗

薬剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績 順位	備 考
輕 油 (青 全 勝)	2 升	85.0	2	擴散不良、幼蟲及短翅型ハ殆ソ ト死シ、つまぐろ成蟲僅少殘 存ス 發生數少ナク成績査定不能
同	2 升	不明		
除 蟲 菊 浸 出 石 油 (虎 印)	1 升	80.0	3	擴散優良發生少ナク成績査定固 難ナル位ナリ
同	1 升	80.0	3	
專賣局純粹煙草粉簡別セズ	10貫	40.0	4	斃死蟲頗ル少ナシ
同	10貫	40.0	4	
市 販 煙 草 粉 簡 別 セ ズ	10貫	90.0	1	發生モ多クつまぐろ成蟲ノ斃死 數モ極メテ多シ
同	10貫	90.0	1	
除 蟲 菊 石 鹼 液	2 石	60.0	3	
同	2 石	80.0	3	

藥害ノ有無 8月10日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月28日 天 候 晴
氣 温 25°C—28°C 水 温 24.8°C—26.5°C

水ノ清濁及水深 清、9cm内外 風位及風速 静 穩

稻生育狀況 草丈95cm内外生育良 注油及撒布時刻 自午前6時15分
好 至午前6時40分

調査時刻 自午前8時50分
至午前9時20分

浮塵子發生狀況 せじろらんか、つまぐろよこばひ (成幼蟲共ニ多シ)最モ多ク、
次デとびいろうんか (成蟲多シ)ニシテいなづまよこばひ、ひめ
とびらんかハ僅少ナリ。發生狀態ハ各區ニヨリ不定ナルモ1株
當2頭位ナリ。

試験方法 第1回ニ同ジ。

薬剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績 順位	備 考
輕 油 (青 全 勝)	2 升	70.0	2	發生比較的少ナシ
同	2 升	70.0	2	
除 蟲 菊 浸 出 石 油 (虎 印)	1 升	70.0	2	同
同	1 升	70.0	2	
專賣局純粹煙草粉簡別セズ	10貫	20.0	4	死蟲極メテ稀ナリ
同	10貫	20.0	4	
市 販 煙 草 粉 簡 別 セ ズ	10貫	75.0	1	
同	10貫	75.0	1	
除 蟲 菊 石 鹼 液	2 石	60.0	3	發生極メテ少ナシ、せじろらん カヲ見ズ、いなづま、つまぐろ 成蟲ノ飛翔セルモノアリ
同	2 石	60.0	3	

藥害ノ有無 9月8日調査 藥害ヲ認メズ。

昭和5年度本田應用試験平均成績

薬剤ノ種類	反當 用量	見 込 殺 蟲 率 %			成 績 順位	反當所要 藥劑價格 円
		第 1 回	第 2 回	平 均		
輕 油 (青 全 勝)	2 升	65.0	70.0	80.0	2	0.400
除 蟲 菊 浸 出 石 油 (虎 印)	1 升	80.0	70.0	75.0	3	0.373
專賣局純粹煙草粉簡別セザルモノ	10貫	40.0	20.0	30.0	5	2.000
市 販 煙 草 粉 簡 別 セ ザ ル モ ノ	10貫	90.0	75.0	82.5	1	5.833
除 蟲 菊 石 鹼 液	2 石	80.0	60.0	70.0	4	3.249

昭和6年度

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月6日 天 候 晴
氣 温 25°C—28°C 水 温 25°C—26°C
水ノ清濁及水深 稍濁或ハ清、8—9cm 風位及風速 西北ノ微風アリ後静穩
トナル
稻生育狀況 草丈80cm内外ニテ 注油及撒布時刻 自午前5時30分
生育稍良 至午前7時
調査時刻 自午前8時
至午前9時35分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐろよこばひ (成蟲多ク幼蟲少ナシ)、せじろらん
カ (幼蟲多ク成蟲少ナシ)、とびいろうんカノ順位ニ多ク、いな

づまよこばひ、ひめとびらんかハ僅少ナリ、1株平均3-4頭ノ
發生ヲ認ム。

試験方法 大體前年度ト等シキモ煙草粉ヲ篩過セルモノト篩過セザルモノ
トニ區分シ且ツ用量ヲ増加ス、粉劑ハ全部手撒トス。

藥劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績順位	備考
輕油 (青全勝)	2升	80.0	4	擴散稍良
同	2升	75.0	5	
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1升	90.0	2	擴散優
同	1升	95.0	1	
專賣局純粹煙草粉篩別ス	12貫	60.0	4	つまぐる成蟲死滅セズシテ衰弱セルモノ多シ
同	12貫	85.0	3	
同篩別セズ	12貫	65.0	7	つまぐる成蟲ノ斃死多シ
同	12貫	70.0	6	
市販煙草粉篩別ス	12貫	85.0	3	つまぐる成蟲ノ斃死多シ
同	12貫	90.0	2	
同篩別セズ	12貫	70.0	6	
同	12貫	60.0	8	
除蟲菊石鹼液	2石	90.0	2	全滅ニ近キ迄ニ斃死多シ
同	2石	95.0	1	

藥害ノ有無 8月16日調査、藥害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 9月5日 天 候 曇後驟雨
氣 温 24.5°C-27°C 水 温 25.5°C-26°C
水ノ清濁及水深 清或ハ濁、5-6cm 風位及風速 靜穩後東北軟風次デ強風トナル
稻生育狀況 草丈100cm内外7割 出穂生育稍良 注油及撒布時刻 自午前5時45分至午前8時10分
調査時刻 自午前11時至午後0時50分

浮塵子ノ種類及發生狀況 とびいろうんか、つまぐるよこばひ(成幼蟲共ニ多シ)
最モ多ク、せじろうんか之ニ次ギ、しまらんか、いなづまよこばひハ僅少ナリ。

試験方法 第1回ニ同ジ。

藥劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績順位	備考
輕油 (青全勝)	2升	70.0	4	
同	2升	80.0	2	
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1升	70.0	4	發生極メテ少ナシ
同	1升	70.0	4	
專賣局純粹煙草粉篩別ス	12貫	65.0	5	
同	12貫	70.0	4	
同篩別セズ	12貫	35.0	7	
同	12貫	45.0	6	
市販煙草粉篩別ス	12貫	75.0	3	
同	12貫	70.0	4	
同篩別セズ	12貫	70.0	4	
同	12貫	80.0	2	
除蟲菊石鹼液	2石	95.0	1	つまぐる成蟲ノ死特ニ多シ
同	2石	95.0	1	

備考 本試験ニテ粉劑一般ニ成績不良ナルハ施行中天候不良トナリ、強風吹キ效果ニ影響セルニ依ル。

藥害ノ有無 9月15日調査 藥害ヲ認メズ。

昭和6年度本田應用試験成績

藥劑ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %			成績順位	反當所要藥劑價格円
		第1回	第2回	平均		
輕油 (青全勝)	2升	77.5	75.0	76.3	4	0.330
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	92.5	70.0	81.3	2	0.323
專賣局煙草粉篩別セルモノ	12貫	82.5	67.5	75.0	5	2.640
同篩別セザルモノ	12貫	67.5	40.0	53.8	7	2.640
市販煙草粉篩別セルモノ	12貫	87.5	72.5	80.0	3	6.999
同篩別セザルモノ	12貫	65.0	75.0	70.0	6	6.999
除蟲菊石鹼液	2石	92.5	95.0	93.8	1	2.657

昭和7年度

(イ) 本田第1回試験

施行期日 8月10日 天 候 曇時々小雨アリ。
氣 温 19.5°C-27°C 水 温 21°C-26.5°C

水ノ清濁及水深 清、8—10cm 風位及風速 西北ノ軟風時々強風アリ。

稻生育狀況 草丈90cm 内外穂孕前ニテ生育頗ル良 注油及撒布時刻 自午前6時50分至午前8時25分

調査時刻 自午前9時35分至午前10時15分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか(幼蟲多シ)、つまぐるよこばひ(成蟲多シ) 最モ多ク、ひめとびらんか之ニ次ギ、とびいろらんか、いなづまよこばひハ僅少ナリ。1株平均3—4頭ノ發生ヲ認ム。

試験方法 前年度ニ同ジ。

薬剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
輕油(青全勝)	2 升	75.0	3	} 萍多シ擴散優良
同	2 升	75.0	3	
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	55.0	6	} 萍特ニ多ク殺蟲効力ニ影響セリ } 擴散優良
同	1 升	60.0	5	
專賣局純粋煙草粉篩別ス	12 貫	55.0	6	
同	12 貫	50.0	7	
同 篩別セズ	12 貫	35.0	8	
同	12 貫	35.0	8	
市販煙草粉篩別ス	12 貫	65.0	4	
同	12 貫	50.0	7	
同 篩別セズ	12 貫	50.0	7	
同	12 貫	55.0	6	
除蟲菊石鹼液	2 石	90.0	2	
同	2 石	95.0	1	

備考 朝雨アリテ天候悪クナリ作業中風強ク粉劑ニ對スル殺蟲効力ニ特ニ大ナル影響ヲ及ボシタリ。

薬害ノ有無 8月20日調査 薬害ヲ認メズ。

(ロ) 本田第2回試験

施行期日 8月26日 天 候 晴

氣 温 21°C—24°C 水 温 24°C—25°C

水ノ清濁及水深 清或ハ濁、8cm 風位及風速 静 穩

稻生育狀況 穂孕期ニテ草丈105cm 内外生育頗ル良 注油及撒布時刻 自午前5時至午前5時40分

調査時刻 自午前8時5分至午前8時25分

浮塵子ノ種類及發生狀況 せじろらんか、つまぐるよこばひ各々幼蟲最モ多ク、

とびいろらんか之ニ次ギ、ひめとびらんか、いなづまよこばひハ僅少ナリ。1株當リ4—5頭ノ發生ヲ認ム。

試験方法 前回ニ同ジ。

薬剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率%	成績順位	備考
輕油(青全勝)	2 升	80.0	3	} 擴散稍良
同	2 升	75.0	4	
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	90.0	2	} 同 } 擴散優良
同	1 升	93.0	1	
專賣局純粋煙草粉篩別ス	12 貫	70.0	5	
同	12 貫	70.0	5	
同 篩別セズ	12 貫	50.0	6	
同	12 貫	45.0	7	
市販煙草粉篩別ス	12 貫	75.0	4	
同	12 貫	80.0	3	
同 篩別セズ	12 貫	70.0	5	
同	12 貫	75.0	4	
除蟲菊石鹼液	2 石	95.0	1	} 全滅ニ近シ
同	2 石	95.0	1	

薬害ノ有無 9月5日調査 薬害ヲ認メズ。

(ハ) 本田第3回試験

施行期日 9月31日 天 候 曇時々日光ノ照射アリ

氣 温 18.2°C—20°C 水 温 19.5°C—20.5°C

水ノ清濁及水深 清或ハ濁、5—6cm 風位及風速 静 穩

稻生育狀況 乳熟期トナリ草丈110cm内外生育頗ル良

注油及撒布時刻 自午前5時10分至午前7時25分 調査時刻 自午前9時30分至午前9時55分

浮塵子ノ種類及發生狀況 つまぐるよこばひ(成蟲多シ)、せじろらんか(幼蟲多シ)

最モ多ク、いなづまよこばひ之ニ次ギ、とびいろらんか、ひめとびらんかハ僅少ナリ。

1株平均3—4頭ノ發生ヲ認ム。

試験方法 前回ニ同ジ。

薬剂ノ種類	反當用量	見込殺蟲率 %	成績順位	備考
輕油 (青全勝)	2 升	75.0	5	
同	2 升	75.0	5	
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1 升	85.0	3	
同	1 升	85.0	3	
專賣局純粋煙草粉簡別ス	12 貫	80.0	4	
同	12 貫	80.0	4	
同 簡別セズ	12 貫	75.0	5	
同	12 貫	70.0	6	
市販煙草粉簡別ス	12 貫	85.0	3	
同	12 貫	80.0	4	
同 簡別セズ	12 貫	80.0	4	
同	12 貫	75.0	5	
除蟲菊石鹼液	2 石	95.0	1	全滅ニ近シ
同	2 石	90.0	2	

備考 本田ニ於ケル本試験中粉劑供試區全部稻倒伏セリ、之ハ煙草粉3回使用ノ爲メ肥效顯ハレタルモノナランカ

薬害ノ有無 10月1日、薬害ヲ認メズ。

昭和7年度本田應用試験平均成績

薬剂ノ種類	反當 用量	見込殺蟲率 %				成績 順位	反當所要 薬剂價格 円
		第1回	第2回	第3回	平均		
輕油 (青全勝)	2 升	75.0	77.5	75.0	75.8	3	0.320
除蟲菊浸出石油 (虎印)	1 升	57.5	91.5	85.0	78.0	2	0.312
專賣局純粋煙草粉簡別セルモノ	12 貫	52.5	70.0	80.0	67.5	5	2.640
同 簡別セザルモノ	12 貫	35.0	47.5	72.5	51.7	6	2.640
市販煙草粉簡別セルモノ	12 貫	57.5	77.5	82.5	72.5	4	4.600
同 簡別セザルモノ	12 貫	52.5	72.5	77.5	67.5	5	4.600
除蟲菊石鹼液	2 石	92.5	95.0	92.5	93.3	1	2.433

第4 試験成績總括

本項ハ第3項ニ記述セル事實ヲ根據トセル成績ノ綜合ニシテ其根源、算出ノ基礎其他ニ就テノ詳細ハ第3項試験成績各論ヲ参照スベシ。

1 油類ノ效果ニ關スル試験

灌水アル水田ニ浮塵子發生セル場合ハ從來注油驅除ヲ以テ唯一ノ良法ト看做セルヲ以テ、之ニ使用スベキ各種油類ノ效力及ビ性状ニ關シ、試験竝ニ調査ヲ行ヘリ。

1 一般驅除油類ノ效果比較試験

浮塵子驅除用トシテノ油類頗ル多數ニ上ルヲ以テ之ガ殺蟲效力及經濟的價值ヲ檢知スル爲メ、礦物性油ノ單用及除蟲油類ニ就キ昭和2-4年迄3箇年間試験セル結果次ノ如シ。

試験ノ方法

石油、輕油、機械油、除蟲油ニ就キ室内試験ヲ行ヒ、各種油中ノ比較的優良ト認メラルモノヲ選出シ、苗代及本田ニ於テ實地竝ニ應用試験ヲ施行セリ。

試験成績

(1) 室内試験 (反當1升)

昭和3—4年度2箇年平均成績

油ノ種類	殺蟲率%			成績 順位	藥劑反當價格円			
	3年度	4年度	平均		3年度	4年度	平均	
石油	上松	77.1	78.3	77.7	10	0.320	0.300	0.310
	虎印	85.6	87.0	86.4	8	0.280	0.260	0.270
輕油	ソコニ	84.2	71.7	78.0	9	0.250	0.250	0.250
	青全勝	88.8	94.1	91.5	3	0.233	0.220	0.227
	パワーオイル	85.9	90.9	88.4	6	0.230	0.200	0.215
機械油	Cマシン	90.4	85.0	87.7	7	0.300	0.300	0.300
	金色マシン	90.9	96.1	93.5	2	0.270	0.400	0.335
除蟲油	除蟲菊浸出石油(虎印)	93.8	100.0	96.9	1	0.430	0.385	0.408
	銷印最上燃料油	88.8	90.0	89.4	5	0.180	0.180	0.180
	稻荷印除蟲油	70.0	60.6	65.6	11	0.180	0.180	0.180
	特許月魚印	86.3	95.0	90.7	4	-	-	-

以上室内試験ノ結果ニ依レバ、殺蟲效力ハ除蟲油類及輕油、機械油ニ優良ト認メラルモノ多ク石油ハ一般ニ劣レリ。擴散力ハ除蟲油類ニ比較的良好ナルモノ多シ。以上ノ中成績優良ナルハ除蟲菊浸出石油、機械油金色「マシン」、輕油青全勝、特許月魚印等ニシテ稻荷印除蟲油最モ劣レリ、而シテ如上平均成績表ニハ掲出セザリシモ輕油時計印、同日石發動1號ハ效果勝レルモノノ如シ。(試験成績各論參照)

(2) 苗代實地試験

昭和3—4年度2箇年平均成績

油ノ種類	反當用量	殺蟲率%			成績順位
		3年度	4年度	平均	
石油 虎印	2 升	48.6	41.7	45.3	4
輕油 青全勝	2 升	47.7	53.1	50.4	2
機械油 Cマシン	2 升	33.0	44.4	38.7	6
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	77.4	76.5	77.0	1
銷印最上燃料油	2 升	36.1	58.5	47.3	3
稻荷印除蟲油	2 升	31.9	50.9	41.4	5

(3) 苗代應用試験

昭和3—4年度3箇年平均成績

油ノ種類	反當 用量	見込殺蟲率%				成績 順位	藥劑反當價格円			
		2年度	3年度	4年度	平均		2年度	3年度	4年度	平均
石油 虎印	2 升	40.0	65.0	52.5	52.5	4	0.560	0.550	0.520	0.547
輕油 青全勝	2 升	40.0	65.0	62.5	55.8	3	0.467	0.467	0.440	0.458
機械油 Cマシン	2 升	15.0	50.0	55.0	40.0	7	0.600	0.600	0.600	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	70.0	90.0	85.0	81.7	1	0.438	0.430	0.408	0.425
健稻油	1 升	70.0	90.0	-	80.0	2	0.373	0.357	-	0.365
銷印最上燃料油	2 升	20.0	55.0	67.5	47.5	5	0.360	0.360	0.360	0.360
稻荷印除蟲油	2 升	20.0	45.0	62.5	42.5	6	0.360	0.360	0.360	0.360

以上苗代試験結果ハ實地應用兩試験共ニ成績良ク一致シ、除蟲菊浸出石油最モ優良ニシテ輕油青全勝若クハ健稻油之ニ次ギ、石油虎印、除蟲油銷印最上燃料油、稻荷印除蟲油、機械油「Cマシン」ノ順位ニ成績劣レリ。而シテ稻荷印除蟲油ハ灌水稍深キ場合下葉ニ藥害ヲ被ルコトアリ。

(4) 本田實地試験

昭和3—4年度2箇年平均成績

油ノ種類	反當用量	殺蟲率%			成績順位
		3年度	4年度	平均	
石油 虎印	2 升	66.1	66.4	66.3	6
輕油 青全勝	2 升	75.1	76.2	75.7	1
機械油 Cマシン	2 升	74.8	74.9	74.9	2
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	74.5	63.5	69.0	3
銷印最上燃料油	2 升	82.4	50.7	66.6	5
稻荷印除蟲油	2 升	61.3	75.3	68.3	4

(5) 本田應用試験

昭和2-4年度3箇年平均成績

油ノ種類	反當 用量	見込殺蟲率 %				成績 順位	藥劑反當價格 円			
		2年度	3年度	4年度	平均		2年度	3年度	4年度	平均
石油虎印	2升	80.0	81.3	73.8	78.4	4	0.560	0.560	0.520	0.547
輕油青全勝	2升	82.5	81.3	75.0	79.6	2	0.457	0.467	0.440	0.458
機械油Cマシン	2升	-	77.5	57.5	67.5	7	-	0.600	0.600	0.600
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	80.0	82.5	83.8	82.1	1	0.438	0.430	0.408	0.425
健稻油	1升	81.3	77.5	-	79.4	3	0.373	0.357	-	0.365
鑽印最上燃料油	2升	80.0	78.8	75.0	77.9	5	0.360	0.360	0.360	0.360
稻荷印除蟲油	2升	80.0	77.5	65.0	74.2	6	0.360	0.360	0.350	0.360

本田試験結果ハ實地應用兩試験ニ於テ成績一致セザルモ、苗代試験結果ト大略符合シ、除蟲菊浸出石油優位ニシテ輕油青全勝之ニ次ギ、健稻油、石油虎印、鑽印最上燃料油、稻荷印除蟲油、機械油C「マシン」ノ順位トナル。尙ホ以上ノ使用量ニテハ一切藥害ヲ認メズ。

2 特殊竝ニ既製驅除油類ノ效果比較試験

各府縣農事試験場ニ照會シ、特殊浮塵子驅除油トシテ指示サレタルモノ及未ダ試験ヲ了セザル市販驅除油ニ就テ昭和7年度ニ比較試験ヲ施行セル結果次ノ如シ。

試験方法

苗代及本田ニ於テ實地及應用兩試験ヲ施行ス、供試品中ニハ混合使用ヲ要スルモノアリ、之ニ就テハ本試験成績各論中ニ記載セリ。反當油量ハ取寄先ノ指示セル用量ニ依ル。

試験成績

(1) 苗代試験平均成績

油ノ種類	反當 用量	實地試験				應用試験				藥劑 反當 價格 円
		殺蟲率 %		成績 順位	殺蟲率 %		成績 順位			
		第1回	第2回		平均	第1回		第2回	平均	
タマクサ油	3合	1.4	3.2	2.3	6	10.0	10.0	10.0	7	0.330
松根油	1升	7.5	25.0	16.3	5	10.0	20.0	15.0	6	0.184
月魚印1號除蟲油	1升5合	15.4	34.2	22.0	4	20.0	40.0	30.0	4	0.150
同 2號除蟲油	2升	40.3	39.4	39.9	2	45.0	40.0	43.0	2	0.180
岩手縣産魚油	1升5合	18.5	14.2	16.3	5	20.0	20.0	20.0	5	0.075
國旗印國益殺蟲油1等品	1升5合	28.5	26.0	27.3	3	35.0	35.0	35.0	3	0.345
輕油黑菊印	2升	50.8	31.4	41.1	1	60.0	40.0	50.0	1	0.240

苗代試験結果ハ實地應用兩試験ノ成績相一致シ、輕油黑菊印優位ニシテ月魚印2號除蟲油、國旗印國益殺蟲油、月魚印1號除蟲油、岩手縣産魚油、松根油、「タマクサ」油ノ順位ニ成績劣レリ。尙ホ本使用量ニテハ藥害ヲ認メズ。

(2) 本田試験平均成績

油ノ種類	反當 用量	實地試験				應用試験				藥劑 反當 價格 円	
		殺蟲率 %		成績 順位	殺蟲率 %		成績 順位				
		第1回	第2回		平均	第1回		第2回	第3回		平均
タマクサ油	3合	35.6	5.3	20.5	7	10.0	27.5	15.0	18.0	7	0.330
松根油	1升	55.8	16.4	36.6	6	22.5	60.0	22.5	35.0	6	0.184
月魚印1號除蟲油	1升5合	90.3	90.2	90.3	2	37.5	87.5	37.5	54.0	3	0.150
水田用モリ殺蟲劑4號	2升	92.5	79.0	85.8	4	67.5	90.0	75.0	78.0	1	0.493
岩手縣産魚油	1升5合	73.5	67.0	70.8	5	30.0	65.0	25.0	40.0	5	0.075
國旗印國益殺蟲油1等品	1升5合	85.9	86.8	86.4	3	57.5	52.5	37.5	49.0	4	0.345
輕油黑菊印	2升	91.9	90.5	91.0	1	72.5	82.5	35.0	63.0	2	0.240

本田試験ノ結果ハ實地應用兩試験成績相一致セザル所アルモ、苗代試験トハ大要成績符合シ、輕油黑菊印若クハ水田用「モリ」殺蟲劑4號優位ニシテ月魚印1號除蟲油之ニ次ギ、松根油及「タマクサ」油最モ劣ル。輕油黑菊印以外ハ市販殺蟲油竝ニ動植物性油ナルヲ以テ擴散力ハ著シク優レルモ、殺蟲効力ニ於テ劣ル傾向アリ。尙ホ以上ノ使用量ニテハ藥害ヲ認メズ。

3 除蟲菊浸出油ノ效果比較試驗

從來ノ試驗ニ於テ除蟲菊浸出油ハ最モ顯著ナル效力アルヲ以テ石油及輕油ノ各優劣兩品種ヲ使用シ、之ガ殺蟲效果竝ニ經濟的價值ヲ比較スル爲メ昭和7年度ニ施行セル試驗結果次ノ如シ。

試驗方法

各種油1升ニ除蟲菊粉20匁加用12時間浸出シタルモノヲ以テ苗代、本田共ニ實地試驗ヲ行フ。

試驗成績

Table with 9 columns: 油ノ種類, 反當用量, 苗代實地試驗 (殺蟲率%, 成績), 本田實地試驗 (殺蟲率%, 成績), 藥劑反當價格. Rows include 除蟲菊浸出石油(虎印), 同(國花), 除蟲菊浸出輕油(青全勝), 同(赤菊印).

本試驗ノ結果ハ除蟲菊浸出石油(虎印)同輕油(青全勝)同石油(國花)同輕油(赤菊印)ノ順序トナル。石油ト輕油ノ優良品ノ間ニ於テハ殺蟲效果ニ大差異ヲ認メザルモ、劣等品間ニ於テハ甚シキ懸隔ヲ生ゼリ。殺蟲效果ニ於テハ輕油ノ優良品ハ石油ノ劣等品ニ優リ、優良品トハ差ナク、然モ廉價ナルニ依リ除蟲菊浸出油トシテ推奨スベキ價值アリト認ム。

4 動植物性各混合油ノ效果比較試驗

礦物油ハ浮塵子驅除油トシテ殺蟲效力大ナルモノアレドモ、擴散力ノ劣レルモノアリ。依テ礦物油及動植物油ノ代表的ナルモノヲ選ビ比率ヲ異ニシテ混合シ、之ガ殺蟲效力擴散力ノ良否竝ニ經濟的價值ヲ檢知スル爲メ昭和5-6兩年度ニ於テ比較試驗ヲ施行セリ。

試驗方法

石油(虎印、白國花)、輕油(時計印、青全勝)、機械油(Cマシン)、動物油(鯨油、鰯油)、植物油(菜種油、大豆油)ヲ混合比3:1、2:2、1:3ノ比率トシ、先ヅ室内試驗ヲ行ヒ之ニ依リ比較の優良ト認メタルモノヲ選出シ、野外試驗ニ移シ、苗代及本田ニ於テ實地竝ニ應用試驗ヲ施行セリ。

試驗成績

(1) 室内試驗 (反當1升使用ノ割)

昭和5年度

Large table with 13 columns: 油ノ種類及混合比別, 殺蟲率% (第1回-4回, 平均), 成績(順位), 擴散力(第1回-4回), 反當藥劑價格. Rows list various oil combinations like 石油(虎)+輕油(時), 石油(白)+輕油(青), etc.

備考 石油(虎)ハ虎印 輕油(青)ハ青全勝 機械油(C)ハC「マシン」
石油(白)ハ白國花 輕油(時)ハ時計印

以上室内試験結果ニ依レバ、鯨油+輕油(青全勝)2:2及1:3最モ優位ヲ占メ、鱒油+石油(白國花)3:1ノ混合比ノモノ最モ劣レリ。以上ヲ綜合的ニ考察スレバ、礦物油ニ動植物油ヲ混合シタルモノヨリモ、礦物油ヲ相混合セルモノガ普遍的ニ成績優レル傾向アリ。礦物油同志混合ノモノハ混合比率ノ差ニ依ル優劣判然シ難シ。而シテ動植物油ト礦物油混合ノモノハ後者ノ比率大ナルモノ程成績良好ナルガ如シ。擴散力ハ礦物油ヨリモ礦物油ニ動植物油混合ノモノ優良ナレドモ反當所要價格ハ後者ノ方遙ニ高價ナリ。

(2) 苗代實地試験 (反當2升使用ノ割)

昭和5—6年度2箇年平均成績

油ノ種類	殺 蟲 率 %			成績順位
	5年度	6年度	平均	
石油(虎)+輕油(時)2:2	53.1	53.1	55.6	7
石油(白)+輕油(青)2:2	62.2	74.3	68.3	3
石油(白)+機械油(C)2:2	60.6	73.9	67.3	4
輕油(青)+機械油(C)2:2	66.3	59.1	62.7	5
鱒油+輕油(青)1:3	60.3	83.8	72.1	1
鱒油+石油(白)1:3	64.4	73.2	68.8	2
大豆油+輕油(青)1:3	62.0	61.6	61.8	6
大豆油+石油(白)1:3	46.2	44.9	45.6	8

(3) 苗代應用試験

昭和5—6年度2箇年平均成績

油ノ種類	見込殺蟲率 %			成績順位	藥劑反當價格 円		
	5年度	6年度	平均		5年度	6年度	平均
石油(虎)+輕油(時)2:2	62.5	65.0	63.8	5	0.400	0.355	0.378
石油(白)+輕油(青)2:2	67.5	75.0	71.3	2	0.425	0.350	0.388
石油(白)+機械油(C)2:2	67.5	70.0	68.8	4	0.440	0.365	0.403
輕油(青)+機械油(C)2:2	70.0	50.0	60.0	6	0.415	0.345	0.380
鱒油+輕油(青)1:3	65.0	85.0	75.0	1	0.600	0.373	0.487
鱒油+石油(白)1:3	70.0	80.0	75.0	1	0.638	0.403	0.521
大豆油+輕油(青)1:3	70.0	70.0	70.0	3	0.700	0.416	0.558
大豆油+石油(白)1:3	65.0	40.0	52.5	7	0.738	0.355	0.547

苗代試験結果ハ實地應用兩試験ニ於テ平均成績大體相一致シ、鱒油+輕油(青全勝)1:3ノ比ノモノ優良ニシテ大豆油+石油(白國花)1:3ノモノ最モ劣ル。他ハ成績區々ニシテ判定シ難シ。而シテ擴散力ハ動植物油混入ノモノ優ル。本試験供試油類ハ一切藥害ヲ認メズ。

(4) 本田實地試験

昭和5—6年度2箇年平均成績

油ノ種類	殺 蟲 率 %			成績順位
	5年度	6年度	平均	
石油(虎)+輕油(時)2:2	81.1	80.5	80.8	2
石油(白)+輕油(青)2:2	65.8	87.5	76.7	4
石油(白)+機械油(C)2:2	76.8	66.2	71.5	7
輕油(青)+機械油(C)2:2	81.9	93.4	87.7	1
鱒油+輕油(青)1:3	72.2	88.2	80.2	3
鱒油+石油(白)1:3	63.2	66.5	64.9	8
大豆油+輕油(青)1:3	75.1	76.8	76.0	5
大豆油+石油(白)1:3	68.9	78.7	73.8	6

(5) 本田應用試験

昭和5—6年度2箇年平均成績

油ノ種類	見込殺蟲率 %			成績順位	藥劑反當價格 円		
	5年度	6年度	平均		5年度	6年度	平均
石油(虎)+輕油(時)2:2	73.8	72.5	73.2	1	0.400	0.355	0.378
石油(白)+輕油(青)2:2	70.0	66.3	68.2	4	0.425	0.350	0.388
石油(白)+機械油(C)2:2	72.5	71.3	71.9	2	0.444	0.365	0.403
輕油(青)+機械油(C)2:2	67.5	68.8	68.2	4	0.415	0.345	0.380
鱒油+輕油(青)1:3	71.3	63.8	67.6	5	0.600	0.373	0.487
鱒油+石油(白)1:3	65.0	72.5	68.8	3	0.638	0.403	0.521
大豆油+輕油(青)1:3	52.5	68.8	60.7	6	0.700	0.416	0.558
大豆油+石油(白)1:3	52.5	66.3	59.4	7	0.738	0.446	0.547

本田試験ノ結果實地應用兩試驗ノ成績相一致セズ、且ツ室内、苗代兩試驗結果トモ成績符合セズ、成績區々ニシテ判定シ難シ。然レドモ一般ニ礦物油ハ、礦物油ト動植物油混合ノモノヨリ成績優レルガ如キ結果ヲ得タリ。擴散力ハ動植物油混入ノモノ優ル。尙ホ本試験供試油類ハ一切藥害ヲ認メズ。

5 油ノ性狀ニ關スル調査

浮塵子驅除油ノ性狀ヲ比較調査シ、之ガ應用上ノ資料ニ供スル爲メ昭和2—3年度ニ調査セル結果次ノ如シ。

調査方法

油ノ色、比重、上泌時間、擴散力ニ就キ調査ヲ行フ。

上泌力ノ檢定ハ濾紙ヲ幅5分長サ1尺2寸ニ切り之ヲ可檢油ニ下端2寸ヲ浸シ油ガ5寸ニ上ル迄ノ時間ヲ測定ス。又油ノ擴散ハ「ブリキ」製徑2尺深サ4寸ノ容器ニ水ヲ1寸ノ深サニ入レ、1c.c.「ビベット」ニテ水面上1寸ノ距離ヨリ油一滴ヲ滴下シ擴散距離ヲ測定シ其ノ優劣ヲ調査ス。

調査成績

昭和2年度

油ノ種類	着色	比重	1c.c. 滴下數	上泌時間	着手24時間後ノ上泌度 cm	擴散距離 cm				
						第1回	第2回	第3回	平均	
石油	上松	淡黄	0.805	65	3.10	-	33	30	20	27.7
	虎印	微淡黄	0.823	68	3.25	-	15	20	18	17.7
	白羽	同	0.819	68	3.50	-	40	50	20	36.7
輕油	ソコニ一	淡黄褐	0.824	66	3.07	-	15	34	15	21.3
	青全勝	淡青	0.888	62	7.38	-	25	28	32	28.3
	パワーオイル	黄褐	0.855	65	5.46	-	40	52	45	45.7
	發動輕油	赤褐	0.915	62	11.16	-	29	38	42	36.3
機械油	Cマシン	紫綠	0.941	58	-	13.5	40	25	46	37.0
	金色マシン	淡赤綠	0.965	58	-	9.2	40	47	47	44.7
除蟲油	鎗印最上燃料油	濃赤褐	0.938	58	-	11.6	50	58	50	52.7
	稻荷印除蟲油	濃褐	0.924	57	-	5.3	45	46	58	50.3
	健稻油	黑褐	0.874	62	-	14.9	50	56	58	55.3
	除蟲菊浸出石油(虎印)	淡黄褐	0.841	64	-	-	50	50	52	50.7

備考 擴散力調査ニ於テ第1回ハ3月23日室温、水温、油温共ニ16°C 蒸溜水使用
第2回ハ3月30日室温、水温、油温共ニ16°C 井水使用
第3回ハ3月30日室温、水温、油温共ニ16°C 井水使用

昭和3年度

油ノ種類	着色	比重	上泌時間	着手3日後ノ上泌度 cm	擴散距離 cm												
					水深			光線				水温 c					
					5分	1寸	2寸	3寸	直射		陰射		10°	20°	30°	50°	
石油	上松	淡黄	0.799	3.7	-	25	24	24	23	34	32	30	33	30	31	15	17
	虎印	微淡黄	0.817	4.15	-	25	23	18.5	19	15	21	17	20	26	20	18	16
	白羽	微淡黄	0.811	4.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輕油	ソコニ一	淡黄褐	0.817	4.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	12	25	-
	青全勝	淡青	0.858	6.50	-	-	-	-	-	56	58	55	57	44	45	34	-
	パワーオイル	黄褐	0.847	5.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	30	28	-
	發動輕油	赤褐	0.907	10.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金色二分油	赤褐	0.898	8.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
機械油	Cマシン	紫褐	0.926	-	14.9	-	-	-	-	-	-	-	-	51	28	22	-
	金色マシン	淡赤綠	0.957	-	11.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
除蟲油	鎗印最上燃料油	黑赤褐	0.929	-	13.2	-	-	-	-	57	58	-	58	51	25	35	-
	稻荷印除蟲油	濃褐	0.917	-	12.2	58	58	57	57	58	-	58	55	53	38	42	-
	健稻油	黑褐	0.865	-	15.5	-	-	-	-	-	-	58	-	58	53	47	-
	除蟲菊浸出石油(虎印)	淡黄褐	0.838	3.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特許月魚印	赤褐	0.864	16.44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	38	31	-

備考 1) 水深トノ關係ハ9月27日室温25°C 水温21°C
2) 直射光線ノ有無トノ關係ハ9月27日油温室温共ニ22°C 水温19°C
3) 水温トノ關係ハ9月20日室温26°C

以上試験ノ結果ニ依レバ比重ハ一般ニ石油、輕油、機械油ノ順序ニ大トナリ、除蟲油類ノ石油又ハ重油等ヲ主體トスルニ依リ比重ヲ異ニス。

供試材料タル礦物油ノ擴散力ハ比重大ナルニ從ヒ優レル傾向アリ。擴散力ハ除蟲油類最モ優レ、機械油、輕油、石油ノ順位ニ劣レリ。水深及直射光線ノ有無ハ擴散力ニ影響少キガ如シ水温トハ著シキ關係ヲ有シ低温度ニ於テ優レルヲ見ル。

6 試験結果ノ考察及結論

浮塵子ニ對スル注油驅除ハ古來ヨリ最モ適確ナル驅除法トシテ、普遍的ニ施行セラレタルモノニシテ、奏效確實ナルコト害蟲驅除法中類例ナキモノト稱セラル而シテ之ニ使用スベキ油ハ從前動植物油ヲ主トセルモ、礦物油ガ比較的廉價ニシテ且奏效顯著ナルヲ稱ヘラレシ以來殆ンド後者ニ依ルヲ常トスルニ至レリ。然レドモ礦物油ハ多クノ種類ニ分類サレ、商品トシテモ亦名稱ヲ異ニシ、從前呼稱ノ品ハ現在ニ存セズ、又現在ト雖モ一地方ニ於ケル品名ノモノ他地方ニ販賣セラレザル等ノ缺陷アリ。依テ過去又ハ一地方ノ業績ニ舉ゲラレタルモノニテ全ク利用シ得ザルモノ多々アリ。

元來油ノ浮塵子ニ對スル殺蟲作用ニ就テハ、確定的ニ結論ヲ下シタルモノヲ認メザルモ、致死作用ノ第一階梯ハ油ヲ水面ニ滴下セル場合、蟲體ノ水面浮游ヲ不可能ナラシムルニ在リ。渡邊幸吉氏(22)ハ礦物油ノ昆蟲ニ對スル殺蟲作用トシテ(イ)氣門閉鎖ニ依ル窒息作用、(ロ)油溶液ニ依ル毒作用、(ハ)油蒸氣ニ依ル毒作用、(ニ)油分ガ氣管内ニ入りテ組織ニ接觸的ニ及ボス毒作用、(ホ)麻醉作用等ヲ列舉セリ。然ルニ之等ハ乳劑類ニ於ケル場合ノ作用ヲ述ベタルモノニテ浮塵子ニ對シテハ寧ロ二次的ノ作用ト看做シ得。高橋獎氏(17)ハ浮塵子驅除油タルベキ資格トシテ(イ)殺蟲力、(ロ)擴散力、(ハ)價格ノ點ヨリ決定スベキモノトシ、殺蟲力ハ物理的性質トシテ滲透性ノ強弱ニ依リ、尙ホ化學的性質ノ如何ニ依リ左右サルルコトアルヲ以テ滲透性ノミノ強弱ニ依リテ定メ得ズト稱シ、且同氏(19)ハ滲透力以外ニ粘着性ノ關係スルモノナルコトヲ記セリ。村田藤七氏(6)ハ油ノ揮發、擴散、浸潤、粘着力ノ度ニ依ル驅除油ノ選擇ハ困難ナリト言フ。織田富士夫氏(13)ハ殺蟲油試験檢定方法トシテ(イ)擴散性、(ロ)滲透性、(ハ)殺蟲力ノ三項ヲ列舉セリ。

以上ノ如ク油ノ殺蟲作用ニ對スル原因ハ、闡明セラレザルモノ今之ヲ綜合的ニ考察スレバ、油ノ理化學的性質ニ基クコト勿論ナルモ、致死ノ要因ハ第一ハ油ノ物

理的性質ニ因ルモノニシテ、成分上ノ毒作用ハ之ニ副作用ト看做スベキヲ至當ト認ム。茲ニ於テ浮塵子驅除油ノ具備スベキ條件ハ、物理的性質トシテ擴散力竝ニ滲透性強ク、粘度適當ニシテ揮發ノ度過早ニ失セズ、加フルニ二次的ニ作用スル致死要素ヲ含ミ、而モ經濟上安價ナルモノタルヲ要ス。

余等ノ試験ニ於テハ、未ダ油ノ性状ニ關シ精密ナル調査ヲ了セザルヲ以テ適確ナル判斷ヲ下シ得ズ、且本成績ヲ通覽シテ判明スル如ク效力優良ナルモノ又ハ著シク不良ナルモノハ、全試験ヲ通ジ其差顯著ナルモ、優良品ハ、試験ノ都度環境ノ相違ニ依リ成績ニ影響ヲ及ボスコト多ク結果判然シ難シ。其要因ハ多々アレドモ、浮塵子ハ時期ニ依リ種類ヲ異ニスルト共ニ夫々油ニ對スル抵抗性ニ強弱アリ。又世代ニヨリ若齡幼蟲多ケレバ水中ニ沈下スル斃死蟲モ多ク、尙ホ同一種ニ於テモ形態異ナル場合、長翅型ハ短翅型ニ比シ飛翔逃避スルモノ多キガ如キ、其主ナルモノナリ。一方試験地ノ狀況ハ往々灌水ノ不均一、滓ノ流入等アリテ支障ヲ生ズルコトアルヲ以テ、他ノ撒布劑ヲ使用スルモノト自ラ趣ヲ異ニス。又本試験ニ於テハ實地應用兩試験共苗代ハ時期及場所同一ナレドモ、本田ニ於テハ之ヲ異ニセリ。依テ本成績ヲ見ルニ當リテハ斯ル點ヲモ充分顧慮シ、判斷セザルベカラズ。

以上本成績ノ結果ヲ見ルニ、除蟲菊浸出石油(虎印)、同輕油(青全勝)、健稻油、特許月魚印、石油(虎印)、輕油(青全勝、時計印)ガ成績優良ニシテ、他ハ大差ナク最モ劣レルハ松根油、「タマクサ」油等ナリ。動植礦物混合油ニ於テハ室内圃場試験共ニ成績區々ニシテ斷定シ得ザルモ、多種油類ノ比較成績判明セル室内試験結果ニ依レバ、鯨油、輕油ノ混合油ガ優良ニシテ他ハ顯著ナル效力ノ差異ヲ認メズ。

石油又ハ輕油ニ除蟲菊粉ヲ混ジタルモノハ毒作用ニ依ル致死要素ヲ含ミ、且又擴散力大ナル爲メカ使用量少ニシテ效力最モ顯著ナリ。石油輕油ノ單用ハ之ニ次イデ效果アリ。既製驅除油ニ至リテハ價格ノ相違ニ依リ石油、輕油、重油等ソノ構成油類ヲ異ニシ、其ノ成績區々ニシテ一般ニ其ノ效果前二者ニ劣ル。既製驅除油ハ擴散力ヲ優良ナラシムル爲メニノミ工夫ヲ凝ラシ當業者ノ眼ヲ欺クモノ多キ故

コノ點注意ヲ要ス。

動物油中鯨油及魚油ハ夏日高温ノ際之ヲ使用スルニ當リ惡臭強ク作業ニ困難スルコト頗ル多シ。

反當用量ハ、油種ニ依リ夫々異ナレドモ、殺蟲效力優良ト認メラルルモノノ中、除蟲菊浸出石油、同輕油、健稻油、特許月魚印ノ如キハ反當1升ヲ標準トシ、1升5合迄トス。其他ノ油ハ2升—2升5合ガ適量ナルベシ。苗代試験ニ供用セル油類中鉛印最上燃料油、稻荷印除蟲油、機械油C「マシン」ハ、反當2升使用ノ際灌水稍多キ時ハ、往々下葉ニ藥害ヲ生ズルコトアリ。又本田ニテハ石油5升迄使用スルモ直接油ガ莖葉ニ觸レザル限リ一般ニ藥害ヲ被ルモノナシ。

反當所要價格ハ除蟲菊浸出石油若クハ同輕油ガ所要量少ナクシテ效果多ク、反當25錢乃至40錢内外ニ當リ、之ニ近似ノ效果ヲ舉グベキ他ノ油ノ單用2升以上使用ニ比シ遙ニ廉價ナリ。尙ホ健稻油、特許月魚印ハ既製驅除油トシテ比較的廉價ニシテ效果アルモノノ如シ、動植物油ハ礦物油ニ比シ高價ナルヲ以テ生産地方等ノ如キ特殊地域ニテ礦物油ト混合使用シテ有利ナルコトアルモ、經濟上稱揚スベキモノト認ムル能ハズ。

本實驗ニ於テ、擴散力ハ比重大ナルダケ優リ、除蟲油類優位ニシテ機械油、輕油、石油ノ順位ニ劣レリ。前述ノ如ク、一般ニ既製市販驅除油ト礦物油ニ動植物油混入セルモノハ常ニ著シク優レル傾向アリ。水深及直射光線ノ有無ハ擴散力ニ影響ナキモ、水温トハ特ニ關係ヲ有シ、低温度ニ於テ優レルヲ見ル、而シテ其適温ハ大凡 20°C 前後トス。水温、油温ト擴散力ノ關係ハ低温ニ於テ優レルコト各種業績ノ所論ト一致セル所ナリ。

注油驅除施行上留意スベキ要項ニ就テハ追而發表スル豫定ナルモ、驅除時刻ハ晴天若クハ曇天無風ノ日（微雨ハ妨ゲナシ）ヲ選ビ、且早朝日出前ヲ理想トス。之ハ浮塵子ノ舉動不活潑ナルト油類ノ擴散力良好ニシテ殺蟲效果ヲ舉グ易キヲ以テナリ。

要スルニ浮塵子驅除油トシテハ、石油若クハ輕油ノ優良ナルモノニ除蟲菊粉ヲ

加用セル浸出油ガ最モ満足スベキ條件ヲ具備シ、特ニ輕油ハ石油ニ比シ價格低廉ニシテ、且後者ト效力ニ大差ナキヲ以テ推奨スベキ價值アリト認メラル。次ニ動植物礦物油ノ混合セルモノハ殺蟲效力及擴散力ノ稍優レルモノアルモ、經濟上適當ナルモノト稱シ得ズ。

浮塵子ニ對スル致死作用及油類ノ理化學的性狀ニ關スル調査ハ頗ル緊要ナリ、殊ニ後者ハ現在有效ト認メラルル油類ニ就テ詳細調査シ、殺蟲效力比較結果ニ基キ相互考察シテ殺蟲油ノ基準タルベキ根據ヲ攻究シ他日發表スル機會アルベシ。

Ⅰ 注油ト驅除效果竝ニ藥害トノ關係試驗

1 稻ノ生育ニ伴フ挿秧後ノ日數ト驅除油ノ影響トノ關係試驗

挿秧後ハ、未ダ稻苗纖弱ナルヲ以テ浮塵子發生ノ場合ノ注油驅除ニ對シ、選擇スベキ油種及藥害ノ程度ヲ檢知セムトシ、昭和5年度ニ於テ試驗ヲ施行セリ。

試驗方法

石油（虎印、白國花）2升、輕油（時計印、青全勝）2升、機械油（Cマシン）2升、除蟲菊浸出石油（虎印）1升ヲ挿秧後5日目、10日目、15日目ニ注油シ、藥害ノ有無ヲ調査セルニ次ノ如キ結果ヲ得タリ。

試驗成績

(イ) 挿秧後5日目ニ於ケル注油

注油後5日目（挿秧後11日目）ノ調査ニテC「マシン」ノミ相當藥害ヲ見受ク。此ノ被害株ハ注油後15日目（挿秧後20日目）ニハ、殆ド稻ノ生育ニ對シ表面上ノ觀察ニテ影響ヲ認メザルニ至レリ。

(ロ) 挿秧後10日目ニ於ケル注油

注油後5日目（挿秧後15日目）ノ調査ニテC「マシン」ノミ藥害ヲ認メタルモ挿秧後5日目注油ノ如ク被害大ナラズ。注油後15日目（挿秧後25日目）ニテハ全ク回復セリ。

(ハ) 挿秧後15日目ニ於ケル注油

注油後5日目(挿秧後20日目)ノ調査ニテハ C「マシン」ノミ輕微ナル藥害ヲ認メタルモ注油後10日目(挿秧後25日目)ニ於テハ全ク回復セリ。

以上ノ結果ニヨリ推考スレバ供試油類中 C「マシン」ノミニ藥害ヲ認メ、他ハ一切藥害ヲ認メズ。而シテコノ被害ハ挿秧當初ニ大ニシテ時日經過ト共ニ輕微トナリ、且恢復早シ、斯クノ如ク稻生育初期ニ藥害ヲ被リタルモノハ健全株ニ比シ草丈、分蘖數共ニ劣レル傾向アルヲ認メタリ。

2 注油後拂落迄ノ時間ノ長短ト殺蟲效果比較試験

從來注油驅除ニ當リテハ、注油後直チニ拂落スヲ原則トセルモ、之ハ油ノ種類ニ依リ注油後相當時間經過後拂落スガ至當ニ非ズヤトノ見解ノモトニ其ノ結果ヲ判定スル爲メ昭和5-6兩年度ニ於テ施行セリ。

試験方法

代表的ノ油種トシテ石油(虎印、白國花)、輕油(青全勝、時計印)、機械油(C「マシン」)、除蟲菊浸出石油(虎印)ヲ用ヒ拂落迄ノ經過時間ハ5分、30分、60分ニ區分ス。5年度ニ於テハ室内試験ノミヲ行ヒ、6年度ニ於テハ室内及室外(芝生上竝ニ本田實地試験)ニ於テ施行セリ。

試験成績

注油後拂落迄ノ時間ノ長短ト殺蟲效果比較試験平均成績

試験區別	5,6兩年度室内試験平均(6回)				6年度室外芝生上試験平均(3回)				6年度本田實地試験(1回)				
	反當 用量	殺蟲率 %	5分後殺 蟲率 トセル 數	殺百 成績 指 順位	反當 用量	殺蟲率 %	5分後殺 蟲率 トセル 數	殺百 成績 指 順位	反當 用量	殺蟲率 %	5分後殺 蟲率 トセル 數	殺百 成績 指 順位	
石油虎印	5分	1升	85.7	100	2	1升	81.3	100	3	2升	39.3	100	2
	30分	1升	88.5	103	1	1升	88.1	108	1	2升	53.5	136	1
	60分	1升	77.9	91	3	1升	85.9	105	2	2升	22.2	57	3

試験區別	5,6兩年度室内試験平均(6回)				6年度室外芝生上試験平均(3回)				6年度本田實地試験(1回)				
	反當 用量	殺蟲率 %	5分後殺 蟲率 トセル 數	殺百 成績 指 順位	反當 用量	殺蟲率 %	5分後殺 蟲率 トセル 數	殺百 成績 指 順位	反當 用量	殺蟲率 %	5分後殺 蟲率 トセル 數	殺百 成績 指 順位	
石油白國花	5分	1升	90.3	100	1	1升	89.4	100	2	2升	75.8	100	1
	30分	1升	88.1	98	2	1升	91.1	102	1	2升	68.3	81	2
	60分	1升	86.9	96	3	1升	67.8	76	3	2升	45.6	60	3
輕油青全勝	5分	1升	97.1	100	1	1升	89.5	100	1	2升	84.3	100	1
	30分	1升	91.0	94	3	1升	81.8	91	2	2升	83.4	99	2
	60分	1升	92.3	95	2	1升	65.6	73	3	2升	79.5	94	3
輕油時計印	5分	1升	93.4	100	1	1升	99.0	100	1	2升	84.3	100	1
	30分	1升	88.1	94	2	1升	82.3	83	3	2升	84.0	100	2
	60分	1升	84.8	91	3	1升	84.8	96	2	2升	32.8	39	3
除蟲菊浸出石油	5分	5合	92.2	100	1	5合	91.7	100	2	1升	84.1	100	2
	30分	5合	77.8	84	3	5合	94.3	103	1	1升	91.1	108	1
	60分	5合	82.0	89	2	5合	61.9	60	3	1升	75.3	90	3
C「マシン」	5分	1升	97.1	100	1	1升	99.2	100	2	2升	77.6	100	2
	30分	1升	91.8	95	3	1升	88.9	90	2	2升	80.9	104	1
	60分	1升	96.0	99	2	1升	80.1	81	3	2升	69.4	89	3

本試験結果ハ試験誤差アリト雖モ、一般ニ注油後拂落迄ノ時間ノ經過ニ伴ヒ殺蟲效力減少スルモノナルコトヲ窮知シ得。各拂落時間ノ差違ニ依ル效力減少ハ室内ヨリモ室外ニ於テ低下セルヲ認メ、特ニ圃場試験ニ於テ顯著ナルモノアリ、油種ニ依ル差異ハ顯著ナラズ。機械油ノミ他ニ比シ效力減少少ナキ傾向アリ。

3 拂落方法ヲ異ニセル場合ノ殺蟲效果比較試験

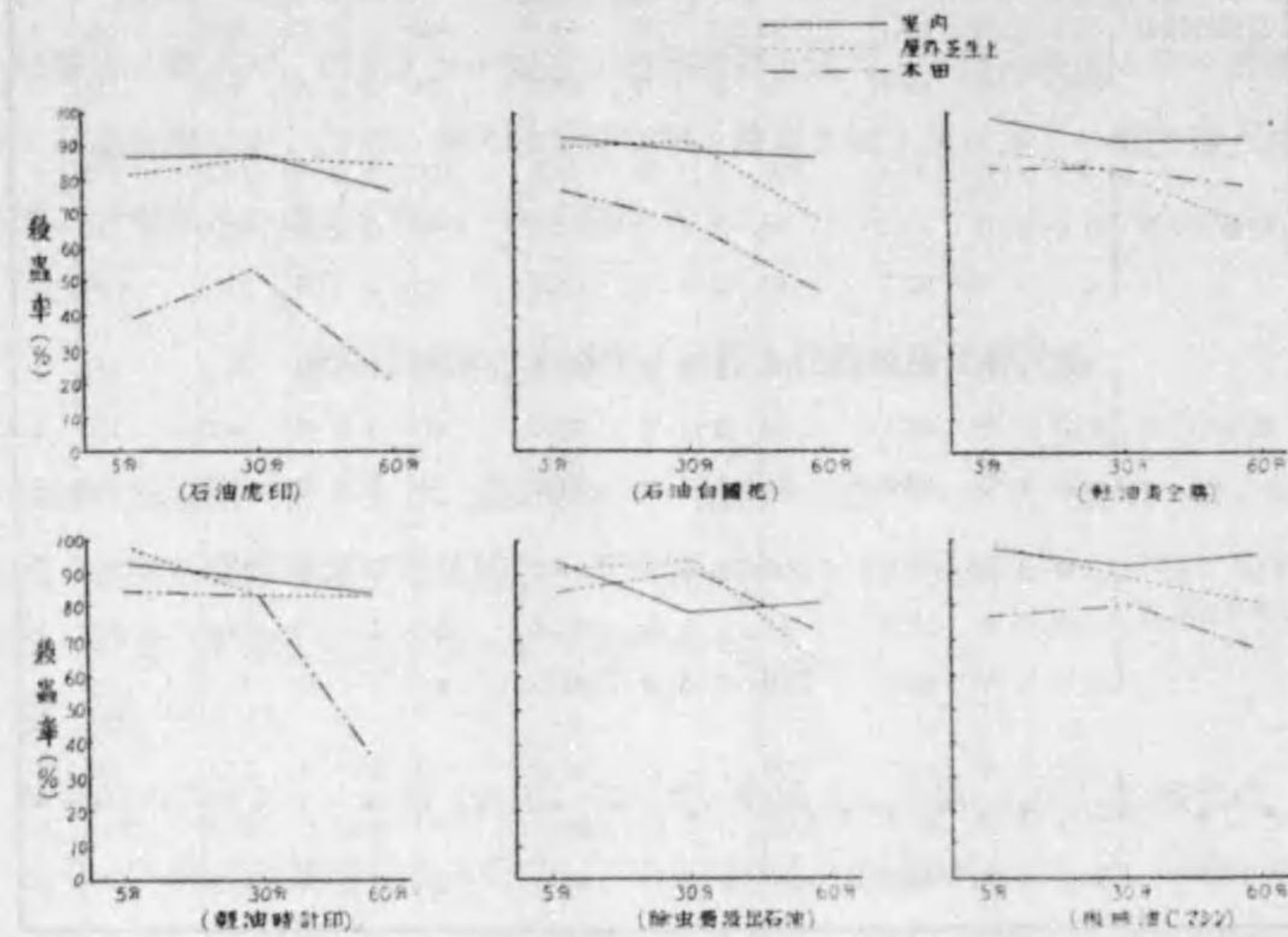
拂落方法ノ良否殊ニ使用器具ノ影響ハ殺蟲效力及作業能率ト植物生理上ニ及ボス影響多キヲ以テ、之ガ比較試験ヲ行フ爲メ昭和7年度ニ於テ施行セリ。

試験方法

輕油黒菊印反當2升ヲ使用シ、苗代ニテハ淺水法(竹棒、竹笹、「シヤクリ」掛)

及深水法ニ依リ實地及應用試驗ヲ行ヒ、本田ニテハ竹棒、竹笹、藁箒、足蹴掛、柄振ヲ使用シ、應用試驗ヲ行ヘリ。

注油後拂落迄ノ時間ノ長短ト殺蟲效果比較 (平均)



試験成績

苗代試験平均成績

拂落時間ヲ異ニセル場合					拂落時間ヲ一定ニセル場合				
拂落方法	坪當リ 所要時間	殺蟲率 %		成績 順位	拂落方法	坪當リ 所要時間	殺蟲率 %		成績 順位
		實地 試験	應用 試験				實地 試験	應用 試験	
竹棒拂落	50	69.6	80.0	1	竹棒拂落	40	88.3	90.0	3
竹笹拂落	30	61.4	70.0	2	竹笹拂落	40	95.1	90.0	2
手シャクリ掛	40	52.7	65.0	3	手シャクリ掛	40	98.4	95.0	1
深水法	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本田試験平均成績

拂落方法	見込殺蟲率 %						平均	成績 順位	1人1畝 所要時間 平均
	穂字前	1畝當 所要時間	穂字期	1畝當 所要時間	出穂後	1畝當 所要時間			
竹笹拂落	80.0	3.0	77.5	3.15	75.0	3.00	77.5	3	3.05
竹棒拂落	70.0	2.0	82.5	1.45	82.5	4.00	78.3	2	2.35
藁箒	70.0	5.0	87.5	4.30	62.5	13.00	73.3	4	7.30
足蹴掛	72.5	2.0	87.5	3.00	72.5	3.00	77.5	3	2.40
柄振	82.5	3.0	90.0	3.15	82.5	4.30	85.0	1	3.35

本試験結果ヲ見ルニ苗代期ノ注油驅除ハ方法ニ各得失アリテ決定出來難キモ、深水法ハ推奨シ得ズ、淺水法ニハ之又得失アルモ試験結果ニ依レバ竹棒拂落ヲ以テ最も適當ト認メラル、本田ニテハ灌水多量ナルヲ要シ、撒水型ニ行フ場合ハ特ニ然リトス、本試験結果ニ依レバ、柄振使用最モ可良ニシテ竹棒拂落ハ之ニ次グ。

4 試験結果ノ考察及結論

(1) 稻插秧當時使用スル油種ト藥害トノ關係ハ代表的供試油類石油、輕油、機械油、除蟲菊浸出石油中機械油 C「マシン」ノミニ被害ヲ認ムルノミナルヲ以テ實地應用上重要視スベキ問題ニ非ズ。然レドモ、插秧當時ノ油ニ基ク藥害ガ草丈、分蘖數ニ影響シ、生育劣リ試験結果ニ表ハレタルガ如キ迄ノ被害ヲ被ルトセバ植物生理上トノ特殊ノ關係アルモノト思惟サルルヲ以テ之ガ検討ハ他日ノ試験研究ノ結果ニ俟タザルベカラズ。

(2) 注油後拂落迄ノ時間ノ經過ト殺蟲效果ニ關スル試験成績ヲ見ルニ、時間經過ニ伴ヒ一般ニ殺蟲效果減少セリ。而シテ室内試験、屋外芝生上試験、本田圃場試験ノ順位ニ效力減少度大ナルハ當然ノ理ト稱シ得ベシ。農商務省農事試験場 (10) ハ石油ニテ室内試験セル結果注油直後平均85%、30分後10%、60分後ハ零トナリ、宮崎縣農事試験場 (7) ニ於ケル同一試験ニ於テハ注油直後100%、30分後20%、60分後7%ニ遞減セルガ、兩者共ニ圃場ニ於テハ莖葉繁茂シ陽光ヲ遮斷スル

爲メ斯克迄ノ相違ナルベシト報ゼリ。然レドモ本試験ノ結果ハ豫想以上ニ效力遞減セズ、上記結果ニ比シ大ナル開ヲ生ジタリ。之ハ試験方法其他ノ要因ニ基クモノナルベシ。要スルニ時間経過ニ伴ヒ效力減少スルコトハ一致セル所ナリ。

油種ニ依ル差異ハ顯著ニ表ハレザレドモ、揮發性大ナル油ハ時間ノ経過ニ伴ヒ、效力減少大ナルベク、從ツテ機械油ノ如キ粘度高ク揮發遅キ油ハ比較的效力減少少ナキ結果ヲ生ゼリ。尙ホ浮塵子ノ習性トシテ注油後時間ノ経過ニ伴ヒ成幼蟲共ニ油ノ揮發スルニ從ヒ、臭氣ニ依リ上方ニ這ヒ上リ拂落上ニ困難ヲ伴ヒ殺蟲效力ニ影響アルコトハ應用上注意セザルベカラズ。

以上ニ依リ注油後ノ拂落ハ種類ノ如何ニ不拘出來得ルダケ早ク拂落スヲ以テ原則トスルヲ要ス。

(3) 注油後ノ拂落作業ハ害蟲驅除上特殊ナル操作ニシテ他ノ接觸劑ノ塗抹或ハ撒布ト自ラ趣ヲ異ニシ此ノ作業ノ良否巧拙ハ殺蟲效力ノミナラズ植物生理上ニ及ボス影響竝ニ大面積ニ施行スル場合ノ作業能率ニ至大ノ關係アリ、然ルニ、之ガ良否考査ハ容易ナラズ、操作セルモノノ技術ノ巧拙、精粗、熟練ノ度或ハ灌水ノ程度等種々ノ要因アリテ論斷出來難キモ苗代及本田ニ於ケル各方面ニ對スル得失ヲ述ブレバ次ノ如シ。

苗 代

(イ) 竹棒拂落 竹棒ヲ水平ニ持テ急激ニ衝動ヲ與フル如クシテ左右ニ振り動カシ適當ニ操作スレバ最モ殺蟲效力擧レドモ、長時間作業ノ際ハ疲勞シ易ク一定面積ニ對スル所要時間多シ餘リニ力強ク操作スレバ苗ヲ損傷スル憂アリ。

(ロ) 竹笹拂落 所要時間少ナク、能率上ルモ方法拙キ場合ハ成蟲ヲ追ヒ逃シ、且稻ノ下葉ヲ油水ニ浸シ易シ、笹ノ尖端ヲ剪除セザル際ハ殊ニ斯ル傾向多シ。

(ハ) 「シャクリ」掛 操作中水面動搖ニ依リ多少油ノ擴散ヲ助長スル利アレドモ手元ニ波立タセ下葉若クハ苗全部ヲ油水ニ浸スコトアリ、苗ガ小サキ場合及深水トセル際ニ於テ然リトス。操作拙キ際ハ成蟲ヲ逃亡セシムルコト多シ。

依テ操作ニ當リテハ床ノ兩側ヨリ二人向キ合ヒ操作スルヲ便トス。

(ニ) 深水法 堅固ナル畦ヲ豫メ作り置カザレバ、反テ苗ニ藥害ヲ生ズル惧アリ。現在ノ如ク、油類其他トノ併用ノ如キ殺蟲率高キ適切ナル方法考案サレタル際ニ於テハ特ニ推奨ノ價值ナシト認ム。

本 田

(イ) 竹笹拂落 穂孕期以前ノ操作トシテハ稻ニ對シ軟ク各部分ニ接觸シ得テ作業能率上リ良好ナル方法ナルモ、出穂後ニ於テハ下部ノ動搖少ナク反ツテ成蟲ヲ追立ツルガ如キ傾向アリ。

(ロ) 竹棒拂落 操作頗ル簡ニシテ能率最モ上リ稻ニ對シ強ク接觸シ穂孕前ハ可ナレドモ、出穂後ニ於テハ前者同様ノ缺點アリ。尙ホ往々ニシテ稻ヲ損傷シ易シ。

(ハ) 足蹴掛 耕土稍堅ク深水ナレバ能率上リ操作簡易ナルモ、熟練ヲ要ス。方法拙ケレバ稻ヲ損傷シ易シ、且均一ニ水ヲ掛ケ難シ。出穂後ニ於テハ操作困難ニテ效果劣ル。本法ハ多人數同時ニ行フ場合ハ適當ナル方法ナラン。

(ニ) 藁 箒 新調ノ材料ナレバ稻ノ株元ニ油水觸レ丁寧ナル操作ナルモ、最モ時間ヲ要シ、操作ノ際往々ニシテ稻ヲ損傷スルコトアリ、長時間作業スレバ疲勞ヲ感ズ、出穂前ハ比較的容易ナルモ出穂後ニ於テハ最モ操作困難ナリ。

(ホ) 柄 振 油水ノ接觸良好ニシテ且株元ヨリ上部ニ至ル迄衝動ヲ與ヘ殺蟲率高シ、長時間作業ト出穂後ニハ疲勞シ易シ、殊ニ後者ニ於テハ操作困難ナリ、多人數ニテ同時ニ行フ場合ハ適切ナル方法ト認ム。

浮塵子ハ一般ニ水面ニ近キ稻ノ下部葉鞘附近ニ多ク下部變色枯凋スルニ從ヒ上部ニ來ルモノナルヲ以テ此ノ點ニ留意スルヲ要ス。特ニ注油驅除ニ當リ注意スベキハ灌水ノ程度ニシテ苗代及本田移植當時ハ油ノ擴散ヲ妨ゲザル限リ淺水トシ、最下位ノ葉片ノ根元ヲ限度トス。ソレ以上ノ深サニ灌水スレバ往々藥害ヲ被ルコトアリ、稻活着後ハ出來得ルダケ深水トナサザレバ驅除操作ニ困難ヲ感ズ。本田拂落方法ハ何レモ出穂前迄ノ作業ニテ出穂後ハ能率上リ難ク且稻ヲ損傷シ殺蟲效

果著シク劣ルヲ以テ右以外ノ方法ヲ適用セザルベカラズ。

Ⅲ 液劑、粉劑ノ效果ニ關スル試験

灌漑水缺乏シテ注油驅除ノ不可能ナル場合或ハ陸苗代若クハ本田落水後ニ於ケル驅除劑トシテ、粉劑及液劑ノ有效ナルモノヲ檢知セシムトシ、昭和2—4年迄3箇年間試験ヲ施行セリ。

1 液劑ノ效果比較試験

試験成績

(1) 室内試験

昭和3—4年度2箇年平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺 蟲 率 %			成績 順位	藥劑反當價格 円		
		3年度	4年度	平均		3年度	4年度	平均
除 蟲 菊 石 鹼 液	1石5斗	90.9	100.0	95.5	1	2.688	2.304	2.496
硫酸ニコチン石鹼液	800倍液 1石5斗	91.1	93.8	92.5	2	3.217	3.054	3.136
除蟲菊加用石油乳劑	60倍液 1石5斗	85.0	89.1	87.1	3	0.834	0.795	0.795
石 油 乳 劑	20倍液 1石5斗	73.3	74.2	73.8	4	1.746	1.640	1.693
石 鹼 水	1石5斗	60.0	41.8	50.9	5	0.438	0.425	0.433

室内試験結果ハ各液劑反當1石5斗ヲ使用シ除蟲菊石鹼液最モ優位ニシテ硫酸「ニコチン」石鹼液、除蟲菊加用石油乳劑、石油乳劑、石鹼水ノ順序トナル。而シテ硫酸「ニコチン」石鹼液ハ千倍液ニ比シ8百倍液著シク效果優レリ。

(2) 苗代實地試験

昭和2—4年度3箇年平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺 蟲 率 %				成績 順位	藥劑反當價格 円			
		2年度	3年度	4年度	平均		2年度	3年度	4年度	平均
除 蟲 菊 石 鹼 液	1石5斗	40.0	66.5	82.0	62.8	2	2.875	2.688	2.301	2.721
硫酸ニコチン石鹼液	800倍液 1石5斗	-	45.8	58.2	52.0	3	-	3.218	3.054	3.136
除蟲菊加用石油乳劑	60倍液 1石5斗	61.9	65.5	63.7	63.7	1	0.854	0.834	0.755	0.814
石 油 乳 劑	20倍液 1石5斗	5.1	4.1	0.9	4.6	4	1.766	1.746	1.540	1.717

以上苗代試験結果ハ各液劑共反當1石5斗ヲ使用シ、除蟲菊加用石油乳劑、除蟲菊石鹼液、硫酸「ニコチン」石鹼液、石油乳劑ノ順位トナルモ除蟲菊加用石油乳劑ト除蟲菊石鹼液ハ效力殆ンド匹敵セリ。尙ホ「ネオトン」、「デリス」石鹼液、機械油乳劑、松脂合劑ハ豫備の試験ノ結果其ノ效果少ク實用的價值ナシ。

(3) 本田實地試験

昭和3—4年度2箇年平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺 蟲 率 %			成績順位
		3年度	4年度	平均	
除 蟲 菊 石 鹼 液	2石	59.4	60.1	69.8	1
硫酸ニコチン石鹼液	800倍液 2石	37.1	66.1	51.6	3
除蟲菊加用石油乳劑	60倍液 2石	44.2	63.9	54.1	2
石 油 乳 劑	20倍液 2石	18.9	12.8	15.9	4

(4) 本田應用試験

落水本田 昭和2—4年度3箇年平均成績

液劑ノ種類	調合量及 反當用量	見 込 殺 蟲 率 %				成績 順位	藥劑反當價格 円			
		2年度	3年度	4年度	平均		2年度	3年度	4年度	平均
除 蟲 菊 石 鹼 液	2石	27.5	71.3	65.0	54.6	1	3.833	3.583	3.067	3.494
硫酸ニコチン石鹼液	800倍液 2石	-	27.5	40.0	33.8	2	-	4.270	4.073	4.182
除蟲菊加用石油乳劑	60倍液 2石	22.5	30.0	40.0	30.8	3	1.135	1.108	1.006	1.083
石 油 乳 劑	20倍液 2石	10.0	5.0	10.0	8.3	4	2.357	2.326	2.190	2.292

以上本田試験結果ハ實地應用兩試驗共略成績相一致シ、苗代試験トモ符合ス、各反當2石ヲ使用シ、除蟲菊石鹼液最モ優位ニアリ、硫酸「ニコチン」石鹼液、除蟲菊加用石油乳劑、石油乳劑ノ順位ニ劣レリ。而シテ「ネオトン」、「テリス」石鹼液、機械油乳劑、松脂合劑ハ豫備的試驗ノ結果其ノ效果少キヲ以テ實用的價值ナシ。

2 粉劑ノ效果比較試驗

試驗成績

(1) 室内試驗

昭和3—4年度2箇年平均成績

粉劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺蟲率%			成績 順位	藥劑反當價格円		
		3年度	4年度	平均		3年度	4年度	平均
粉煙草	5 貫	67.6	69.8	68.7	5	2,000	3,000	2,500
同	10 貫	88.9	92.0	90.5	1	4,000	6,000	5,000
煙草石灰	煙草粉 2.5貫 石灰 2.5貫	57.7	44.6	51.2	8	1,175	1,650	1,413
同	煙草粉 5貫 石灰 5貫	81.3	83.6	82.5	2	2,350	3,300	2,725
除蟲菊木灰	除蟲菊粉 1封度 木灰 3貫	23.4	-	23.4	10	1,050	-	1,050
同	除蟲菊粉 2封度 木灰 3貫	69.3	-	69.3	4	1,950	-	1,950
同	除蟲菊粉 1封度 木灰 5貫	-	25.3	25.3	9	-	1,050	1,050
同	除蟲菊粉 2封度 木灰 5貫	-	56.1	56.1	6	-	1,800	1,800
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 石灰 4貫	79.3	-	79.3	3	22,780	-	22,780
同	ニコチン粉劑 1貫 石灰 9貫	51.4	-	51.4	7	23,130	-	23,130

以上室内試験結果ニ依レバ煙草粉最モ優リ、煙草石灰粉、「ニコチン」粉劑、除蟲菊木灰ノ順位トナル、而シテ各藥劑共使用總量多キカ又ハ接觸劑混入多キモノ程殺蟲效果優レリ。

(2) 苗代實地試驗

昭和2—4年3箇年平均成績

粉劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺蟲率%				成績 順位	藥劑反當價格円			
		2年度	3年度	4年度	平均		2年度	3年度	4年度	平均
粉煙草	5 貫	34.4	57.5	48.0	46.6	4	2,000	2,000	3,000	2,333
同	10 貫	74.4	68.5	77.8	73.6	1	4,000	4,000	6,000	4,667
煙草石灰	煙草粉 2.5貫 石灰 2.5貫	11.7	38.2	4.6	18.2	7	1,175	1,175	1,650	1,333
同	煙草粉 5貫 石灰 5貫	25.1	49.8	45.7	40.2	6	2,350	2,350	3,300	2,667
除蟲菊木灰	除蟲菊粉 1封度 木灰 3貫	17.1	69.0	-	43.1	5	1,100	1,050	-	1,075
同	除蟲菊粉 2封度 木灰 3貫	42.2	84.8	-	63.5	2	2,050	1,950	-	2,000
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 石灰 4貫	26.9	63.6	-	45.3	3	22,780	22,780	-	22,780
同	ニコチン粉劑 1貫 石灰 9貫	0	30.0	-	15.0	8	23,130	23,180	-	23,130

苗代試験ノ結果ハ煙草粉最モ優リ除蟲菊木灰、「ニコチン」粉劑、煙草石灰ノ順位トナリ、室内試験結果ニ略ホ等シキモ煙草石灰ノ效果舉ラズ、使用量ニ於テ煙草粉、煙草石灰共反當5貫ヨリモ倍量區ニ於テ殺蟲效果舉リ、除蟲菊木灰ハ除蟲菊粉加用量多キ程效力多シ、「ニコチン」粉劑ハ石灰加用量少ナキモノ優レリ。

(3) 本田實地試驗

昭和3—4年2箇年平均成績

粉劑ノ種類	調合量及 反當用量	殺蟲率%			成績 順位
		3年度	4年度	平均	
粉煙草	5 貫	42.6	38.0	40.3	5
同	10 貫	83.7	82.0	82.9	1
煙草石灰	煙草粉 2.5貫 石灰 2.5貫	19.1	18.4	18.8	7
同	煙草粉 5貫 石灰 5貫	69.6	60.7	65.2	3
除蟲菊木灰	除蟲菊粉 1封度 木灰 3貫	31.7	-	31.7	6
同	除蟲菊粉 2封度 木灰 3貫	90.0	-	90.0	2
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 石灰 4貫	40.4	-	40.4	4

(4) 本田應用試驗

湛水本田 昭和2年度成績

粉劑ノ種類	調合量及 反當用量	見込殺蟲率%			成績順位	反當藥劑 價格平均 圓
		第1回	第2回	平均		
粉煙草	5 貫	50.0	70.0	60.0	3	2.000
同	10 貫	70.0	75.0	72.5	1	4.000
煙草石灰	煙草粉 2.5貫 石灰 2.5貫	40.0	60.0	50.0	5	1.175
同	煙草粉 5貫 石灰 5貫	60.0	75.0	67.5	2	2.350
除蟲菊木灰	除蟲菊 1封度 木灰 3貫	40.0	60.0	50.0	5	1.100
同	除蟲菊 2封度 木灰 3貫	65.0	70.0	67.5	2	2.050
青酸石灰	青酸石灰 1貫 消石灰 4貫	5.0	20.0	35.0	6	15.250
同	青酸石灰 1貫 消石灰 9貫	5.0	10.0	7.5	8	15.630
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 消石灰 4貫	60.0	75.0	67.5	2	22.750
同	ニコチン粉劑 1貫 消石灰 9貫	50.0	65.0	57.5	4	23.130
ミヅホ木灰	5 貫	20.0	40.0	30.0	7	2.050
イマヅ木灰	5 貫	15.0	45.0	30.0	7	1.750

落水本田 昭和2—4年3箇年平均成績

粉劑ノ種類	調合量及 反當用量	見込殺蟲率平均%				成績 順位	藥劑反當價格 円			
		2年度	3年度	4年度	平均		2年度	3年度	4年度	平均
粉煙草	5 貫	60.0	30.0	25.0	38.3	5	2.000	2.000	3.000	2.333
同	10 貫	70.0	55.0	72.5	65.8	1	4.000	4.000	6.000	4.667
煙草石灰	煙草粉 2.5貫 石灰 2.5貫	48.0	16.7	12.5	25.7	8	1.175	1.175	1.650	1.333
同	煙草粉 5貫 石灰 5貫	57.5	43.3	35.0	45.3	2	2.350	2.350	3.300	2.667
除蟲菊木灰	除蟲菊 1封度 木灰 3貫	57.5	20.0	-	38.3	4	1.100	1.050	-	2.000
同	除蟲菊 2封度 木灰 3貫	57.5	30.0	-	43.8	3	2.050	1.950	-	2.000
ニコチン粉劑	ニコチン粉劑 1貫 消石灰 4貫	37.5	16.7	-	27.1	7	22.780	22.780	-	22.780
同	ニコチン粉劑 1貫 消石灰 9貫	30.0	31.7	-	30.9	6	23.130	23.310	-	23.130

以上本田試驗結果ハ實地應用兩試驗共成績略々一致シ、室内試驗共符合ス。煙草粉優位ニシテ煙草石灰、除蟲菊木灰、「ニコチン」粉劑ノ順位トナリ、「ミヅホ」木灰、「イマヅ」木灰、青酸石灰最モ劣ル、而シテ使用量ハ煙草粉、煙草石灰共ニ反當5貫ヨリ倍量區ニ於テ殺蟲效果擧リ、除蟲菊木灰ハ除蟲菊粉加用量多キダケ效力多シ、「ニコチン」粉劑ハ石灰加用量多キモノ稍々優レリ。落水田、湛水田双方ニ於ケル比較結果ハ後者ニ於テ殺蟲效力一般ニ優レリ。

3 綜合試驗

從來ノ各種試驗結果ニ基キ比較の優良ト認メラルル藥劑ヲ選出シ、用水ノ不足及乾田苗代、陸稻畑或ハ落水後ノ本田ニ發生シタル浮塵子驅除、又用水アル場合ノ注油驅除ヲ行フニ當リ使用スベキ藥劑ニ就キ其效果ノ優劣及適量ヲ檢知スル爲メ次ノ如ク昭和5—7年迄3箇年間ニ於テ綜合效果比較試驗ヲ施行セリ。

試驗方法

油類ハ、輕油、除蟲菊浸出石油、粉劑ハ煙草粉、液劑ハ除蟲菊石鹼液ヲ使用シ、苗代及本田ニ於テ各實地及應用兩試驗ヲ施行セリ。

試驗成績

(1) 苗代實地試驗

昭和5—7年度3箇年平均成績

藥劑ノ種類	反當用量	殺蟲率%				成績 順位
		5年度	6年度	7年度	平均	
輕油(青全勝)	2 升	60.5	43.8	65.7	56.7	4
除蟲菊浸出石油(虎印)	1 升	85.2	91.6	93.6	90.1	2
專賣局煙草粉節別セルモノ	坪當50匁	-	-	55.2	(55.2)	5
專賣局煙草粉節別セザルモノ	坪當50匁	-	-	34.2	(34.2)	7
市販煙草粉節別セルモノ	坪當50匁	-	-	71.5	(75.1)	3
市販煙草粉節別セザルモノ	坪當50匁	-	-	52.0	(52.0)	6
除蟲菊石鹼液	2 石	85.9	96.6	-	91.4	1

(2) 苗代應用試験

昭和5—7年度3箇年平均成績

薬剤ノ種類	反當用量	見込殺蟲率平均%				成績 順位	薬剤反當價格円			
		5年度	6年度	7年度	平均		5年度	6年度	7年度	平均
輕油(青全勝)	2升	65.0	47.5	72.5	61.7	5	0.400	0.330	0.320	0.340
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	80.0	92.5	95.0	89.2	1	0.373	0.323	0.312	0.336
專賣局煙草粉篩別セルモノ	坪當50匁	-	-	62.5	(62.5)	4	-	-	3.300	(3.300)
專賣局煙草粉篩別セザルモノ	坪當50匁	-	-	47.5	(47.5)	6	-	-	3.300	(3.300)
市販煙草粉篩別セルモノ	坪當50匁	-	-	85.0	(85.0)	3	-	-	5.479	(5.479)
市販煙草粉篩別セザルモノ	坪當50匁	-	-	62.5	(62.5)	4	-	-	5.479	(5.479)
除蟲菊石鹼液	2石	82.5	95.0	-	88.8	2	3.249	2.667	-	2.958

除蟲菊石鹼液最モ優良ニシテ除蟲菊浸出石油、市販煙草粉、輕油青全勝、專賣局煙草粉ノ順位トナル、而シテ煙草粉ハ市販品ガ專賣局純粹粉ニ勝リ、尙ホ篩別スルト否トハ前者常ニ勝レリ。

反當使用量ハ輕油ハ2升、除蟲菊浸出石油ハ1升、煙草粉ハ10貫、除蟲菊石鹼液ハ2石ヲ標準トシ、必要ニ應ジ適宜増量スルヲ要ス。

(3) 本田實地試験

昭和5—7年度3箇年平均成績

薬剤ノ種類	反當 用量	殺 蟲 率 %				成績 順位
		5 年 度	6 年 度	7 年 度	平 均	
輕油(青全勝)	2升	74.8	69.5	73.6	72.6	3
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	63.3	88.1	84.5	78.6	2
專賣局煙草粉篩別セルモノ	12貫	-	73.6	55.8	64.7	5
專賣局煙草粉篩別セザルモノ	12貫	-	38.9	30.2	34.6	7
市販煙草粉篩別セルモノ	12貫	-	79.9	61.0	70.5	4
市販煙草粉篩別セザルモノ	12貫	-	74.4	32.0	53.2	6
除蟲菊石鹼液	2石	83.9	86.1	94.2	88.1	1

(4) 本田應用試験

昭和5—7年度3箇年平均成績

薬剤ノ種類	反當 用量	見込殺蟲率%				成績 順位	薬剤反當價格円			
		5年度	6年度	7年度	平均		5年度	6年度	7年度	平均
輕油(青全勝)	2升	80.0	76.3	75.8	77.4	3	0.400	0.330	0.320	0.350
除蟲菊浸出石油(虎印)	1升	75.0	81.3	78.0	78.1	2	0.373	0.323	0.312	0.336
專賣局煙草粉篩別セルモノ	12貫	-	75.0	67.5	71.3	5	-	2.640	2.640	2.640
專賣局煙草粉篩別セザルモノ	12貫	-	53.8	51.7	52.8	7	-	2.640	2.640	2.640
市販煙草粉篩別セルモノ	12貫	-	80.0	72.5	76.3	4	-	6.999	4.600	5.800
市販煙草粉篩別セザルモノ	12貫	-	70.0	67.5	68.8	6	-	6.999	4.600	5.800
除蟲菊石鹼液	2石	70.0	95.0	93.3	86.1	1	3.249	2.667	2.433	2.783

本田試験結果ハ實地應用兩試験共ニ成績相一致シ、苗代試験共成績略々符合ス、即チ除蟲菊石鹼液最モ優位ニシテ除蟲菊浸出石油、輕油、市販煙草粉、專賣局煙草粉ノ順位トナル、煙草粉ノ市販品、專賣局純粹粉ノ種別及篩別スルト否トノ相違ハ苗代試験同様市販品及篩別セルモノ常ニ優レリ。

反當使用量モ苗代期同様輕油2升、除蟲菊浸出石油1升、煙草粉10貫、除蟲菊石鹼液2石ヲ標準トシ、必要ニ應ジ増量スルヲ可トス。

4 試験結果ノ考察及結論

陸苗代或ハ本田ニテ7—8月頃ニ用水缺乏セル際、又ハ落水後等ニ於テ浮塵子發生シ、注油驅除不可能ナル場合ニ遭遇スルハ數多ノ例アルコトニシテ殊ニ浮塵子ノ慘害ハ落水後ニ最モ多シ。而シテ陸苗代ニ於テ稻萎縮病防除ノ爲メ浮塵子驅除ヲ行ヒ、「せじろらんか」ガ7—8月頃陸稻田又ハ旱魃田ニ發生シ、或ハ落水前後ヨリ水陸兩田ニ「とびいろうんか」ノ慘害ヲ被ル場合ニハ注油驅除以外ノ方法ニ依ラザルベカラズ。從來ハ之等ノ慘害ニ對シテ適當ノ方法ナク拱手傍觀ノ態度ニ出デタルモノ多ク往年ノ飢饉ノ誘因ハ、斯ル際ノ浮塵子ノ害ニ依ルモノナルコト各種文献ニ徴シテ明ナリ。

本試験成績ニ就キ液剤試験結果ヲ見ルニ室内、圃場試験ヲ通ジ、大體成績相符合シ、除蟲菊石鹼液最モ優位ニシテ硫酸「ニコチン」石鹼液、除蟲菊加用石油乳劑、石油乳劑ノ順位トナリ、「ネオトン」、「デリス」石鹼液ハ多少ノ效果アルモ機械油乳劑、松脂合劑ト共ニ實用的價值認メラズ、除蟲菊石鹼液及硫酸「ニコチン」石鹼液ハ濃度ニ於テ前者ハ除蟲菊粉15匁乃至20匁、石鹼20匁、水1斗ノ割トシ、後者ハ6百倍乃至千倍液トシ、1斗ニ石鹼20匁加用ヲ以テ標準トナシ、反當用量ハ最低1石5斗、普通2石内外ヲ適當トス。

粉劑試験結果ハ、室内、圃場試験共ニ成績略々一致ス、煙草粉最モ優位ニシテ煙草石灰、除蟲菊木灰、「ニコチン」粉劑ノ順位トナリ、「ミヅホ」木灰、「イマヅ」木灰、青酸石灰最モ劣レリ。何レモ使用量ハ反當10貫内外ヲ使用セザレバ效力少ナク、且ツ均一ニ撒布スルヲ得ズ、殊ニ「ニコチン」粉劑、青酸石灰ハ餘リニ高價ニ失シ、實用的價值認メラズ、煙草粉ハ綜合試験結果ニ見ル如ク、純粹粉ト市販品、篩別ノ有無即チ粉粒ノ大小ハ共ニ效力ニ於テ差異ヲ生ズ、效果ノ優劣ハ含有「ニコチン」量ニ正比例シ、支配サルコト論ヲ俟タザルモ、市販品ハ石灰粉ヲ既ニ混用セルニヨリ「ニコチン」ノ發散ヲ助長スル爲メナルト尙ホ加工ニ依リテ粒子一般ニ小ナル爲メ效力舉リ易シ。福谷君貞氏(3)ハ煙草粉ノ殺蟲效果ハ煙草粉ノ「ニコチン」含有量及粉粒ノ細微度ニ正比例シ、石灰加用ハ效力増加スルモノナルコトヲ述ベタリ。本試験ニ於テハ未ダ石灰加用量トノ嚴密ナル試験ヲ施行セザルモ、石灰等量使用ハ過量ニシテ殺蟲效力減少セルヲ以テ適量ヲ決定シ使用ニ際シ或程度ノ石灰加用ハ殺蟲效力ヲ増進シ、且ツ經濟上有利ナルコト疑ヲ入レズ。除蟲菊木灰ハ本試験ノ使用量ハ過少ニ失スルモ有效ナル藥劑ナルコト及比較的廉價ナルヲ以テ推稱スベキ價値アリ。

愛媛縣農事試験場(2)ノ試験ニ依ルニ液粉劑中8割以上ノ殺蟲效果ヲ舉ゲ得、最モ效力アルハ除蟲菊石鹼液反當1石5斗乃至3石、六液8百倍2石、硫酸「ニコチン」石鹼液6百倍乃至千倍1石5斗乃至2石、煙草粉末反當10貫ヲ舉ゲ本場試験ニ比較シ藥劑ノ種類及量ニ於テ略々一致セリ。

油粉液劑綜合試験ニ於テハ、除蟲菊石鹼液最モ效果勝リ、除蟲菊浸出石油之ニ次ギ輕油單用煙草粉ノ順序トナル。

一般ニ藥劑ノ效力ハ、稀釋濃度或ハ他藥劑ノ配合量ニ依ルコト勿論ナレド又使用量ニモ大ナル關係アリ。使用量ハ浮塵子ノ發生狀況及作物ノ生育狀況ニ依リ決定スベキモノトス。藥劑撒布時刻ハ晴天若クハ曇天無風ノ早朝ヲ可トシ、特ニ粉劑ニアリテハ露ノアル朝ナルヲ要ス。降雨ノ際ハ微雨ト雖モ效力ヲ減退シ易シ。撒布ノ方法ハ浮塵子ノ寄生部位タル稻ノ株元ニ近キ位置ニ對シテ撒布シ液劑ハ強力ナル噴霧器ニ依リ、粉劑ハ適當ナル撒粉器アル場合ハ之ニ據ルベキモ手撒ニテモ可ナリ。後者ニ於テハ苗代、本田共ニ前記部位ニ對シ側面ヨリ投ゲ付クルガ如ク撒布セザルベカラズ。尙ホ粉劑ヲ落水田ト湛水田ニ撒布シ比較セルニ後者ノ方一般ニ效果勝リ、又落水田ニテ撒布當日ト翌日調査セル結果ハ時間經過スルニ從ヒ死蟲數増加セリ。依テ效力ハ或程度迄持續スルモノナルコトヲ想像シ得、以上液粉劑中青酸石灰ノミハ苗代本田共葉ニ過剰ニカカリタルモノガ多少藥害ヲ被リタルモ他ハ一切藥害ヲ認メズ。

本試験ノ成績ガ試験ノ都度多少區々ノ結果ヲ得タルハ時期毎ニ環境ノ異ナルニ依ルコト勿論ナルガ、一面年ヲ經ルニ從ヒ殺蟲率ノ上レル傾向アリ。之ハ經驗ニ依リ藥劑撒布方法ノ熟練セル結果ニ依ルナルベシ。

本成績ニ見ル如ク、除蟲菊石鹼液ハ最モ殺蟲效力大ナルモ之ハ灌水ナキ場合ニ適用スベキモノニシテ浮塵子發生ノ程度ヲ見計ヒ、出來得ルダケ注油驅除ニ據ルヲ本旨トスベキモノニシテ止ムヲ得ザル場合、即チ灌水ナキ時ニノミ液劑又ハ粉劑ニ依ラザルベカラズ、以上ヲ綜合スルニ浮塵子ニ對スル藥劑ハ「ピレトリン」系ノモノ最モ效力アリテ次デ「ニコチン」系ニシテ「ロテノーン」系ノモノハ效果少ナキモノト思考シ得。依テ灌水アル際ハ除蟲菊浸出油(石油又ハ輕油)ヲ第一トシ、反當1升乃至1升5合内外、灌水ナキ場合ハ除蟲菊石鹼液又ハ硫酸「ニコチン」石鹼液2石、煙草粉又ハ除蟲菊木灰10貫ヲ標準トシテ使用スルヲ適當ト認ム。

第 5 摘 要

昭和2年ヨリ同7年迄6箇年間ニ於ケル浮塵子ノ驅除劑ニ關スル試驗成績ノ摘要ヲ擧グレバ次ノ如シ。

1. 浮塵子驅除油トシテ最モ有效ナルハ除蟲菊浸出石油又ハ同輕油ニシテ反當1升乃至1升5合ノ使用ニテ可ナリ。石油(虎印)、輕油(青全勝、時計印)單用之ニ次ギ反當2升乃至2升5合ノ使用ヲ要ス。以上ハ直接葉ニ觸レザル限リ本使用量ニテハ一切藥害ヲ認メズ。
2. 輕油ハ石油ニ比シ低廉ニシテ效果殆ド相匹敵スルヲ以テ除蟲菊浸出油又ハ單用トシテ特ニ推獎スベキ價值アリト認メラル。
3. 既製除蟲油トシテハ健稻油、特許月魚印就中效果優レリ、一般ニ既製除蟲油ハ擴散良好ナルモノ多キモ、製品一定セザルコト及殺蟲效果ニ於テ劣レルモノアルヲ以テ應用的價值少シ。
4. 機械油ハ藥害ヲ呈スルコトアル故實用上不可ナリ。
5. 礦物油ニ動植物油ヲ混合セルモノハ、比較的效果優レルモノアルモ經濟上價格不廉ナルモノアリテ適當ト認メ難シ、タゞ擴散力ヲ大ナラシムルコトハ確實ナリ。
6. 油ノ擴散力ハ水溫ト密接ナル關係ヲ有シ、低溫度ニ於テ優レルヲ見ル、水深及直射光線ノ有無ニハ關係ナキモノノ如シ。
7. 油ノ理化學的性狀ニ關スル調査ハ、適當ナル驅除油選擇ノ標準トシテ特ニ調査研究ノ必要アリ。
8. 注油後拂落迄ノ時間ノ經過ハ長キニ從ヒ殺蟲效力遞減スルモノナルヲ以テ原則トシテハ注油後直チニ拂落スヲ要ス。
9. 注油驅除ハ成可ク晴天又ハ曇天(微雨ハ差支ナシ)無風ノ日ノ早朝ヲ可トシ苗代ニテハ淺水トシ竹棒拂落ヲ行ヒ、本田ハ柄振使用ヲ適當トス。

10. 注油驅除ヲ行ヒ得ザル場合ニハ、液劑トシテ除蟲菊石鹼液最モ有效ニシテ、硫酸「ニコチン」石鹼液600乃至1,000倍之ニ次ギ、何レモ反當1石5斗乃至2石、粉劑トシテ煙草粉又ハ除蟲菊木灰反當10貫内外ノ撒布ヲ標準トシ、必要ニ應ジ增量スルヲ可トス。

11. 粉劑ハ早朝露アル間ニ撒布スルヲ要ス。粒子ハ小ナルモノ程效果優レリ。風及微雨ハ效果ヲ減ズ。

12. 浮塵子驅除ハ灌水アル場合ハ注油驅除ヲ以テ本旨トシ、灌水ナク止ムヲ得ザル場合ニノミ液劑粉劑撒布ヲ行フヲ要ス。後者ハ前者比シ何レモ操作不便ニシテ且ツ所要價格著シク増加スルヲ以テナリ。

13. 浮塵子驅除劑ヲ總括的ニ考察セバ「ビレトリン」系ノモノ最モ效果著シク「ニコチン」系ノモノ之ニ次ギ「ロテノーン」系ノモノハ著シク劣ル。

第 6 參 考 文 獻

1. 江崎 悌三 稻作害虫トシテノ浮塵子 福岡縣内務部刊 昭和7年1月
2. 愛媛縣農事試驗場 早魁田ニ於ケル浮塵子驅除試驗成績 昭和4年9月
3. 福谷 君貞 驅除粉煙草ノ研究 病蟲害雜誌 19卷5—6號 昭和7年5—6月
4. 桑名伊之吉 增訂實用害虫驅除法 昭和2年8月版
5. 村田 藤七 米麥作ノ害虫ト豫防驅除 231—252頁 昭和2年8月版
6. 稻作ノ大害虫浮塵子講座 大日本農會報別刷
7. 宮崎縣農事試驗場 業務工程 昭和5—6年度
8. 農商務省農事試驗場 農事試驗場報告 第23號 98—106頁 明治37年3月
9. 農事試驗場報告 第30號 71—79頁 明治37年3月
10. 農商務省農務局 浮塵子注油驅除ニ關スル調査成績 病蟲害彙報 第2號 大正6年4月

11. 浮塵子驅除豫防指針 病害蟲豫防獎勵要報 第4號 大正15年3月
12. 野津六兵衛 農用藥劑ノ話 昭和5年8月版
13. 織田富士夫 實驗病害蟲ノ藥劑驅除 昭和8年6月版
14. 小貫信太郎 本邦産浮塵子 農事試驗場特別報告 第10號 明治34年1月
15. 岡本半次郎 朝鮮ニ於ケル稻ヲ害スル浮塵子ニ關スル研究 勸業模範場研究報告 第12號 大正13年4月
16. 大藏永常 除蝗錄 前編 文政9年 後編 天保15年
17. 高橋獎 驅蟲劑ノ新研究 昆蟲世界 17卷1冊 7-9頁 大正2年1月
18. 驅蟲油擴散力ノ研究 昆蟲世界 17卷7冊 13-18頁 大正2年7月
19. 驅蟲油類ニ關スル研究 病蟲害雜誌 2卷8-10號 大正4年
20. 浮塵子驅除豫防法 病蟲害雜誌 6卷6號-7卷12號 大正8-9年
21. 上野誠一 油脂化學及油脂各論 昭和8年12月版
22. 渡邊幸吉 農業藥劑提要 昭和8年1月版

附 錄

供試藥劑價格並ニ製造所又ハ販賣所名

種類名	容量又ハ重量	年 價 格 円						製造所又ハ販賣所
		昭和2年	3年	4年	5年	6年	7年	
石 油 類 (本成績中ニ記載セル石油トハ燈油ヲ意味ス)								
上 松	1罐(1斗入)	3,200	3,200	3,000	-	-	-	スタンダード石油株式會社
虎 印	♪	2,800	2,800	2,600	2,400	2,150	2,150	同
白 一 羽	♪	2,800	2,800	-	-	-	-	日本石油株式會社
白 蝠 蝠	♪	-	-	2,600	-	-	-	同
白 國 花	♪	-	-	2,400	2,250	1,850	1,900	門司市 出光商會
國 花	♪	-	-	-	-	-	1,700	同
輕 油 類								
青 全 勝	1罐(1斗入)	2,350	2,330	2,200	2,000	1,650	1,600	日本石油株式會社
日石發動2號油	♪	-	-	1,700	-	-	-	同
ソ コ ニ ー	♪	2,500	2,500	2,500	-	-	-	スタンダード石油株式會社
パワーオイル	♪	2,300	2,300	2,000	-	-	-	ライジングサン石油株式會社
ライ社發動1號油	♪	-	-	2,500	-	-	-	同
發動輕油	♪	1,700	1,700	-	-	-	-	(不明)
赤 國 花	♪	-	-	1,900	-	-	-	門司市 出光商會
青 國 花	♪	-	-	2,200	-	-	-	同
發動1號油	♪	-	-	1,800	-	-	-	新潟株式會社石油共同販賣所
時計印	♪	-	-	1,600	1,600	1,400	-	伊豫八幡濱 青木石油店
赤 菊 印	♪	-	-	-	-	-	1,300	小倉石油株式會社
黒 菊 印	♪	-	-	-	-	-	1,200	同
機 械 油 類								
C マ シ ン	1罐(1斗入)	3,000	3,000	3,000	2,150	1,600	-	日本石油株式會社
金色マシン	♪	2,700	2,700	4,000	-	-	-	新潟株式會社石油共同販賣所

種類名	容量又ハ 重 量	累 年 價 格 円					製造所又ハ販賣所
		昭和 2年	3年	4年	5年	6年	
動植物油類							
鱈油	1罐(5升入)	-	-	-	3.000	2.500	- 大分市 吉川商店
鯨油	〃	-	-	-	4.000	-	- 同
大豆油	〃	-	-	-	4.000	3.350	- 同
菜種油	〃	-	-	-	4.500	-	- 同
魚油	1罐(1斗入)	-	-	-	-	0.500	岩手縣氣仙郡水産會
タマゴ油	〃	-	-	-	-	11.000	愛媛縣西宇和郡宮内村農會
除 蟲 油 類							
銷印最上燃料品	1罐(1斗入)	1.800	1.800	1.800	-	-	ライジングナン石油株式会社
稻荷印除蟲油	〃	1.800	1.800	1.800	-	-	日本石油株式会社
健 稻 油	10ガロン入	7.850	7.850	7.500	-	-	〔京城府 朝鮮浮麻子驅除油研 究所
特許月魚印除蟲油	1罐(1斗入)	-	-	-	-	-	〔下關市鯉之町 日本魚網船具 株式会社
月魚印1號除蟲油	〃	-	-	-	-	1.000	同
月魚印2號除蟲油	〃	-	-	-	-	0.900	同
水田用モリ殺蟲劑4號	18 立 入	-	-	-	-	5.000	〔大阪市此花區大開町3丁目 モリ科學研究所
國旗印國益殺蟲油1等品	1罐(1斗入)	-	-	-	-	2.300	長崎市新大工町18 山田謙光
松根油原油	〃	-	-	-	-	2.800	宮崎縣延岡市 染矢源助
木 タ ー ル	〃	-	-	-	-	1.200	同
雜 劑							
市販粉煙草	10貫 込 入	4.000	4.000	-	-	-	〔松山市(松山專賣局産) 松山植物病院
同	6貫 込 入	-	-	3.600	3.500	3.500	2.300 〔日本農藥株式会社産 大分市 吉川商店
專賣局純粋煙草粉	麻袋詰10貫入	-	-	-	2.000	2.200	2.200 〔宇都宮地方專賣局産 特ニ試驗ノ爲メ挿下ヲ受ケ タルモノニテ參考ノ爲メ記 録ス
㊦印除蟲菊粉	1 封 度	0.950	-	-	-	-	- 山彦除蟲菊株式会社
金鷲冠印除蟲菊粉	〃	-	0.900	0.750	0.800	0.650	0.580 大日本除蟲菊粉株式会社
青 酸 石 灰	〃	1.800	-	-	-	-	- 横濱植木株式会社
ニコチン粉劑	10 封 度	27.000	27.000	-	-	-	- 旭光社

種類名	容量又ハ 重 量	累 年 價 格 円					製造所又ハ販賣所
		昭和 2年	3年	4年	5年	6年	
ブラックリーフ	1 封 度	3.700	3.700	3.500	-	-	- 日本農藥株式会社 (巴商會)
ネオトロン	1 封 度	2.000	-	-	-	-	- 理化學研究所
スプレーオイル	1 封 度	0.250	-	-	-	-	- 小原商會農藥品部
松 脂	100 匁	0.180	-	-	-	-	- 大分市 吉川商店
苛性曹達	120 匁	0.150	-	-	-	-	- 同
デリス石鹼	160 匁	2.000	-	-	-	-	- デリス製劑株式会社
アデカ農藝石鹼	2 封 度	0.400	0.350	0.340	0.350	0.300	0.300 旭電化工業株式会社 日本農藥株式会社
消 石 灰	10貫 込 入	0.700	0.700	0.600	-	0.250	〔0.250〕 大分縣津久見産
木 灰	10 貫	0.500	0.500	0.600	-	-	0.600 本場産

Résumé

Studies on the Chemical Control of Leaf-hoppers.

By

Kyuma Sakai, *formerly Assistant Entomologist*, and
 Satoru Shinkai, *formerly Assistant Entomologist*.
 Oita Prefectural Agricultural Experiment Station.

The following leaf-hoppers are together with rice borers the most destructive insect pests to the rice plant: *Nephotettix bipunctatus cincticeps* Uhler, *Deltocephalus dorsalis* Motschulsky, *Delphacodes striatellus* Fallén, *Sogota furcifera* Horváth and *Nilaparvata oryzae* Matsumura. Up to the present their outbreaks have not infrequently happened to result in the risk of famine. With a view to elucidating successful control measures of leaf-hoppers efforts have since 1928 been made under the auspices of the Ministry of Agriculture and Forestry. In this account records are given merely of the results obtained concerning the chemical control.

1. Oil dropping is the most effective and economic measure for leaf-hoppers in the paddy field. After dropping oil the insect pests should be brushed off by means of bamboo rod or the like.

2. The diffusion of oil is closely dependent upon the temperature of water and is much larger at a low temperature; consequently it is needful to drop oil early in the morning of fine or cloudy calm day.

3. Pyrethrum in oil is the most efficient and its proportions are: pyrethrum about 42 grams, kerosene or light oil one litre. It is satisfactory to spread 18—27 litres per hectare.

4. Kerosene or light oil is of general use. The amount to use is 36—45 litres per hectare.

5. Lubricating oil is injurious in a certain degree to the rice plant.

6. Mixtures of mineral oil and animal or vegetable oil are highly efficient but expensive.

7. In drought the following mixtures have proved satisfactory: 1) pyrethrum-soap mixture containing each 42 grams of pyrethrum and soap in one litre of water, 2) tobacco-lime mixture containing 7 parts of tobacco dust and 3 parts of lime, 3) pyrethrum-wood-ash mixture made by adding one pound (454 grams) of pyrethrum to about 36 litres of wood ash. It is necessary either to spray with 1,800—2,700 litres of the first or to dust with about 15 kilograms of the second or with 37 kilograms of the third per hectare.

昭和十一年三月二十八日印刷

昭和十一年三月三十一日發行

農 林 省 農 務 局

東京市京橋區新富町一丁目七番地

印 刷 人 石 井 精 一 郎

東京市京橋區新富町一丁目七番地

印 刷 所 安 信 舎 印 刷 所

142
71

14.21

14. 21-717



1200501163299

17

終